

博士論文

インテリア・シェルターの離隔性の分析に基づく  
倉俣史朗のインテリアデザインにおける空間構成

2012 年

加藤 和雄

## 論文要旨

倉俣史朗（1943~1991）は、日本を代表するインテリアデザイナーとして、商業室内空間、家具、照明などを手がけ、既成概念を否定した本質追求の態度、浮遊感がともなう空間性の作品群は、デザイナー、アーティスト両面にて日本、海外で高く評価され、毎日産業デザイン賞、日本文化デザイン賞、フランス文化省芸術勲章などを受章している。

倉俣史朗のインテリアデザインは斬新であり、多くのデザイナーに多大な影響を与えてきた。倉俣のデザインについて主観的、感覚的な評論、対談、エッセイは多く見られるが、研究方法を明確にしたデザインの空間構成、創造手法についての研究は極めて少ない。そこで、本研究は倉俣史朗のインテリアデザインに対して、インテリア・シェルターの離隔性による空間分析方法を用い、空間創造に関する手法の一端を明らかにしようとするものである。具体的には42作品の商業室内空間の作品を対象として、平面図と断面図を基に、与えられたすでに存在する空間あるいはインテリアを構成する元の構造体である原室内空間とその原室内空間に新たに構成された床、壁、天井であるインテリア・シェルターとの位置関係と形状を比較し分析を行い、インテリア・シェルターの面の離れの理由である離隔要因、面の空間的離れ方である空間的離隔性、面の中に現れるフォルム、パターン、マテリアル、カラーおよび照明の特徴を抽出し、KJ法を用い13の空間的特徴のグループに分類された結果との関係で、空間の特徴および空間創造手法を明らかにすることを目的としている。

本論文は以下の6章により構成されている。

第1章「序論においては、本研究の背景、目的、既往の研究、本研究の位置づけについて述べている。

第2章「研究計画」においては、本研究を進めるにあたり研究方法を述べている。倉俣史朗の研究対象作品として、インテリアデザインの商業空間42作品を選定した。原室内空間に対して、新たに構成された床、壁、天井であるインテリア・シェルター面の離された離隔寸法 $d$ を読み取り、インテリア・シェルターの離れ理由である離隔要因 $D'$ 、離れ面の多層性である多重性 $D_m$ を求めた。また、その面の空間的離隔性である面の離れ方 $D$ 、面のフォルム $F$ 、面のパターン $P$ を求め、次に面のカラー $C$ 、面のマテリアル $M$ および面の照明 $L$ を求め、これをインテリア・シェルターの離隔性による空間分析方法と位置付け、それらの抽出方法について述べている。

第3章「分析結果」においては、第2章で述べた分析方法をもとに、インテリア・シェルターの離隔要因、多重性、空間の特徴等について抽出項目を整理し、空間的離隔性、面のフォルム、面のパターンについてデータ・シート2としてまとめ、および面のカラー、面のマテリアル、面の照明について、同様に抽出項目を整理して、データ・シート3としてまとめた。これを基に、

インテリア・シェルターの各種の離隔性の要素についてこれらの出現頻度分布を求めデータ化した。

第4章「考察」においては、3章で作成した、3種のデータ・シートおよび各種の離隔性の要素の頻度分布から、時代順に及び、空間的特徴グループ毎に整理した一覧表を基に考察を行い、インテリア・シェルターの離隔性（離隔要因、多重性、空間的離隔性、離隔面のフォルム、パターン、カラー、マテリアル、照明）の観点から空間構成の生成過程の操作を明らかにしている。ここでは1976年以前の作品では、直線的空間構成が多く、1977年以後の作品では、曲線、曲面の形態が出現し、多重性も増加した。これらには空間的、用途的、精神的離隔要因が複合され、多様な空間的離隔性（斜め離隔、曲面離隔など）、透過性のマテリアル等の融合があり、室内空間の周囲部に従表的表現、中央部に主体的表現が多くなり、中央の空間での構造的操作(キャンティレバー、吊り構造)、光の操作によって、より浮遊性が協調され、浮遊感が創出されたことを明らかにしている。

第5章「結論」においては、第2章から4章までに得られた分析と考察により得られた知見を総括して結論としている。さらに今後の研究に対する課題と将来の展望について述べている。

## 目次

第1章 序論	
1.1 研究の背景、目的	1
1.2 既往の研究概要	2
1.3 本研究の位置づけ	3
第2章 研究計画	
2.1 研究方法	5
2.1.1 研究対象作品の選定	
2.1.2 用語の説明	
2.1.3 研究方法	
2.2 原室内空間とインテリア・シェルターの離隔寸法と離隔要因と多重性	11
2.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間的離隔性と面のフォルムとパターン	20
2.4 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のカラーとマテリアルと照明	24
第3章 結果	
3.1 原室内空間とインテリア・シェルターの離隔要因と多重性の結果	27
3.1.1 インテリア・シェルターの床・壁・天井における離隔要因D	
3.1.2 インテリア・シェルターの床・壁・天井における多重性Dm	
3.2 インテリア・シェルターの空間的離隔性とフォルムとパターンの結果	35
3.2.1 インテリア・シェルターの床・壁・天井における空間的離隔性D	
3.2.2 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のフォルムF	
3.2.3 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のパターンP	
3.3 インテリア・シェルターのカラーとマテリアルと照明の結果	43
3.3.1 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のカラーC	
3.3.2 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のマテリアルM	
3.3.3 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面の照明L	



## 第4章 考察

4.1 原室内空間とインテリア・シェルターの離隔要因と多重性と 空間特徴のグループの考察	57
4.1.1 インテリア・シェルターの床・壁・天井における離隔要因D	
4.1.2 インテリア・シェルターの床・壁・天井における多重性D <sub>m</sub>	
4.1.3 インテリア・シェルターの床・壁・天井における空間的特徴のグループS <sub>c</sub>	
4.2 インテリア・シェルターの空間的離隔性とフォルムとパターンの考察	67
4.2.1 インテリア・シェルターの床・壁・天井における空間的離隔性D	
4.2.2 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のフォルムF	
4.2.3 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のパターンP	
4.3 インテリア・シェルターのカラーとマテリアルと照明の考察	100
4.3.1 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のカラーC	
4.3.2 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のマテリアルM	
4.3.3 インテリア・シェルターの床・壁・天井における面の照明L	
4.4 総合的考察	115

## 第5章 結論

5.1 総括	119
5.1.1 原室内空間とインテリア・シェルターの離隔要因と多重性と 空間特徴のグループ	
5.1.2 インテリア・シェルターの床・壁・天井における空間的離隔性と 面のフォルムとパターン	
5.1.3 インテリア・シェルター床・壁・天井における面のカラーと マテリアルと照明	
5.1.4 総括のまとめ	
5.2 本研究の今後の課題と展望	122

文献	123
引用文献	
参考文献	
謝辞	125

## 資料編

- 1.データ・シート1（原室内空間とインテリア・シェルターの離隔性と空間的特徴）
- 2.データ・シート2（インテリア・シェルターの床・壁・天井における面の空間的離隔性とフォルムとパターン）
- 3.データ・シート3（インテリア・シェルターの床・壁・天井における面のマテリアルとカラーと照明）

## 第 1 章 序論

## 1.1 研究の背景と目的

倉俣史朗は、1960年代から1991年において、極めて繊細で感覚的かつ知的操作による家具、照明、インテリアデザインなどの作品を手がけている。日本、世界を代表するインテリアデザイナーであり、多くのデザイナーに多大な影響を与え続けてきた。倉俣のデザインについて主観的、感覚的な評論、対談、エッセイなど雑誌等に掲載された評論記事がほとんどを占め、主要なものとして倉俣・多木(1975)<sup>4)</sup>など多数存在する。川崎(1999)<sup>3)</sup>、橋本(2007)<sup>7)</sup>、沖(2011)<sup>1)</sup>などがデザインの思考方法、デザイン論についての研究をおこなっているが、分析方法を明確にし、空間生成操作、空間構成、空間的特徴を明確にした研究論文は極めて少ない。

従来のインテリア研究一般には、平面的プランニングや、構成面の意匠性や照明、家具配置をそれぞれの要素として捉え、室内構成論じる場合が多かった。室内空間の空間構成、空間形態、創造手法を全体的、一体的に捉えるために以下のような概念を導入することとした。

本研究は倉俣史朗の観念的かつ感性的アプローチで、既成概念にとらわれず、自由に、夢のような感覚でデザインに挑戦したインテリアデザインに対して、インテリア・シェルターの離隔性による空間分析方法を用い、空間生成操作とそれによって生み出された空間構成、空間的特徴、特に浮遊性のある空間の創造に関する手法を明らかにすることを目的とする。

倉俣史朗の観念的、感覚的な思考性を考えた時、できる限り客観的に分析、考察する態度に恐縮する思いが常に付きまとったが、現室内空間とインテリア・シェルターの離隔性を用いて分析手法によって、感覚上での認識されるデザインを、再確認し、客観的かつ事実について、質的、量的な側面から、その要因を抽出により、従来気づかれていない新たな視点、観点が発掘できればと考え、今後のインテリアデザインの空間生成、空間創造を理解する上で重要であり、原室内空間に対する、インテリア・シェルターの離隔性を用いた空間分析手法を用いた本研究は、インテリアの空間創造手法に関する研究として意義あるものであると位置づけられると考えられる。

具体的には42作品の商業室内空間の作品集<sup>2) 6) 8) 9) 10)</sup>を対象とし図面等(図面がない作品については作品写真と基に平面図、断面図を書き起こした)を基に、デザイン対象として、与えられたすでに存在する空間あるいはインテリアを構成する元の構造体(原室内空間と呼ぶ)とその原室内空間に対して、デザイナーの意図で新たに構成された床、壁、天井をインテリア・シェルターと呼び、原室内空間と新たに生成されたインテリア・シェルターとの離れ距離(離隔寸法と呼ぶ)を捉え、そこで抽出された結果を基に、離れの理由(離隔要因と呼ぶ)、インテリア・シェルターの面の離れ方(空間的離隔性と呼ぶ)、離れた面の多層性(多重性と呼ぶ)、床、壁、天井の面の中に現れるフォルム、パターン、マテリアル、カラーおよび照明(これら全体を離隔性と呼ぶ)を求め、空間的特徴との関係を考察し、空間構成、空間創造手法を明らかにすることを目的としている。

## 1.2 先行研究の概要

倉俣史朗に関する先行研究は、美学的な形態論、デザイン論の研究があり、またほとんどが雑誌等に掲載された評論や対談であり、数多く存在する。主要なものとして、以下のような既往研究が上げられる。

岡田栄造は「クラマタデザインの精神的機能に関する論文」（九州芸術工科大学芸術工学部卒業論文）1993 では、精神性に着目し室内空間を述べている。

多木浩二と倉俣史朗の対談「事物の逆説」<sup>4)</sup> 1975 では、対談により作品創造における、思考性、デザイン論がエッセイ的に述べられている。

川崎和男は「夢を形見に倉俣史朗のデザイン論」<sup>3)</sup> 1997~2001, AXIS no70-73, 75-90 の中で、倉俣の作品、特に家具、照明、等のプロダクトについて、形態的、美学的、詩的、文学的アプローチで、デザイン論、思考性、形態性、意味性、使用性について述べられ示唆するところが多いデザイン論であるが、空間分析方法を明確にした倉俣史朗のインテリアデザインの空間構成、空間生成については論述されていない。

橋本啓子は「倉俣史朗の 1970 年代のインテリアデザインにおける感覚的なものについて」<sup>7)</sup> 2007 意匠学会、「倉俣史朗による表層のデザインについて」2008, 神戸大学表現文化研究会の中で、倉俣の感性、表層のデザインの観点から、マテリアル、光、オブジェに対し造形感覚の背景を鋭く考察し、倉俣史朗の繊細な造形性、造形感覚を明らかにしている。また「倉俣クロニクル」2011 (倉俣エットレ・ソットサスの 21\_21 DESIGN SIGHT EXHIBITION BOOK) P162, 172, 186 の中で、倉俣の作品と現代美術との関係、影響を受けた背景—交友関係を述べ、倉俣の作品を創造するうえでの思考性、感覚的操作、知的空間操作について述べている。

倉西幹雄は、「クラマタエピソード」<sup>5)</sup> 2011 (倉俣エットレ・ソットサスの 21\_21 DESIGN SIGHT EXHIBITION BOOK) P170, 184, 204 の中で、デザイン・ジャーナリストの観点から倉俣の作品にまつわる出来事、人柄、思考性をエッセイ的に描いている。

沖健次は「倉俣史朗が追い求めたイメージと素材」<sup>1)</sup> 2011 (倉俣エットレ・ソットサスの 21\_21 DESIGN SIGHT EXHIBITION BOOK) P114-125 の中で、主に素材、技術、方法論の観点から作品の主観的考察は述べられているが、分析方法、結果、考察の過程を経たインテリアデザインの空間構成、空間生成については、明確に述べられていない。

以上このように私的な批評、美学的、詩的な空間論、形態論、意味論等は見られるが倉俣史朗のインテリアデザインの空間構成、空間生成について、分析方法を明確にした研究論文は、極めて少ない。

### 1.3 本研究の位置づけ

倉俣はインテリアデザイナーとして商業空間、家具・照明など手がけた。倉俣の作品において、家具デザインでは「自分の思考の原点、確認するための手段」と考え180点余りの優れた家具デザインを生みだしている。またその実験成果をインテリアデザインの領域で実践化、応用化している。倉俣が生涯追求したのは、多くのデザイナーが指摘するように、日常の空間に重力から解放されたかのような浮遊感覚を導入し、本研究ではこれを浮遊性と呼ぶ。「夢の世界、夢心地」の空間を創出させることであったとよく語られている。倉俣曰く「商業デザインの魅力は、一回性、消滅性、実験性、つまり幕間劇。」と自ら語っている。このことはデザインする際に、既存概念を否定し、本質を追究する態度、アイロニカルな視点、独創性を大切にしていることがうかがえる。倉俣に関する、思考、感覚等のエッセイ、対談、美学的空間論へのアプローチは少数ではあるが、研究されている。本研究では、倉俣史朗のインテリアデザインにおいて、量的、s 学術的に、空間生成の過程、空間構成を明らかにしたいと考えた。そのため、デザイナーがデザイン対象としてデザインする前に、既に存在する与えられた空間である現室内空間に対し、あらたに構成される床、壁、天井の生成される空間であるインテリア・シェルターの生成結果を比較することで、倉俣のインテリアデザインの空間創造の手法を明らかにすることを試みた。これにより従来のアプローチでは得られない発見、知見を得ようとするものであり、今後この分析手法は倉俣以外のいろいろなインテリアデザイナーの作品分析に対しても有効であると考えられ本研究では、「インテリア・シェルターの離隔性による空間分析方法」という、新しい分析方法を開発した研究であり、倉俣史朗のインテリアデザインの空間構成、空間創造の本質を明らかにした研究として位置づけられると考えられる。



## 第 2 章 研究計画



## 2.1 研究方法

倉俣の略歴、作品選定、用語の説明、分析方法を以下に述べる。

### 2.1.1 研究対象作品の選定

本研究にあたり、倉俣史朗についての略歴<sup>6)</sup>を表—2.1.1にまとめ、研究対象である42のインテリア・デザイン作品を選定し、方法における用語の説明を以下に述べる。

表—2.1.1 倉俣史朗の略歴

倉俣史朗の略歴	
1943 年	東京生まれ
1953 年 (19 歳)	東京都立工芸学校木材科卒業
1954 年 (20 歳)	柳宗理、山口文章の作品に啓発されデザイナーを志向
1955 年 (21 歳)	桑沢デザイン研究所リビングデザイン科入学 青山の小原会館での具体美術展に強い衝撃を受ける。
1956 年 (22 歳)	桑沢デザイン研究所卒業 イタリアのデザイン誌「ドムス」に認められるデザインを志す。
1957 年 (23 歳)	株)三愛宣伝課入社、主に店舗設計、ショーケース、ディスプレイの仕事に携わる。
1965 年 (31 歳)	クラマタデザイン事務所設立
1966 年 (32 歳)	マルセル・ジュシャンの存在に大きく概念を変えられた。
1967 年 (33 歳)	コンセプトチュアルアート、ミニマムアート、ドナルド・ジャドに影響を受ける。1967 年頃から前衛美術家、高松次郎やグラフィックデザイナー横尾忠則とのコラボレーションした内装などで、倉俣は時代の寵児として注目を浴びはじめる。1969 年に自らの作品を持ちイタリアの「ドムス」誌を訪れる。後にその時の作品が「ドムス」に掲載される。15 名の若手クリエイターでデザイン集団「サイレンサー」結成。1970 年日本万博博覧会 (EXPO' 70) に参加。この頃、変形の家具など収納家具を多く発表する。
1972 年 (38 歳)	毎日産業デザイン賞受賞
1981 年 (47 歳)	エトトレ・ソットサスの誘いで 80 年代前半を席卷する事になる革命的デザイン運動「メンフィス」に参加する。ソットサスからの手紙はスケッチ 2 枚だけであったという。この年、新設された第 1 回日本文化デザイン賞受賞。
1983 年 (49 歳)	北イタリア、南フランス、パリを旅行。工場で大量に出るくずガラスを人工大理石に混ぜ「スターピース」という素材を作る。また、エキスパンドメタル (金網材) を内装や家具に全面的に使い「ハウ・ハイ・ザ・ムーン」など傑作を生む。
1990 年 (56 歳)	フランス文化省芸術文化勲章受章

## 研究対象作品

倉俣はインテリアデザイナーとして商業空間、家具・照明など手がけた。倉俣の作品において、家具デザインでは「自分の思考の原点、確認するための手段」と考え 180 点余りの優れた家具デザインを生みだしている。またその実験成果をインテリアデザインの領域で実践化、応用化している。

本研究では、倉俣史朗の設計した商業室内空間について、1967～1991 年における 42 のインテリア・デザインの作品を研究対象とする。研究対象作品リストを表-2.1.2 に示す。

表-2.1.2 研究対象作品リスト

倉俣史朗のインテリアデザイン・研究対象作品リスト							
作品番号	完成年	歳	作品名(用途)	作品番号	完成年	歳	作品名(用途)
K-1	1967年	33歳	クラブカッサドル(カフェ)	K-22	1979	45歳	カクティ(美容室)
K-2	1968	34	レストラン サーカス(レストラン)	K-23	1980	46	第一紙行(オフィス)
K-3	1968	35	貴金属タカラ堂(貴金属)	K-24	1983	49	ヤマギワ小会議室・東京(オフィス)
K-4	1969	35	クラブジャド(クラブ)	K-25	1983	49	イッセイ・ミヤケ・パリ(ブティック)
K-5	1969	35	エドワード本社ビル(ショールーム)	K-26	1983	49	イッセイ・ミヤケ・銀座松屋(ブティック)
K-6	1970	36	マーケットワン(メンズ・ファッション)	K-27	1984	50	イッセイ・ミヤケ・ニューヨーク(ブティック)
K-7	1970	36	エドワーズ・アトリエ・東京(ファッション・アトリエ)	K-28	1984	50	ESPRIT・香港(ブティック)
K-8	1970	36	ショップ I 神戸(レディース・ファッション)	K-29	1984	50	DESIGN STUDIO ESPRIT(オフィス)
K-9	1970	36	ショップ ヴォーグ(レディース・ファッション)	K-30	1987	53	イッセイ・ミヤケ渋谷西武百貨店(メンズ・ブティック)
K-10	1970	36	カネボウ化粧品ディスプレイ(化粧品)	K-31	1987	53	イッセイ・ミヤケ・神戸(ブティック)
K-11	1971	37	カリオカ ビル・1F(カフェ)	K-32	1987	53	LUCCHINO BAR(バー)
K-12	1971	37	カリオカ ビル・B1F(バー・レストラン)	K-33	1987	53	CAFE OXY乃木坂(カフェ)
K-13	1971	37	ショップ ファッション・イン(レディース・ファッション)	K-34	1987	53	イッセイ・ミヤケ・MEN南青山(ブティック)
K-14	1972	38	プロジェクト・ルミ・サーフェス(計画案)	K-35	1988	54	きよ友(バー・レストラン)
K-15	1972	38	ミュージズ(パンタロン・ショップ)	K-36	1988	54	BAR COMBLE・静岡(バー)
K-16	1973	39	キロニー・インテリア・イン(テキスタイル・ショールーム)	K-37	1988	54	バー・レストラン ゼール(バー・レストラン)
K-17	1974	40	四季ファブリック(テキスタイル・ショールーム)	K-38	1989	55	オブローモフ・福岡(バー)
K-18	1974	40	ミルクボーイ(ファッション・ブティック)	K-39	1989	55	YOSHIKI HISINUMA(ブティック)
K-19	1975	41	山荘T(別荘)	K-40	1990	56	リビナヤマギワ(ショールーム)
K-20	1976	42	イッセイ ミヤケ フロムファースト	K-41	1990	56	スパイラル(ショールーム)
K-21	1977	43	スーパーヘアーコイケ(美容室)	K-42	1991	56	LUPUTA(バー・クラブ)

以下の文献から、写真、図面を参考にし、図面がないものについては写真から平面図もしくは断面図を作成し、原室内空間に対して、インテリア・シェルターの離れ距離を読み取り、インテリア・シェルターの離隔性による空間分析方法にて、空間構成、空間生成を明らかにする。

## 文献資料一覧

増田通二(発行)1981: 倉俣史朗 1967～1987, PARCO出版局<sup>8)</sup>

田中一光(監修)1996: KURAMATA SHIRO、原美術館、クラマタデザイン事務所<sup>6)</sup>

大副敬二郎(発行)1984: JAPAN INTERIOR デザインNO・308、インテリア出版<sup>2)</sup>

村上末吉(発行)1989: WIND NO・8、商店建築社<sup>9)</sup>

村上末吉(発行)1991: WIND NO・16、商店建築社<sup>10)</sup>

### 2.1.2 用語の説明

用語の定義と記号を下記に説明する。

#### (1) 原室内空間とインテリア・シェルター

- ・原室内空間  $I_o$  (Original indoor space) : デザイン対象として既に存在する与えられた空間、あるいは元の構造体。

床の既に存在する与えられた空間は  $F_o$ 、元の構造体は  $f$

壁の既に存在する与えられた空間は  $W_o$ 、元の構造体は  $w$

天井の既に存在する与えられた空間は  $C_o$ 、元の構造体は  $c$

と記号づけする。

- ・インテリア・シェルター  $I_s$  (Interior shelter) : 原室内空間に対して、新に構成された床、壁、天井からなるもっとも内側にある表面から成り立つ空間。

床のインテリア・シェルターは、室内の中央手前に向かって  $F_1, F_2, F_3 \dots$

壁のインテリア・シェルターは、室内の中央手前に向かって  $W_1, W_2, W_3 \dots$

天井のインテリア・シェルターは、室内の中央手前に向かって  $C_1, C_2, C_3 \dots$

と記号づけする。

- ・離隔寸法  $d$  (Parting length) : 原室内空間からインテリア・シェルターの離れ距離。

これを基に、インテリア・シェルターの離隔性を以下のように用語を定義する。

- ・インテリア・シェルターの多重性  $D_m$  (Multiplex nature) : 原室内空間から、内側から手前に向かってインテリア・シェルターが何層になっているかということ。手前にあるインテリア・シェルターほど番号が大きくなる。

床のインテリア・シェルターは、室内の中央手前に向かって  $F_1, F_2 \dots F_n$  ( $n$  重床と読む)

壁のインテリア・シェルターは、室内の中央手前に向かって  $W_1, W_2 \dots W_n$  ( $n$  重壁と読む)

天井のインテリア・シェルターは、室内の中央手前に向かって  $C_1, C_2 \dots C_n$  ( $n$  重天井と読む) と記号づけする。

- ・起伏インテリア・シェルター  $F^{\sim}, W^{\sim}, C^{\sim}$  : (Multiplex nature of the irregularity)  
同一のインテリア・シェルターにて、原室内空間からの離れ方が一定でなく、斜め、曲面、凹凸になっているインテリア・シェルターのこと。床の起伏シェルター  $F^{\sim}$ 、壁の起伏シェルター  $W^{\sim}$ 、天井の起伏シェルター  $C^{\sim}$  と記号づけする。

- ・離隔要因  $D^{\sim}$  (Separation Factors) : 原室内空間に対してインテリア・シェルターの離れている理由。

(2) インテリア・シェルター面の空間的離隔性とフォルムとパターン

- ・空間的離隔性 D (Spatial characteristic) : インテリア・シェルターの原室内空間からの空間的離れ方。D1 並行離隔、D2-1 斜め離隔、D2-2 曲面離隔、D3-1 直角離隔、D3-2 段差離隔、D4-1 多重離隔、D4-2 中央離隔の 7 種類があり、記号づけをする。
- ・面内フォルム F (Form of the aspect) : インテリア・シェルターの床、壁、天井の面内の形態のこと。
- ・面内パターン P (Pattern of the aspect) : インテリア・シェルターの床、壁、天井の面内の模様のこと。

(3) インテリア・シェルター面のカラーとマテリアルと照明

- ・面内カラー C (Color of the aspect) : インテリア・シェルターの床、壁、天井の面内の色彩のこと。
- ・面内マテリアル M (Material of the aspect) : インテリア・シェルターの床、壁、天井の面内の素材のこと。
- ・面内照明 L (Lighting of the aspect) : インテリア・シェルターの床、壁、天井の面内の照明のこと。

以上のように定義づけ、記号づけをする。

### 2.1.3 研究方法

分析対象の文献としては作品集、デザイン誌（倉俣 1981, 大副 1984, 村上 1989, 村上 1991, 田中 1996, PEN 2008）を用い、前述のように 42 作品を抽出した。その結果は前節の表-2.1.2 に示す、時系列的に作品を K-01 から K-42 と表した。42 作品について作品写真、図面、図面のないものについては作品写真から平面図、断面図を起こし図面化した。原室内空間と新たに構成された最も内側にある床、壁、天井の表面からなるインテリア・シェルターとの離れ方とその距離を離隔寸法  $d$  と呼び、これを読み取り、データ・シートとして作成した。これらの読み取り方法と記号の付け方の詳細は、後述の図-2.2.1 に示す。インテリア・シェルターの離れ方、多重性を平面的、断面的に量的把握し、原室内空間とインテリア・シェルターの関係性（インテリア・シェルターの離れ方、多重性）のデータおよび作品名、完成年代、作者の年齢、インテリアの仕上げ、作品の空間特徴をデータ・シートとしてまとめ、これを基本データとした（これをデータ・シート 1 と呼ぶ）。また作成事例を表 - 2.2.2、表 - 2.2.3 に示す。

すでにある原室内空間とそこに新たに構成された床、壁、天井ーインテリア・シェルターとの離隔距離に着目し、なぜ離隔されたのかを考察し、これを離隔要因  $D'$  と呼ぶ。どのような空間的特性で離隔されたのか、これを空間的離隔性  $D$  と呼ぶ。その面の中に現れる立体的な形態特性、これを面内フォルム  $F$  と呼ぶ。その面の平面的形態特性、これを面内パターン  $P$  と呼ぶ。原室内空間とインテリア・シェルターとの関係を基に、インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間を作成するための操作である離隔要因、空間的離隔性、面内フォルム、面内パターンを作品毎にまとめ、データ・シートとして作成した（これをデータ・シート 2 と呼ぶ）。作品 K-31 の例を表-2.3.4 に示す。またインテリア・シェルターの床、壁、天井の面内マテリアル、面内カラー、面内照明につて、作品毎にまとめデータ・シートとして作成した（これをデータ・シート 3 と呼ぶ）。作成基準を表-2.4.2 に示す。

インテリア・シェルターの多重性  $D_m$  は、床については  $F1, F2, F3 \dots$ 、壁については  $W1, W2, W3 \dots$ 、天井については  $C1, C2, C3 \dots$  のように、番号が多くなるほど原室内空間から室内の内側方向、内側手前にあるように順を付けた。また同一シェルターの凹凸性を、 $F', W', C'$  と記号づけをした。多重性  $D_m$  の分析基準を図-2.2.3 に示す。

離隔要因  $D'$  は、空間的、用途的、精神的観点があると考え、それぞれ次のように 6 項目に分けた。空間的な要因として、a 1 仕上げる離隔要因・a 2 空間的離隔要因・a 3 設備的離隔要因・a 4 構造的離隔要因、用途的な要因として b 用途的離隔要因、精神的な要因として c 精神的離隔要因をあげた。

空間的離隔性  $D$  は、以下の 7 項目に分けた。すなわち  $D1$  並行、 $D2-1$  斜め、 $D2-2$  曲面、 $D3-1$  直角、 $D3-2$  段差、 $D4-1$  多重、 $D4-2$  中央・空間的離隔性である。

面のフォルムFは、以下の4つの項目に分けた。すなわちF1平面・線・点、F2折れ面・直線・波型・段差・階段、F3曲面・曲面・波型、F4凹凸面である。

面のパターンPは、以下の4項目に分けた。すなわちP1無地、半透明・半透明・照明・透明、P2スリット・タテ、スリット・ヨコ、P3グリット、P4ドット・四角形、ドット・円形である。

面のカラーCは、無彩色を白W，グレーG y，ブラックB k 3項目に分け、また有彩色を次の10項目に分けた。赤色R，橙色O，黄色Y，黄緑色Y G，緑色G，青緑色B G，青色B，青紫色P B，紫色P，赤紫色R P。その他2項目に分け、メタリックM、トーメイとした。

面のマテリアルMは、以下の10項目に分けた。M1コンクリート系、M2石・タイル系、M3樹脂・ゴム系・M4繊維・布系、M5ペイント系、M6木質系、M7金属系・M8アクリル系、M9ガラス系、M10オープン系である。

面の照明Lは、一般的な照明分類を用い、L1配光形式は直接照明、半直接照明、全拡散照明、半間接照明、間接照明の5項目に、L2器具種類はダウンライト、スポットライト、埋め込み器具、シーリング、ペンダント、ワイヤー・コード、シャンデリア、ブラケット、スタンド、F L 蛍光灯垂直、F L 蛍光灯水平の11項目に分け、L3光形状は点光源を単独的、直線的、曲線的、格子的、群的の5項目に分け、線光源を直線的、格子的の2項目に分け、面光源を無地的、スリットの、格子的の3項目に分けた。L4光源は白熱球、ハロゲン球、F L 蛍光灯の3項目に分けた。

カラー、マテリアル、照明について、床、壁、天井の状況を同時に可視的に認識できるように、単純化した図形で表示するダイアグラムを作品ごとに作成した。カラーについては10分類に記号化し、マテリアルについては5分類に記号化し、照明については13分類に記号化したダイアグラムを作成した。これを表-2.4.1に示す。

## 2.2 原室内空間とインテリア・シェルターの離隔寸法、離隔要因、多重性

原室内空間とインテリア・シェルターとの離れ距離である離隔寸法  $d$ 、離れの理由である離隔要因  $D$ 、面の多層性である多重性  $D_m$ 、面の起伏性である起伏インテリア・シェルター  $F$ ,  $W$ ,  $C$  についての定義と記号化を図 - 2.2.1 に示す。

原室内空間、インテリア・シェルター、離隔寸法、離隔要因の定義と記号化

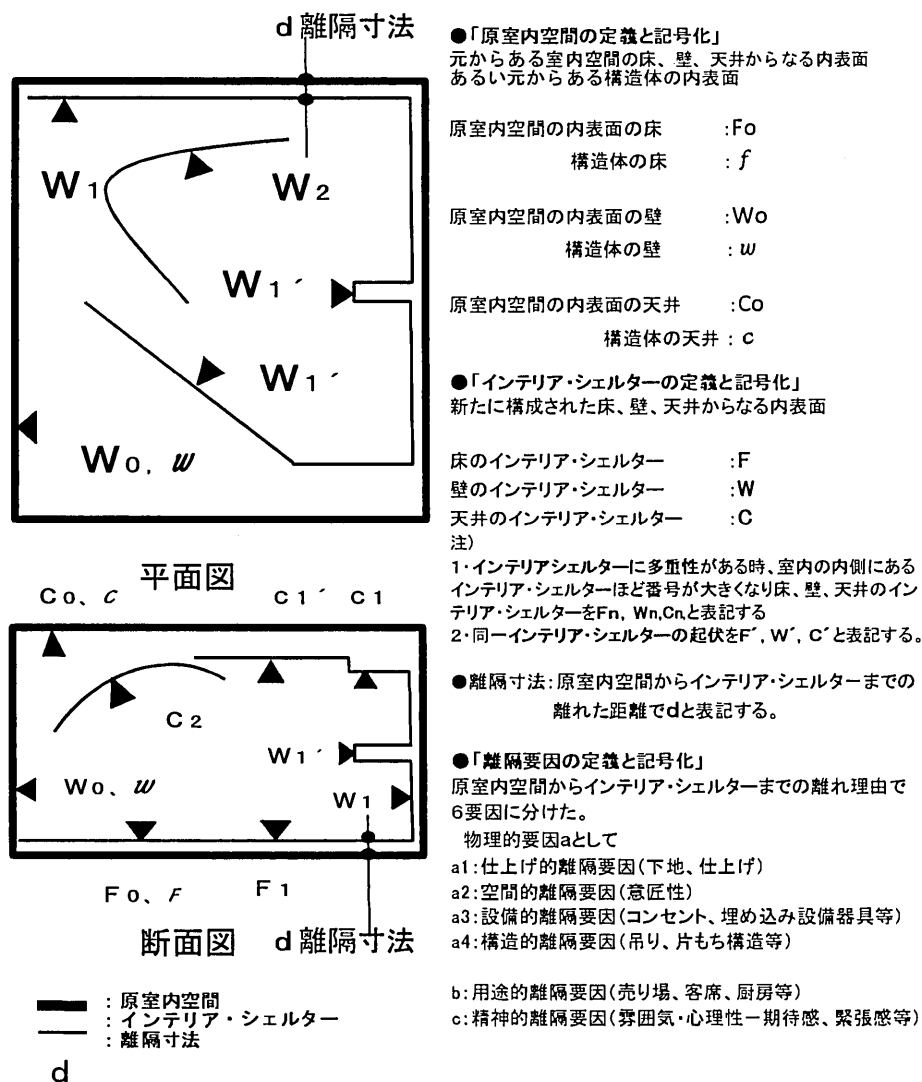


図-2.2.1 原室内空間とインテリア・シェルターにおける離隔性の方法の図

原室内空間とインテリア・シェルターの離隔性の定義、離隔寸法、離隔要因、インテリア・シェルターの多重性、起伏インテリア・シェルターの表示記入例を図-2.2.2～6に示す。

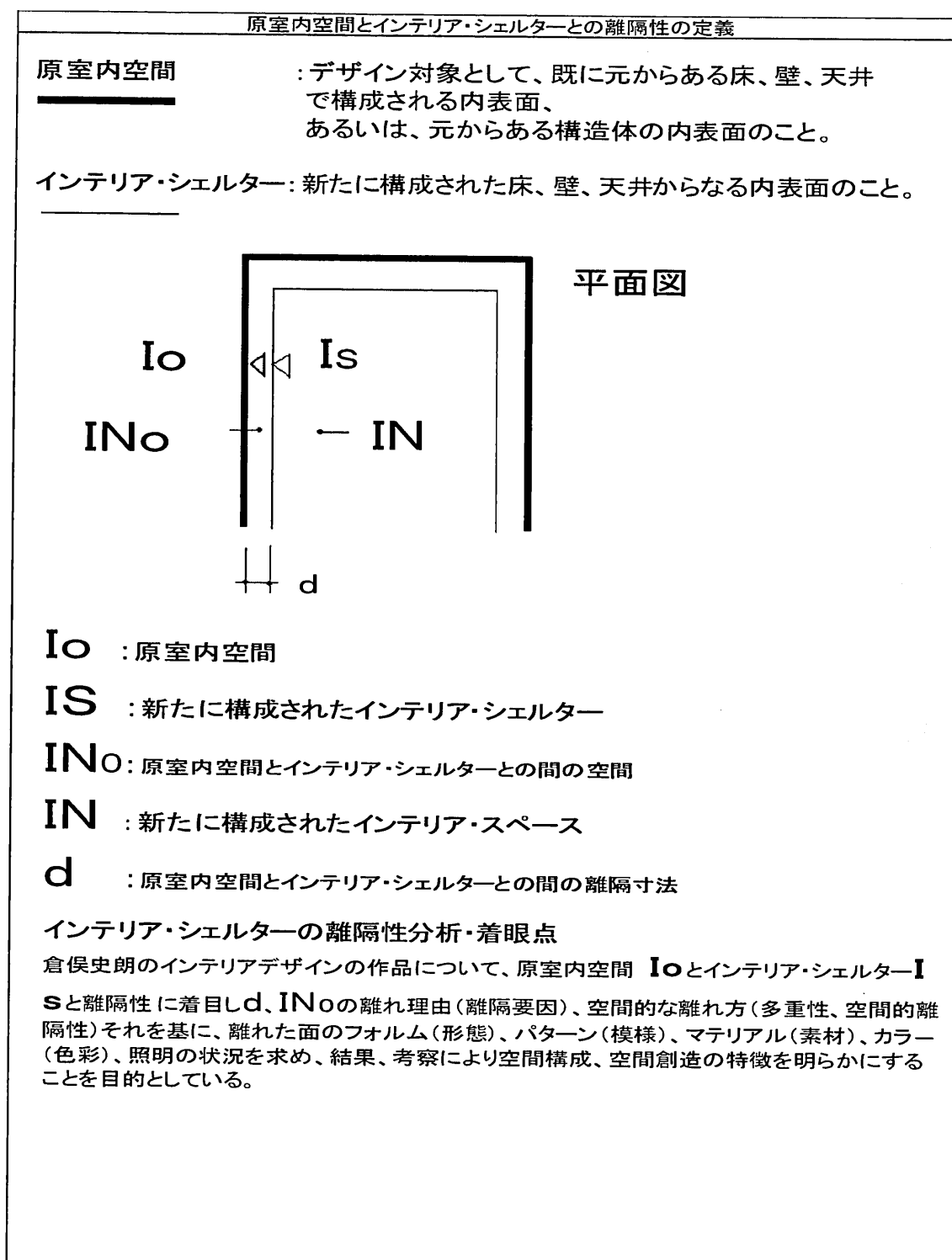
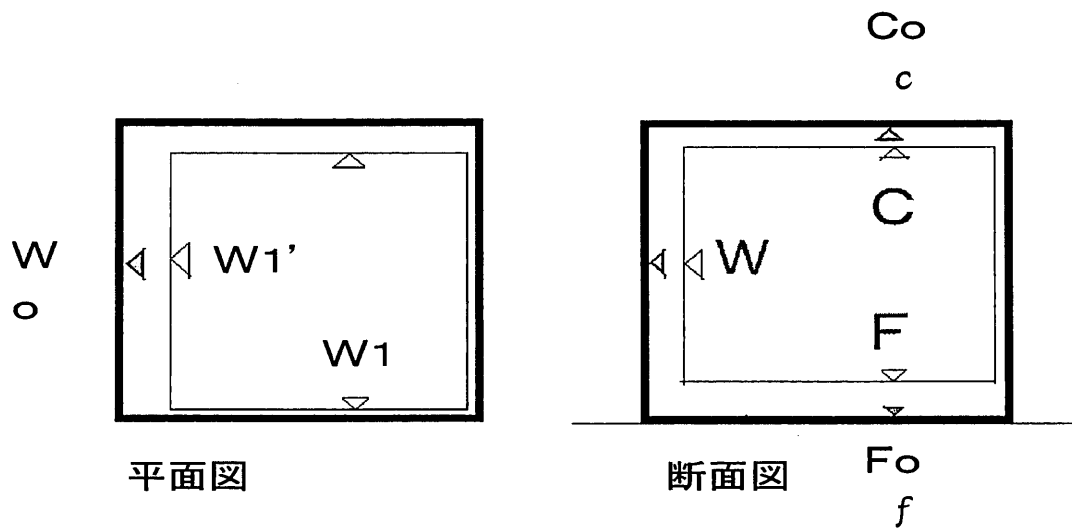


図-2.2.2 インテリア・シェルターの離隔性の用語の定義と記号化





**IS**: インテリア・シェルターを 床:  $F$ 、 壁:  $W$ 、 天井:  $C$  と表記する。

**IO**: 原室内空間の内表面を 床:  $F_o$ 、 壁:  $W_o$ 、 天井:  $C_o$  と表記する。

元の構造体を 床:  $f$ 、 壁:  $w$ 、 天井:  $c$  と表記する。

### 離隔要因 $D'$

インテリア・シェルターの離れの理由

a1: 仕上げる

a2: 空間的

a3: 設備的

a4: 構造的

b: 用途的

c: 精神的、意味的

### インテリア・シェルターの多重性 $D_m$

床のインテリア・シェルターは室内手前に向かって  $F_1, F_2, F_3 \dots F_n$  ( $n$ 重床と呼ぶ)

壁のインテリア・シェルターは室内手前に向かって  $W_1, W_2, W_3 \dots W_n$  ( $n$ 重壁と呼ぶ)

天井のインテリア・シェルターは室内手前に向かって  $C_1, C_2, C_3 \dots C_n$  ( $n$ 重天井と呼ぶ)

### 起伏インテリア・シェルター $F', W', C'$

$F'$ : 原室内空間から離れた同一床のインテリア・シェルターの起伏面のこと。

$W'$ : 原室内空間から離れた同一壁のインテリア・シェルターの起伏面のこと。

$C'$ : 原室内空間から離れた同一天井のインテリア・シェルターの起伏面のこと。

図-2.2.3 インテリア・シェルターの離隔性の用語の定義と記号化

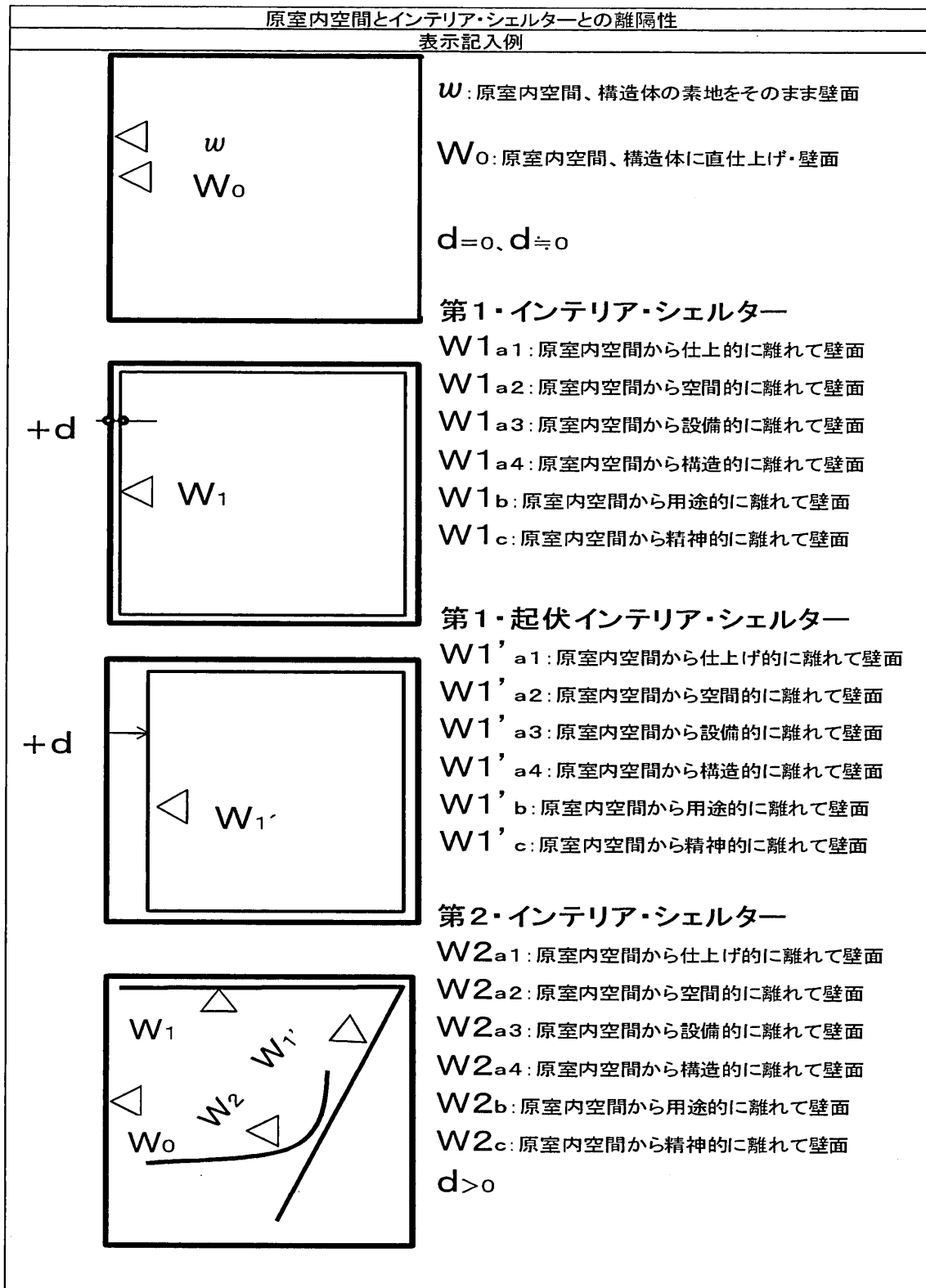


図-2.2.4 インテリア・シェルターの離隔性の用語の定義と記号化

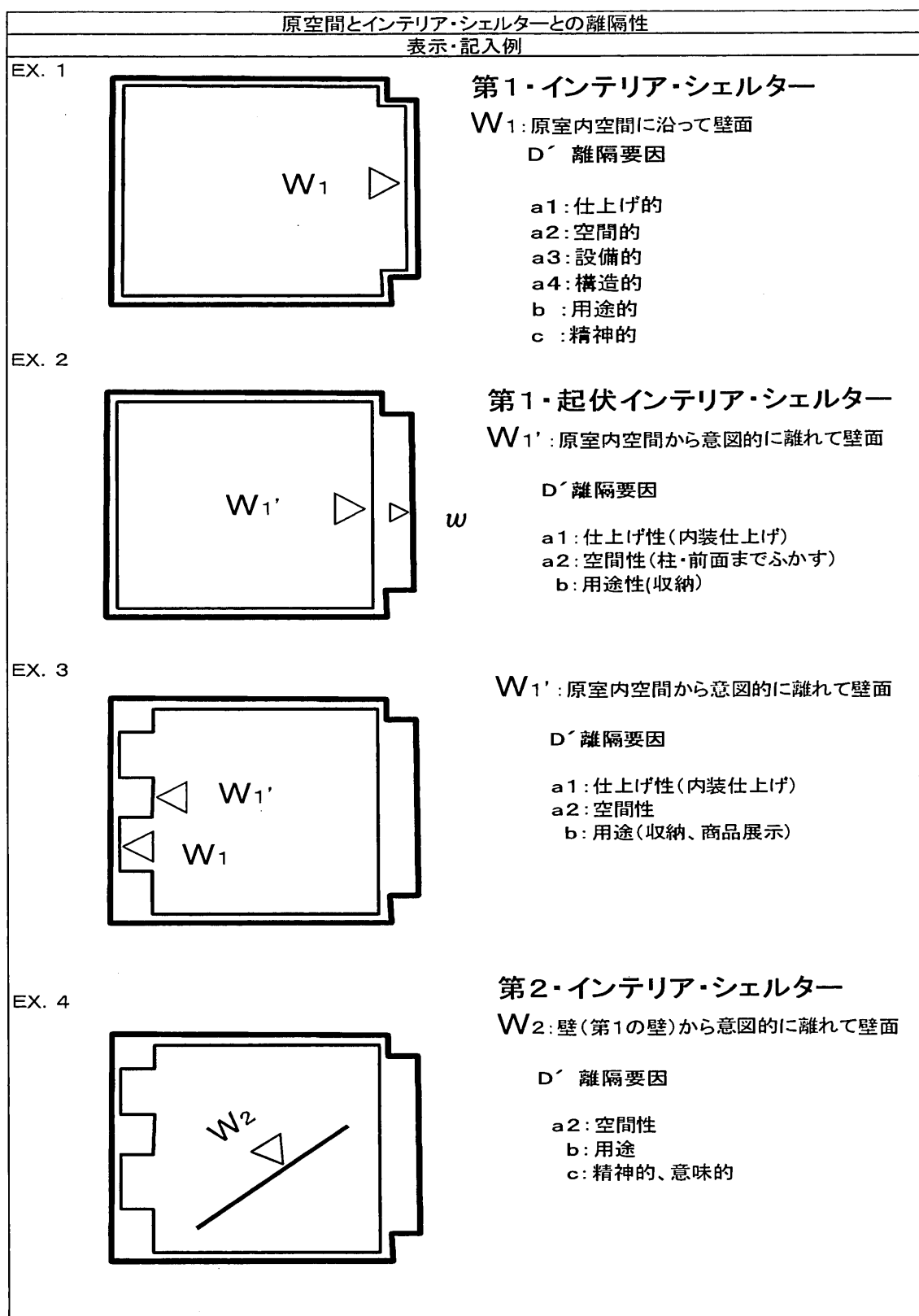
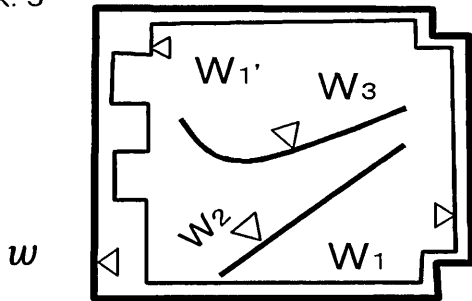


図-2.2.5 インテリア・シェルターの離隔性の用語の定義と記号化

EX. 5



### 第3・インテリア・シェルター

$W_3$ : 第2の壁から意図的に離れて壁面  
(3重壁)

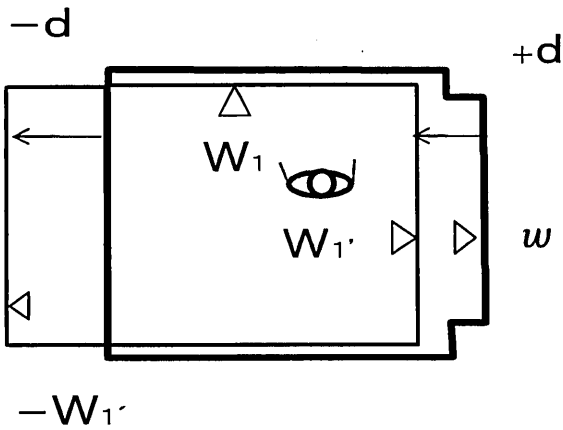
$D'$ : 離隔要因

a2: 空間的

b: 異種用途的

c: 精神的、意味的

EX. 6



### 離隔距離d

$+d$ : 室内側手前にインテリア・シェルターが離れる時

$-d$ : 室内の外側にインテリア・シェルターが離れる時

図-2.2.6 インテリア・シェルターの離隔性の用語の定義と記号化

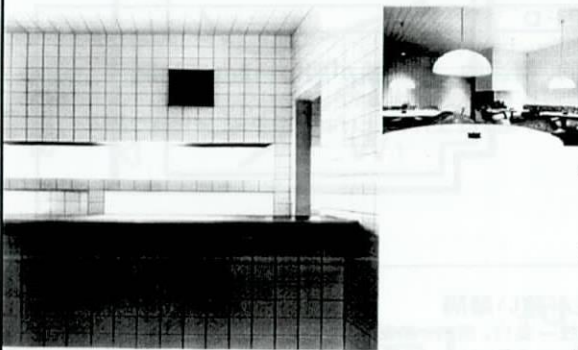
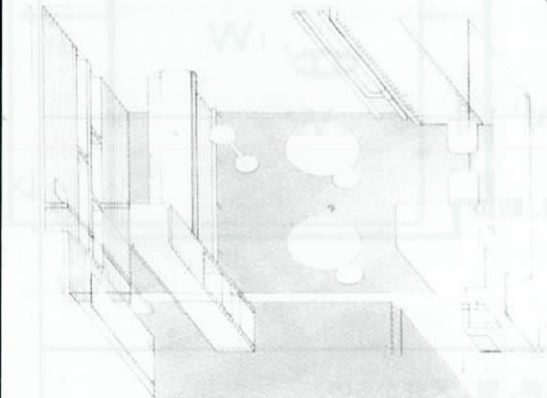
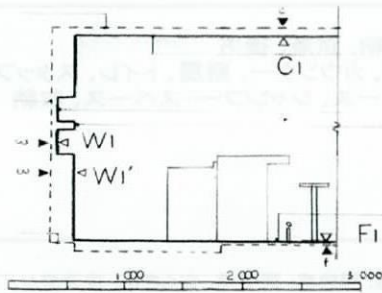
離隔要因は6分類に分け、空間的離隔要因、用途的離隔要因、精神的離隔要因の分析基準を下記、表-2.2.1に示す。

表-2.2.1 離隔要因の分類、定義と記号化

離隔要因・D'		
空間的 形態的	D'-a1	1・意匠的、設備的、構造的、意図性が弱い・仕上げ離隔 2・床、壁、天井に対して直設的仕上げ 3・床、壁、天井に対して下地+仕上げ(仕上げ材料の下地、断熱材など)
	仕上げる離隔	
	D'-a2	1・空間的意図性が強い離隔 2・面の空間的離隔性—並行、斜め、曲面、直角、段差、多重、中央離隔 3・面内のフォルム、パターン、マテリアル、カラー、ライティング
	空間的離隔	
	D'-a3	1・照明 2・換気、空調 3・電気、通信、情報、防災 4・給排水 その他
	設備的離隔	
	D'-a4	1・キャンティレバー(床、壁、天井からの) 2・吊り構造(天井からの) その他
	構造的離隔	
用途的	D'-b	1・展示、売り場、収納、試着、後方 2・アプローチ、客席、カウンター、厨房、トイレ、スタッフ・ルーム 3・待合、カット・スペース、シャンプー・スペース、収納 その他
	用途的離隔	
精神的	D'-c	1・気持ちの変化(期待感、開放感、緊張感、安らぎ感、浮遊感など) 2・意味性(既成概念の否定、暗示性、本質性、観念性、感性など) その他
	精神的離隔	

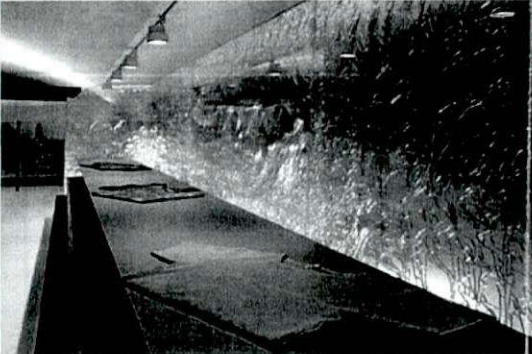
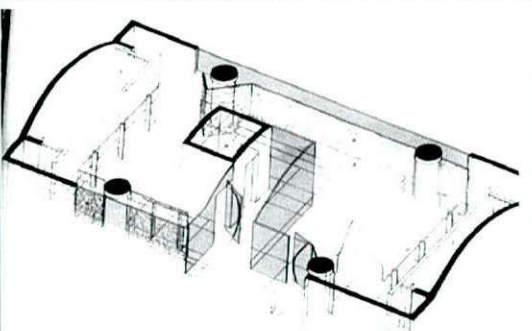
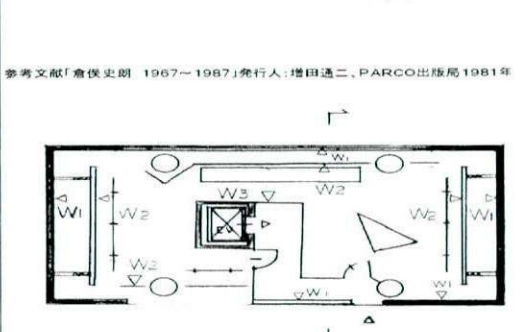
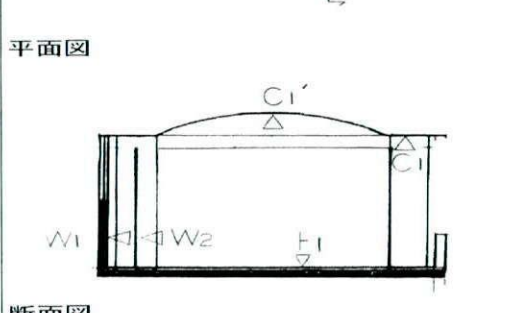
インテリア・シェルターの離隔要因、多重性、仕上げ、空間の特徴を求めるデータ・シート1について作品「K-02」の記入事例を下記、表-2.2.2に示す。

表-2.2.2 データ・シート1 (K-02「レストラン サーカス」記入事例)

原室内空間とインテリア・シェルターとの離隔性 データ・シート1	
	<p>「レストラン サーカス」東京 K-02 1968年・34歳 [仕上げ] 床 カーペットt=4mm (チャコールグレー)</p>
	<p>壁 75×75mm白タイル、目地黒 1mm</p> <p>天井 75×75mm白タイル、目地黒 1mm</p> <p>照明 テーブル上にコード・ペンダント照明 一部天井・シーリング・照明</p>
	<p>「空間の特徴」 1・壁、天井75×75mmのグリット、格子状の表層になっている。 2・凹壁面化収納 3・浮遊する半円球光のコードペンダント</p>
	<p>「原室内空間とインテリア・シェルターとの離隔要因と多重性」</p> <p>● インテリア・シェルター</p> <p>天井 1・構造体から空間的に離して天井面C1 2・構造体から照明・設備分離して天井面C1</p> <p>壁 1・構造体から空間的に離して壁面W1 ・左面・カウンター側: 構造体から収納・用途的に離して壁面(照明内设)W1'</p> <p>床 1・構造体に直・仕上げ・床面F1 2・厨房区画・給排水・設備分離して床面F1'</p>
<p>アイソメ</p> <p>参考文献「倉俣史朗 1967~1987」発行人: 増田通二、PARCO出版局1981年</p> <p>● 与空間</p> <p>天井スラブ c</p> <p>壁・構造体 w</p> <p>床スラブ f</p>  <p>断面図</p>	

インテリア・シェルターの離隔要因、多重性、仕上げ、空間的特徴を求めるデータ・シート1について作品「K-31」の記入事例を下記、表-2.2.3に示す。42作品のデータ・シートは資料編にまとめて記載した。








表-2.2.3 データ・シート1 (K-31「ISSEY MIYAKE 神戸」記入事例)

原室内空間とインテリア・シェルターとの離隔性	データ・シート1
	<p>「ISSEY MIYAKE神戸リンズゲイト」K-31 1987年・53歳 「仕上げ」 床ー現場研ぎ出しテラゾ(白)</p> <p>壁・天井ー躯体補修後・ラフトン吹き付け</p> <p>照明ー天井・配線ダクト・スポットライト 曲面天井部間接光</p> <p>間仕切り壁ー木製下地・カラーアルミ板練り付け</p> <p>ガラス・スクリーンー3枚合わせ・ガラスヒビワレ加工</p> <p>ハンガーパイプ: スチール角パイプショットブラスト加工・クロムメッキ</p> <p>スチール板: ボンスエード焼き付け塗装</p>
	<p>「空間の特徴」 1・エレベーターによるアプローチで気分の変化を大切にしている。 2・黒い壁面展示什器(控えめな表現、主張) 3・トーマイ・ガラス(消去)、3枚のひび割れガラス(主張)</p> <p>主体(3重ひび割れガラスの自立壁) サブ主体(黒い壁面展示什器) 消去(トーマイ・ガラス)</p> <p>「原室内空間とインテリア・シェルターとの離隔要因と多重性」</p>
<p>参考文献「倉俣史朗 1967~1987」発行人: 増田通二, PARCO出版局1981年</p> 	<p>●インテリア・シェルター</p> <p>天井ー1・構造体から空間的に離して天井面C1 Cーその面が意匠・空間的に上方へ曲面的に離れた天井面C1'</p> <p>2・構造体から設備分離して天井面C1, C1'(曲面離隔)</p> <p>壁ー1・構造体から空間的に離して壁面W1 2・W1の面より空間的に離れて壁面W2 ・ヒビワレ・ガラス面、照明内设・透過光 3・W1の面より試着分(用途)離れて壁面W2 4・W2の面より棚、通路分離して壁面W3 (中央にエレベーターの壁面)</p> <p>W1, W2, W3(多重離隔)</p> <p>床ー1・構造体から空間的に離して床面F1 2・構造体から取り付け金物分離して床面F1</p>
<p>平面図</p>  <p>断面図</p>	

## 2.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間的離隔性と面のフォルム、パターン

原室内空間に対して、インテリア・シェルターが空間的にどのような離れ方（空間的離隔性）をしているのかの、空間的離隔性Dの分析基準を表-2.3.1に示す

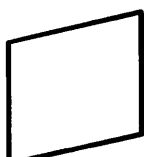


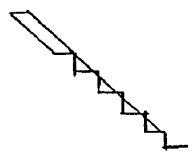

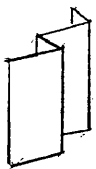
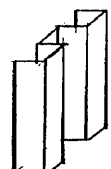
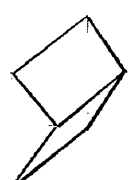
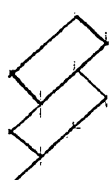
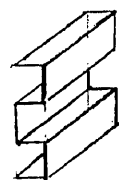
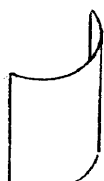
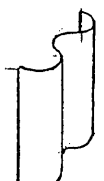


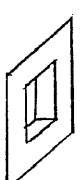

表-2.3.1 インテリア・シェルターの空間的離隔性・D

インテリア・シェルターの空間的離隔性・D			
D1	D1		原室内空間からインテリア・シェルターの面が並行に離れている。
	並行離隔		
D2	D2-1		原室内空間からインテリア・シェルターの面が斜めに離れている。
	斜め離隔		
	D2-2		原室内空間からインテリア・シェルターの面が曲線的に離れている。
	曲面離隔		
D3	D3-1		原室内空間からインテリア・シェターの面が直角的に離れている。
	直角離隔		
D3	D3-2		原室内空間からインテリア・シェターの面が段差的に離れている。
	段差離隔		
D4	D4-1		原室内空間からインテリア・シェターの面が多重的に離れている。
	多重離隔		
D4	D4-2		原室内空間からインテリア・シターの面が中央へ離れている。
	中央離隔		




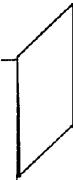
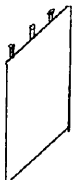


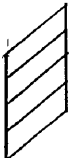
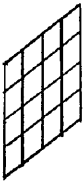

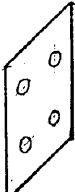

インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のフォルム F の分析基準を表-2.3.2に示す。

表-2.3.2 フォルムの分類と記号化

面内のフォルム・F				
	F1-1 平面	F1-2 線	F-3 点	
F1				
F2	F2-1a 折れ面・タテ	F2-2a 直線波型・タテ	F2-3a 段差型・タテ	
				
	F2-1b 折れ面・ヨコ	F2-2b 直線波型・ヨコ	F2-3b 段差型・ヨコ	
				
F3	F3-1a 曲面・タテ	F3-2a 曲線・波型・タテ		
				
	F3-1b 曲面・ヨコ	F3-2b 曲線・波型・ヨコ		
				
F4	凹面	凸面		
				

インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のパターンPの分析基準を表-2.3.3に示す。

表-2.3.3 パターンPの分類と記号化

面内のパターン・P				
	P1-1 無地	P1-2a 半透明	P1-2b 半透明・照明内設	P1-3 透明
P1				
P2	P2-1 スリット・タテ	P2-2 スリット・ヨコ		
				
P3	P3 グリッド			
				
P4	P4-1 ドット四角形	P4-2 ドット円形	P4-2 ドット・ランダム	
				

空間的離隔性D、フォルムF、パターンPのデータ・シート2の記入事例を下記、表-2.3.4に示す。42作品のデータ・シートは資料編にまとめて記載した。

表-2.3.4 データ・シート2(K-31「ISSEY MIYAKE 神戸」作成事例)

離隔要因D、空間的離隔性D、面内フォルムF、面内パターンP

インテリア・シェルターの離隔性と床、壁、天井における空間生成操作・データ・シート 2									
作品名、空間の特徴	K-31	ISSEY MIYAKE神戸		壁の多重性、斜め壁		欄の浮遊性		重力の解放	
空間の特徴グループ	H	光る壁		エレベーター・アプローチ		光る壁・不透明ガラス		消去感受	
	記号	ダイアグラム			床・F	壁・W	天井・C		
離隔要因 D	a1	仕上げ	仕上げる						
	a2	空間的	空間・意匠的			○	○	○	
	a3	設備的	照明、換気、空調、電気、給排水			○	○	○	
	a4	構造的	片持ち、吊り			○		○	
	b	用途的	展示、売り場、収納、試着、客席、厨房、トイレ				○		
	c	精神的	気持ち、心理						
面の空間的 離隔性 D	D1				並行離隔	○	○	○	
	D2				斜め離隔 1 曲面離隔 2		○	○	
	D3				直角離隔 1 段差離隔 2		○		
	D4				多重離隔 1 中央離隔 2				
面内の フォルム F	F1				平面 1 線 2 点 3	○	○		
	F2				折れ面 1a, 1b 直線・波型 2a, 2b 段差型 3a, 3b 階段型 4		○		
	F3				曲面 1a, 1b 曲面・波型 2a, 2b			○	
	F4				凹面 1 凸面 2				
面内の パターン P	P1				無地 1 半透明 2a 透明 2b 透明 3		○ ○	○	
	P2				スリット・タテ 1 スリット・ヨコ 2				
	P3				グリッド 1	○			
	P4				ドット・四角形 1 ドット・円形 2				

## 2.4 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のカラーとマテリアルと照明

インテリア・シェルターの床、壁、天井の状況のカラー・ダイアグラム、マテリアル・ダイアグラム、照明・ダイアグラムの分析基準を下記、表-2.4.1に示す。

表-2.4.1 カラーC、マテリアルM、照明Cの床、壁、天井面のダイアグラムの記号化

カラー、マテリアル、照明-床、壁、天井のダイアグラム			
	ダイアグラム	記号	面内・カラー・トーン・C
1		1	床、壁、天井の3面が別のトーン
2		1f	床がダーク・トーン
3		1w	壁がダーク・トーン
4		1c	天井がダーク・トーン
5		2fw	床、壁の2面が同・トーン
6		2wc	壁、天井の2面が同・トーン
7		2fc	床、天井の2面が同・トーン
8		3・1	床、壁、天井が同・トーン 白・W
9		3・2	床、壁、天井が同・トーン グレー・Gv
10		3・3	床、壁、天井が同・トーン ブラック・Bk
	ダイアグラム	記号	面内マテリアル・M
1		1	床、壁、天井、3面が別のマテリアル
2		2fw	床、壁の2面・同マテリアル
3		2wc	壁、天井の2面・同マテリアル
4		2fc	床、天井の2面・同マテリアル
5		3	床、壁、天井の3面が同マテリアル
	ダイアグラム	記号	面内・ライティング・L
1		1f	床面が点光、線光、面光
2		1w1	壁面が点光
3		1w2	壁面が線光
4		1w3	壁面が面光
5		1c1	天井面が点光
6		1c2	天井面が線光
7		1c3	天井面が面光
8		2w1c1	壁、天井の2面が点光
9		2w2c2	壁が線光、天井が点光
10		2w2c2	壁線光、天井が線光
11		2w3c1	壁が面光、天井が点光
12		2f3c1	床が面光、天井が点光
13		3f2w2c2	床、壁、天井が線光

インテリア・シェルターの床、壁、天井の面のカラー、面のマテリアル、面の照明のデータ・シート3の分析基準を表-2.4.2に示す。42作品のデータ・シートは資料編にまとめ記載した。

表-2.4.2 データ・シート3 (面内カラーC、面内マテリアルM、面内照明Lの分析基準)

インテリア・シェルターの空間形態の生成操作—面内カラー、面内マテリアル、面内照明データ・シート3										
作品番号 作品名		空間の特徴グループ		記号	仕様	床・F	壁・W	天井・C	中央什器	計
面内のカラー C	無彩色 JIS物体色	N	1	白	W					
			2	グレー	Gv					
			3	ブラック	Bk					
	有彩色 JIS物体色	C	1	赤色	Rレッド					
			2	橙色	Oオレンジ					
			3	黄色	Yイエロー					
			4	黄緑色	YG					
			5	緑色	Gグリーン					
			6	青緑色	BG					
			7	青色	Bブルー					
			8	靑色	PB					
			9	紫色	Pパープル					
			10	赤紫色	RPピンク					
面内のマテリアル M	メタリック トーン	M	1	メタリック						
			2	トーン						
	コンクリート系	M1	1	基地						
			2	コンクリート						
			3	キルタル						
			4	プラスチック金で仕上げ						
	石・タイル系	M2	1	大理石						
			2	御影石						
			3	特注・テラゾ						
			4	タイル						
	樹脂・ゴム系	M3	1	プラスチック・タイル						
			2	リバリウム						
			3	ラバー・タイル						
			4	ゴム・タイル						
	繊維・布系	M4	1	カーペット						
			1	布						
			1	EP・エマルジョン・ペイント						
			2	PB・フレキシブルボンドEP						
	ペイント系	M5	3	VP						
			4	ラッカー						
			5	アクリル・塗装						
			6	PB・ネクステル						
			7	リジン・吹付け						
			8	ラフトン・吹付け						
			1	フローリング						
			2	木レンガ						
	木質系	M6	3	木板						
			4	OSB						
			5	メラミン化粧板						
			1	スチール・クロムメッキ						
	金属系	M7	2	スチール・メラミン焼き付						
			3	スチール・エクスパンダメタル						
			4	アルミニウム						
			5	ステンレス						
	アクリル系	M8	6	ホーロー・タイル						
			1	トーン・アクリル						
			2	乳白アクリル						
			3	ポリカーボネイト						
	ガラス系	M9	4	FRP						
			1	トーン・ガラス						
			2	腐食ガラス						
			3	3枚ガラス						
	オープン	M10	4	ミラー・ガラス						
			1	面材なし						
面内の照明 L	配光形式	L1	1	直接照明	直接光					
			2	半直接照明	直接光 透過光					
			3	全拡散照明	透過光					
			4	半間接照明	反射光 間接光					
			5	間接照明	間接光					
	照明器具 種類	L2	1	ダウンライト						
			2	スポット・ライト						
			3	埋め込み器具 隠し器具						
			4	シーリング						
			5	ペンダント						
			6	ワイヤーコード						
			7	シャンデリア						
			8	ブラケット						
			9	スタンド						
			10	FI・垂直						
	光形状 L3	点	1	FI・水平						
			a	単独的						
			b	直線的						
			c	曲線的						
			d	格子的						
			e	群集的						
			a	直線的						
			b	格子的						
			a	無地・面						
			b	スリットの						
	光源	L4	c	格子的						
			1	白熱球	ミニ球					
			2	ハロゲン						
			3	FI・蛍光灯						
				計						



### 第 3 章 結果

### 3.1 原室内空間とインテリア・シェルターの離隔要因と多重性の結果

前章の図-2.2.1の分析方法に基づき、1967年以後における倉俣史朗のインテリア・デザイン 42 作品において、データ・シート1(資料編を参照)より床、壁、天井の仕上げ、照明、空間の特徴、原室内空間とインテリア・シェルターとの関係から離隔要因、多重性を抽出し、離隔要因では原室内空間から、仕上げる、空間的、設備的、構造的、用途的、精神的のどの理由によって離れたかを検討した。インテリア・シェルターの床F、壁W、天井Cが何層になっているかという多重性については、各部位について床F1.F2・・・、壁W1.W2・・・、天井C1.C2・・・のように外側から内側へインテリア・シェルター数が増える場合に、数値が大きくなるように番号付けをした。床、壁、天井の面の起伏がある場合は、その部分についてはダッシュ用いてF1´、W1´、C1´のように記号化した。データ・シート1には図-2.2.1および図-2.2.2～2.2.6のように、これらの記号を平面図、断面図に表示した。

ここでは1970年、K-09「ショップ ヴォーグ」の事例を図-3.1.1に示す。前述の空間分析手法に従って、床では、原室内空間に沿って、下地と仕上げ分離れた床がF1であり、壁では、原室内空間に沿って、下地、仕上げ分離れた壁あるいは原室内空間に沿って、空間的に離れた壁をW1、W1から収納分離れた部分をW1´と表し、天井では、原室内空間に沿って、照明設備分離れた天井がC1である。このK-09作品でのW1´の凹凸性の壁、あるいは壁面化された収納壁面の空間的特徴が読み取られた。

図-3.1.2に1970年K-36「BAR COMBLE・静岡」の事例を示す。床では、原室内空間に沿って下地、仕上げ分離れた床F1があり、壁では、原室内空間に沿って、下地、仕上げ分離れた壁W1、その壁から斜めに空間的に離れた壁W1´、W1から空間的、用途的(厨房)に離れた壁W2、その壁から離れた壁W3があり、天井では、原室内空間に沿って、仕上げ分だけ離れた天井をC1、その天井から、空間的、設備的(照明器具の内設)、精神的に離されたC2がある。このようにして離隔性が読み取れた。

#### 3.1.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における離隔要因D´について

インテリアデザイン 42 作品について、以上の離隔性を基に、インテリア・シェルターの離隔要因をまとめ、作品の時代順にまとめ、インテリア・シェルターの離隔要因を「仕上げる」、「空間的」、「設備的」、「構造的」、「用途的」および「精神的」に6分類し、表-3.1.1を作成した。

表-3.1.1、図-3.1.3より床では、空間的離隔要因は40作品に、構造的離隔要因は24作品に、設備的離隔要因は20作品に、用途的離隔要因は16作品に、精神的離隔要因は6作品に、仕上げ離隔要因は4作品に現れた。




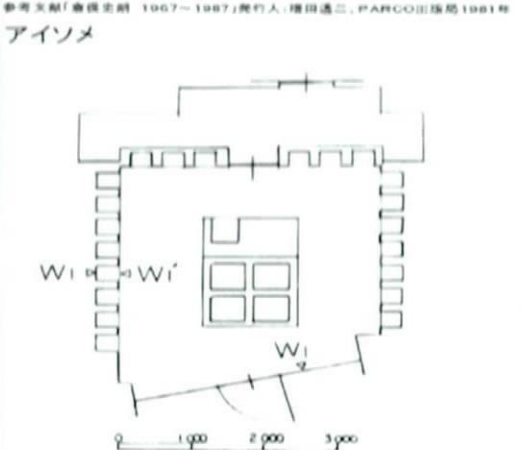
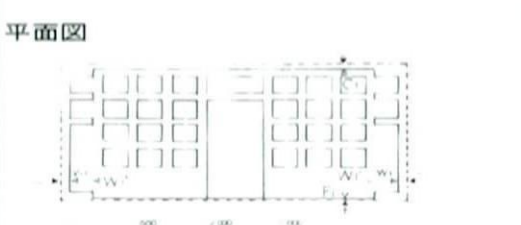

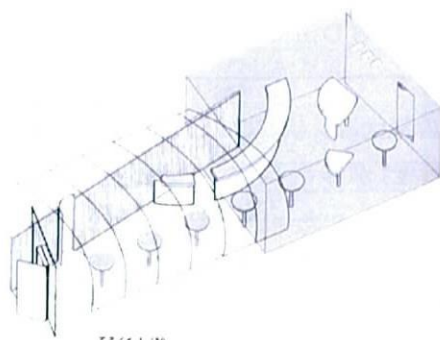
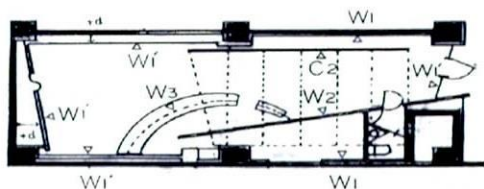
原室内空間とインテリア・シェルターとの離隔性 データ・シート	
	<p>「ショップ ヴォーグ」東京 K-09 1970年・36歳</p>
	<p>「仕上げ」</p> <p>床—ユゴ一産・大理石 (白)</p> <p>壁—モルタル下地プラスター金ごて仕上げ (白)</p> <p>天井—モルタル下地プラスター金ごて仕上げ (白)</p> <p>照明—天井中央・500Wハロゲン球 1 灯</p>
	<p>「空間的特徴」</p> <p>●凹凸の壁面化展示</p> <p>天井、壁部分にプラスター金ごて仕上げを使用している。壁の収納くぼみ部分の床・壁・天井はプラスター金ごて仕上げの目地のない一体の部材より成り立ち、正立方体のハンドバック収納、直方体のハンガー収納の2タイプの収納ユニットから構成されている。ノンフレームガラスのファサード</p> <p>主体(白い凹凸の壁面) 消去(商品、収納性)</p>
	<p>「原室内空間とインテリア・シェルターとの離隔要因と多重性」</p> <p>●インテリア・シェルター</p> <p>天井—1・構造体から仕上げ的天井面C1 2・構造体から照明設備スペース分離して天井面</p> <p>C1</p> <p>壁—1・構造体から下地、仕上げ分離して壁面W0 2・構造体から空間的に離れて壁面W1 ・構造体より壁面が収納部分だけ離れて壁面(壁面化展示)W1' 3・間仕切り壁(用途を区分するため試着室、ストックルーム、空調室)</p> <p>W0, W1, W1'</p> <p>床—1・構造体から空間的に離して床面F1 F1</p>
<p>参考文献「森本史朗 1967～1987」著行人・権田通二、PARCO出版局1981年</p> <p>アイソメ</p> 	
<p>平面図</p> 	
<p>断面図</p> 	

図-3.1.1 データ・シート1 (K-09) の読み取り事例

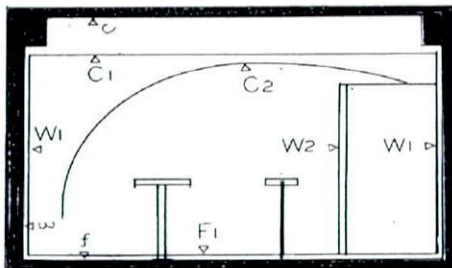
原室内空間とインテリア・シェルターとの離隔性 データ・シート



参考文献「倉庫空間 1967～1987」発行人：増田通二、PARCO出版局1981年



平面図



断面図

「BAR COMBLE」静岡 K-36

1988年・54歳

「仕上げ」

床ー現場研ぎテラゾー・乳白アクリル目地棒t3mm  
透明アクリル特注カット発光ダイオード埋め込み

ーOSB(チップボード)染色塗装突きつけ貼り  
壁・天井ーOSB(チップボード)染色塗装突きつけ貼り

ーアルミスバンドレル研磨アルマイト仕上げ

照明ー光天井・スチールFBフレーム・ポリカーボネイト2重張り

天井・配線ダクト・スポットライト(ハロゲン)  
ワイヤーコード・ハロゲン

照明器具:YA YA HOシステム(インゴー・マウラー)

カベ・ドアー:OSB(チップボード)染色塗装突きつけ貼り

カウンター:甲板ポリエスチル樹脂

脚ー透明ガラスt15mm曲げ加工

テーブル脚:アルミパイプ研磨アルマイト染色仕上げ

「空間の特徴」

1・斜め離隔の外から内への壁(多重壁)

2・壁から天井への光曲面(透過光)

3・斜め壁から離隔された曲面のカウンター

4・連立すつテーブル

5・ファサード壁の消去(自立するドア・フレーム)

6・奥の壁面内開口部・S曲面壁

インテリア・シェルターの多重性

空間の浮遊性

自由なレイアウト

「原室内空間とインテリア・シェルターとの離隔要因と多重性

●インテリア・シェルター

天井ー1・構造体から仕上げの的に離して天井面C1

2・1の面から空間的、精神的に離して  
スチールFBフレーム・ポリカーボネイト  
2重張り吊り天井C2(照明内設)

C1, C2

壁ー1・構造体から内装仕上げ分離して壁面W1

・1の面から斜めに離れて壁面W1'

2・W1の面から斜めに空間的、用途的、  
精神的に離れて壁面W2

3・2の空間から通路分離れてカウンターの  
曲面・壁面W3

W1, W1', W2, W3(多重離隔)

床ー1・構造体から空間的に離して床面F1

2・構造体から構造的に離して床面

3・厨房区画・給排水内設・床面

F1

図-3.1.2 データ・シート1 (K-36) の読み取り事例

壁では、空間的離隔要因は42作品に、用途的離隔要因は36作品に、精神的離隔要因は30作品に、構造的離隔要因は13作品に、設備的離隔要因、仕上げの離隔要因共は12作品に現れた。

天井では、空間的離隔要因は37作品に、設備的離隔要因は34作品に、精神的離隔要因は11作品に、仕上げの離隔要因は10作品に、構造的離隔要因は9作品に、用途的離隔要因は1作品に現れた。

図-3.1.4より、床、壁、天井全体でみると、空間的、設備的、用途的、精神的、構造的、仕上げの離隔要因の順であった。

### 3.1.2 インテリア・シェルターの床、壁、天井における多重性D<sub>m</sub>について

図-3.1.5より、床では、第1の床面であるF1、その起伏インテリア・シェルターであるF1'が現れた。壁では、第1、2、3の壁面であるW1, W2, W3が多く、起伏インテリア・シェルターのW1', W2'も見られ、後半に第6の壁であるW6が現れた。天井では、第2、3の天井面C2, C3が多く、起伏インテリア・シェルターC1'も現れた。

時代順に着目すると、表-3.1.2に示すように、1967～1976年では、K-2, 6, 9, 12, 17では、同一壁面の凹凸のある壁w1'が現れる。1969年K-4「クラブ・ジャド」にて、原室内空間から離れたステンレス・パイプの壁面の3重壁の多重性が現れる。K-5, K-10では光の列柱のインテリア・シェルターが用いられ、K-7では収納壁の2重壁がある。1977年以後、K-21, 22, 29以外すべて2重壁のW2であり、K-21, 22, 24, 26, 28, 29, 34, 41以外すべて3重壁のw3である。K-23, 32, 37, 40は4重壁のW4である。特にK-40ヤマギワリビナ本館においては、照明フロアで壁面がW1, W2, W3, W4, W5, W6の6重壁となる最多6枚のインテリア・シェルターが構築され多重性が抽出された。天井の多重性では、K-24, 28, 35, 36, 41の作品に2重天井が現れ、特にK-30「ISSEY MIYAKE 渋谷西武」では、3重天井が現れた。

表-3.1.1 インテリア・シェルターの離隔要因D' (時代順)

インテリア・シェルター床、壁、天井における一離隔要因D'（時代順）																						
空間特徴のグループ	作品番号	完成年代	作品名	床・F						壁・W						天井・C						合計
				離隔要因D'						離隔要因D'						離隔要因D'						
				仕上の	空間的	設備的	構造的	用途的	精神的	仕上の	空間的	設備的	構造的	用途的	精神的	仕上の	空間的	設備的	構造的	用途的	精神的	
				a1	a2	a3	a4	b	c	a1	a2	a3	a4	b	c	a1	a2	a3	a4	b	c	
A	K-01	1967	クラブ カッサドール	1		1		1		1	1				1	1		1				8
C	K-02	1968	レストラン サーカス	1		1		1			1	1		1			1	1				8
B	K-03	1969	貴金属タカラ堂		1						1		1	1			1	1				6
D	K-04	1969	クラブジャド		1	1	1	1		1	1			1	1		1	1				10
G	K-05	1969	エドワード本社ビル		1	1	1			1	1	1	1	1	1		1	1	1			12
C	K-06	1970	マーケットワン		1	1				1			1				1	1				6
D	K-07	1971	エドワーズ アトリエ・東京		1					1	1			1			1	1				6
B	K-08	1971	ショップ I 神戸		1					1	1	1	1	1	1		1		1			8
C	K-09	1971	ショップ ヴォーグ		1					1	1			1		1		1				6
G	K-10	1971	カネボウ化粧品ディスプレイ	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1						11
E	K-11	1971	カリオカ ビル・1F		1	1		1			1			1			1	1			1	8
C	K-12	1972	カリオカ ビル・B1F		1	1	1	1			1			1			1	1				8
B	K-13	1972	ショップ ファッション・イン		1		1				1		1	1			1	1			1	8
G	K-14	1972	プロジェクト・ルミ・サーフェス		1						1	1			1		1	1			1	7
G	K-15	1972	ミュージズ		1	1	1				1	1	1	1	1		1					9
B	K-16	1973	キロニー・インテリア・イン		1			1			1						1	1				5
C	K-17	1974	四季ファブリック	1	1						1	1					1	1	1	1	1	9
E	K-18	1974	ミルクボーイ		1		1				1			1			1	1				6
A	K-19	1975	山荘T		1			1	1		1				1		1				1	7
F	K-20	1976	イッセイ ミヤケ・フロムファースト		1						1		1	1	1	1	1	1				7
F	K-21	1977	スパーヘアー コイケ		1	1	1	1			1		1	1	1	1	1	1				10
L	K-22	1979	カクティ(美容室)		1	1	1	1			1			1	1		1	1				9
H	K-23	1980	第一紙行ショールーム		1	1	1				1	1		1	1		1	1				9
I	K-24	1983	ヤマギワ小会議室・東京		1	1	1			1	1	1			1	1	1	1			1	11
D	K-25	1983	ISSEY MIYAKE・パリ		1		1				1	1			1	1						6
K	K-26	1983	ISSEY MIYAKE・銀座松屋		1		1		1		1			1	1		1	1				8
K	K-27	1984	ISSEY MIYAKE・NY		1		1		1		1			1	1		1	1				8
D	K-28	1984	ESPRIT・香港		1					1	1		1	1	1	1	1	1		1		9
J	K-29	1984	DESIGN STUDIO ESPRIT		1						1			1	1		1	1				6
D	K-30	1987	ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店		1		1			1	1		1	1	1	1	1	1			1	10
H	K-31	1987	ISSEY MIYAKE神戸		1		1				1	1		1			1	1				7
M	K-32	1987	LUCCHINO BAR		1	1	1	1	1		1			1	1		1	1				10
H	K-33	1987	CAFÉ OXY乃木坂		1	1			1		1			1	1		1	1				8
F	K-34	1987	ISSEY MIYAKE MEN南青山		1			1	1		1		1	1	1		1	1				9
H	K-35	1988	きよ友		1	1	1	1			1	1		1	1		1	1	1		1	12
H	K-36	1988	BAR COMBLE・静岡		1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	15
M	K-37	1988	バーレストラン ゼール		1	1	1	1			1			1	1	1	1	1	1			10
L	K-38	1989	オブローモフ・福岡		1	1	1	1			1			1	1		1				1	9
L	K-39	1989	YOSHIKI HISINUMA		1		1			1	1			1	1	1	1	1			1	10
M	K-40	1990	リビナヤマギワ		1						1			1	1	1		1	1			7
M	K-41	1990	スパイラル		1		1				1		1	1	1		1	1	1			9
M	K-42	1991	LAPUTA		1	1	1	1			1			1	1		1	1	1			10
合計				4	40	20	24	16	6	12	42	12	13	36	30	10	37	34	9	1	11	357

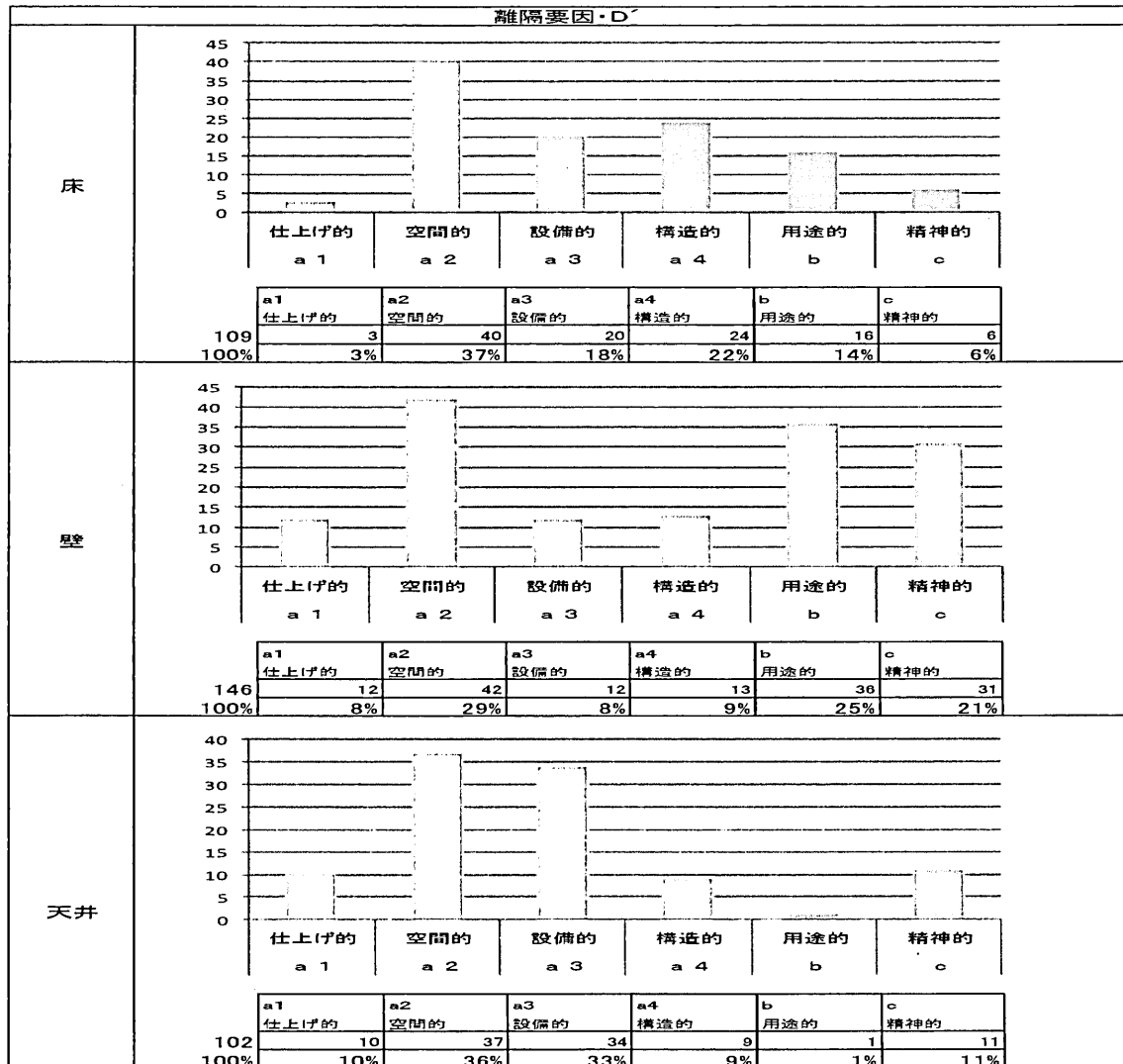


図-3.1.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井の離隔要因D'

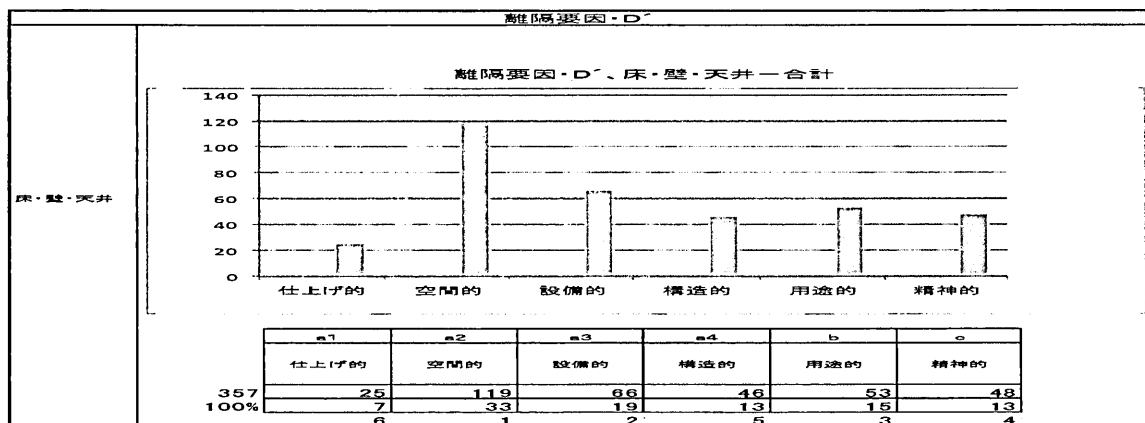


図-3.1.4 インテリア・シェルターの床、壁、天井の離隔要因D'

表-3.1.2 インテリア・シェルターの多重性Dm (時代順)

床、壁、天井のインテリア・シェルターの多重性(時代順)																											
空間 特徴 グル ープ	作 品 番 号	完 成 年 代	作 品	床・F				壁・W										天井・C						合 計			
				f	Fo	F1	計	W	Wo	W1	W1	W2	W2	W3	W4	W5	W6	計	C	Co	C1	C1	C2		C3	計	
A	K-01	1967	クラブ カッサドール	1	1	1	3	1	1									2	1						1	6	
C	K-02	1968	レストラン サーカス	1	1	1	3	1	1	1								3	1	1					2	8	
B	K-03	1969	貴金属タカラ堂	1	1		2	1	1	1								3	1	1					2	7	
D	K-04	1969	クラブジャド	1	1		2	1	1	1	1			1				5	1	1					2	9	
G	K-05	1969	エドワード本社ビル	1	1		2	1	1				1					3	1	1					2	7	
C	K-06	1970	マーケットワン	1	1	1	3	1	1	1								3	1	1	1				3	9	
D	K-07	1971	エドワーズ アトリエ・東京	1	1		2	1	1			1						3	1	1					2	7	
B	K-08	1971	ショップ I 神戸	1	1		2	1	1									2	1	1					2	6	
C	K-09	1971	ショップ ヴォーグ	1	1		2	1	1	1								3	1	1					2	7	
G	K-10	1971	カネボウ化粧品ディスプレイ	1	1		2	1				1						2	1						1	5	
E	K-11	1971	カリオカ ビル・1F	1	1	1	3	1	1									2	1	1					2	7	
C	K-12	1972	カリオカ ビル・B1F	1	1	1	3	1	1	1								3	1	1	1				3	9	
B	K-13	1972	ショップ ファッション・イン	1	1		2	1	1									2	1	1					2	6	
G	K-14	1972	プロジェクト・ルミ・サーフェス	1	1		2	1	1									2	1	1					2	6	
G	K-15	1972	ミューズ	1	1		2	1	1	1								3	1	1					2	7	
B	K-16	1973	キロニー・インテリア・イン	1	1	1	3	1	1									2	1	1					2	7	
C	K-17	1974	四季ファブリック	1	1		2	1	1	1								3	1	1					2	7	
E	K-18	1974	ミルクボーイ	1	1		2	1	1									2	1	1					2	6	
A	K-19	1975	山荘T	1	1		2	1	1									2	1	1					2	6	
F	K-20	1976	イッセイ ミヤケ・フロムファースト	1	1		2	1	1									2	1	1					2	6	
F	K-21	1977	スパーヘアー コイケ	1	1		2	1	1	1								3	1	1					2	7	
L	K-22	1979	カクティール(美容室)	1	1		2	1	1									2	1	1					2	6	
H	K-23	1980	第一紙行ショールーム	1	1		2	1	1			1		1	1			5	1	1					2	9	
I	K-24	1983	ヤマギワ小会議室・東京	1	1		2	1	1			1						3	1	1		1			3	8	
D	K-25	1983	ISSEY MIYAKE・パリ	1	1		2	1	1			1		1				4								6	
K	K-26	1983	ISSEY MIYAKE・銀座松屋	1	1		2	1	1	1	1							4	1	1					2	8	
K	K-27	1984	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク	1	1		2	1	1	1	1			1				5	1	1					2	9	
D	K-28	1984	ESPRIT・香港	1	1		2	1	1			1	1					4	1	1		1			3	9	
J	K-29	1984	DESIGN STUDIO ESPRIT	1	1		2	1	1	1								3	1	1	1				3	8	
D	K-30	1987	ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店	1	1		2	1	1			1		1				4	1	1		1	1		4	10	
H	K-31	1987	ISSEY MIYAKE神戸	1	1		2	1	1			1		1				4	1	1	1				3	9	
M	K-32	1987	LUCCHINO BAR	1	1		2	1	1			1		1				4	1	1					2	8	
H	K-33	1987	CAFÉ OXY乃木坂	1	1		2		1			1		1	1			4	1	1					2	8	
F	K-34	1987	ISSEY MIYAKE MEN南青山	1	1	1	3	1	1	1	1							4	1	1					2	9	
H	K-35	1988	きよ友	1	1		2	1	1	1	1			1				5	1	1		1			3	10	
H	K-36	1988	BAR COMBLE・静岡	1	1		2	1	1	1	1			1				5	1	1		1			3	10	
M	K-37	1988	パーレストラン ゼール	1	1		2	1	1	1	1			1	1			6	1	1					2	10	
L	K-38	1989	オブローモフ・福岡	1	1		2	1	1			1		1				4	1	1					2	8	
L	K-39	1989	YOSHIKI HISINUMA	1	1		2	1	1			1		1				4	1	1					2	8	
M	K-40	1990	リビナヤマギワ	1	1		2	1	1			1		1	1	1	1	7	1	1					2	11	
M	K-41	1990	スパイラル	1	1		2	1	1	1	1							4	1	1		1			3	9	
M	K-42	1991	LAPUTA	1	1		2	1	1	1	1			1				5	1	1					2	9	
合計				42	42	7	91	41	41	18	23	1	15	4	1	1	145	41	39	4	6	1	91	327			

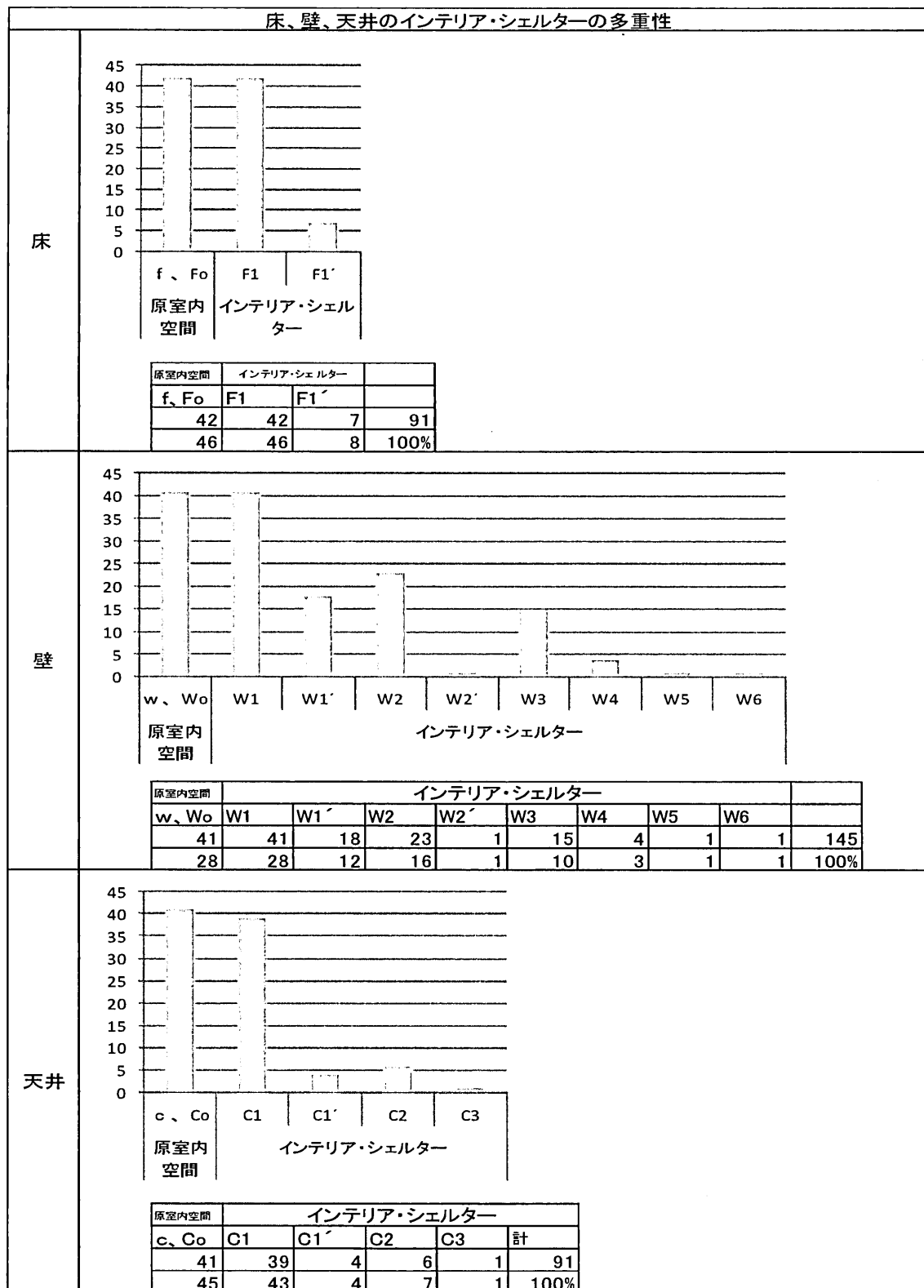


図-3. 1. 5 インテリア・シェルターの床、壁、天井の多重性Dm

### 3.2 インテリア・シェルターの空間的離隔性とフォルムとパターンの結果

インテリア・シェルターの空間的離隔性、フォルム、パターンをまとめて代表事例を表-3.2.1に示す。

#### 3.2.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間的離隔性D

表-3.2.2、図-3.2.1 より、原室内空間とインテリア・シェルターとの間の離隔性Dをまとめると以下ようになる。

- ・床では、並行（42作品）、段差（6作品）、直角（1作品）の順に多い。
- ・壁では、並行（40作品）、斜め（18作品）、多重（15作品）、曲面（14作品）、中央（13作品）、直角（12作品）、段差（6作品）の順に多い。
- ・天井では、並行（38作品）、曲面（7作品）、多重（3作品）、斜め（2作品）、直角（1作品）、段差（1作品）の順に多い。

#### 3.2.2 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のフォルムF

表-3.2.3、図-3.2.2 より、離隔したインテリア・シェルターと床、壁、天井における面内フォルムFをまとめると以下ようになる。

- ・床では、平面（42作品）、階段（3作品）、段差タテ（2作品）、凹面（1作品）の順に多い。
- ・壁では、平面（37作品）、曲面（16作品）、線（10作品）、凹凸面（7作品）、折れ面（6作品）、階段（3作品）、段差（2作品）、点（1作品）の順に多い。
- ・天井では、平面（37作品）、曲面（7作品）、点（6作品）、線（3作品）、折れ面（3作品）の順に多い。

#### 3.2.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のパターンP

表-3.2.4、図-3.2.3 より、離隔したインテリア・シェルターと床、壁、天井における面内パターンPをまとめると以下ようになる。

- ・床では、無地（39作品）、グリット（9作品）、ドット・円（2作品）、半透明・照明（1作品）の順に多い。
- ・壁では、無地（24作品）、スリット（17作品）、グリット（9作品）、半透明・照明（8作品）、透明（4作品）、ドット・円（4作品）の順に多い。
- ・天井では、無地（33作品）、グリット（1作品）、ドット（10作品）、スリット（5作品）、半透明・照明（5作品）、透明（1作品）の順に多い。

表-3.2.1 に 1970 年 K-36 「BAR COMBLE・静岡」の読み取り事例を示す。



表-3.2.1 データ・シート2 K-36「BAR COMBLE 静岡」読み取り事例

インテリア・シェルターの離隔性と床、壁、天井における空間生成操作・データ・シート 2

作品名、空間の特徴	K-36	BAR COMBLE・静岡	壁の多量性、斜め壁	光格子・天井・乳白アクリル	浮遊感	
空間の特徴グループ	H	光る壁、天井	壁ドア、切る・差し込む	ファサードの消去	連続するテーブル	消去感受
	記号	ダイアグラム		床・F	壁・W	天井・C
離隔要因 D'	a1	仕上げ	仕上げる		○奥の壁	○奥の天井
	a2	空間的	空間・意匠的	○	○曲面壁	○曲面天井
	a3	設備的	照明、換気、空調、電気、給排水		○透過光	○透過光
	a4	構造的	片持ち、吊り	○	○吊り壁	○吊り天井
	b	用途的	展示、売り場、収納、試着、客席、厨房、トイレ	○客席、厨房	○客席	
	c	精神的	気持ち、心理		○浮遊性	○浮遊性
面の空間的 離隔性 D	D1			並行離隔	○	○
	D2			斜め離隔 1		○
				曲面離隔 2	○ カウンター	○
	D3			直角離隔 1		
				段差離隔 2		
	D4			多重離隔 1	○	
			中央離隔 2			
面内の フォルム F	F1			平面 1 線 2 点 3	○	○
	F2			折れ面 1a, 1b 直線・液型 2a, 2b 段差型 3a, 3b 階段型 4		
	F3			曲面 1a, 1b 曲面・液型 2a, 2b	○	○
	F4			凹面 1 凸面 2		
面内の パターン P	P1			無地 1 半透明 2a 半透明・照明内設 2b 透明 3	○	○
	P2			スリット・タテ 1 スリット・ヨコ 2	○ 透過光	○ 透過光
	P3			グリット 1		
	P4			ドット・四角形 1 ドット・円形 2		

表-3.2.2 インテリア・シェルターにおける床、壁、天井の空間的離隔性D（時代順）

インテリア・シェルター床、壁、天井における一空間的離隔性・D(時代順)																																				
グループ名	作品番号・作品名		床・F						壁・W						天井・C																					
			空間的離隔性・D						空間的離隔性・D						空間的離隔性・D																					
			並行離隔	斜め離隔	曲面離隔	直交離隔	段差離隔	多重離隔	中央離隔	並行離隔	斜め離隔	曲面離隔	直交離隔	段差離隔	多重離隔	中央離隔	並行離隔	斜め離隔	曲面離隔	直交離隔		段差離隔	多重離隔	中央離隔												
																									D1	D2	D3	D4	D1	D2	D3	D4	D1	D2	D3	D4
																									1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
A	1	クラブ カッサドール	1							1														2												
C	2	レストラン サーカス	1							1				1				1						4												
B	3	貴金属タカラ堂	1							1			1					1						4												
D	4	クラブジャド	1							1		1	1			1		1						6												
G	5	エドワード本社ビル	1			1				1						1	1							5												
C	6	マーケットワン	1				1			1				1			1		1					6												
D	7	エドワーズ アトリエ・東京	1							1			1			1		1						5												
B	8	ショップ I 神戸	1							1			1				1							4												
C	9	ショップ ヴォーグ	1							1				1			1							4												
G	10	カネボウ化粧品ディスプレイ(什器展開)	1							1						1	1							4												
E	11	カリオカ ビル・1F	1							1							1			1				4												
C	12	カリオカ ビル・B1F	1							1	1						1							4												
B	13	ショップ ファッション・イン	1							1							1							3												
G	14	プロジェクト・ルミサフェス	1							1							1							3												
G	15	ミュージズ	1							1	1		1				1	1						6												
B	16	キロニー・インテリア・イン	1				1			1							1							4												
C	17	四季ファブリック	1							1	1						1							4												
E	18	ミルクボーイ	1							1			1				1	1						5												
A	19	山荘T	1				1			1	1			1			1				1			7												
F	20	イッセイ ミヤケ・フロムファースト	1							1			1				1							4												
F	21	イッセイ ミヤケ・フロムファースト	1							1	1	1					1							5												
L	22	カクティール(美容室)	1							1							1	1						4												
H	23	第一紙行ショールーム	1							1		1					1							5												
I	24	ヤマギワ小会議室・東京	1							1							1	1		1				5												
D	25	ISSEY MIYAKE・パリ	1							1		1				1								4												
K	26	ISSEY MIYAKE・銀座松屋	1							1			1				1							4												
K	27	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク	1							1	1						1							4												
D	28	ESPRIT・香港	1							1				1	1		1					1		6												
J	29	DELGIN STUDIO ESPRIT	1							1							1	1						4												
D	30	ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店	1							1		1				1	1	1		1		1		8												
H	31	ISSEY MIYAKE神戸	1							1	1		1				1		1					6												
M	32	LUCCHINO BAR	1				1			1	1	1				1	1							7												
H	33	CAFÉ OXY乃木坂	1								1					1	1	1						5												
F	34	ISSEY MIYAKE MEN南青山	1				1			1	1		1	1			1							7												
H	35	きよ友	1							1	1	1				1			1			1		7												
H	36	BAR COMBLE・静岡	1							1	1	1	1			1				1				7												
M	37	パーレストラン ゼール	1							1	1	1				1		1						6												
L	38	オブローモフ・福岡	1				1			1	1	1	1			1	1	1						9												
L	39	YOSHIKI HISINUMA	1								1	1				1	1	1		1				7												
M	40	リビナヤマギワ	1							1	1	1				1	1	1						7												
M	41	スパイラル	1							1	1	1				1	1	1						7												
M	42	LAPUTA	1							1	1	1				1	1	1						7												
			42			1	6	0		40	18	14	12	6	15	13	38	2	7	1	1	3		219												

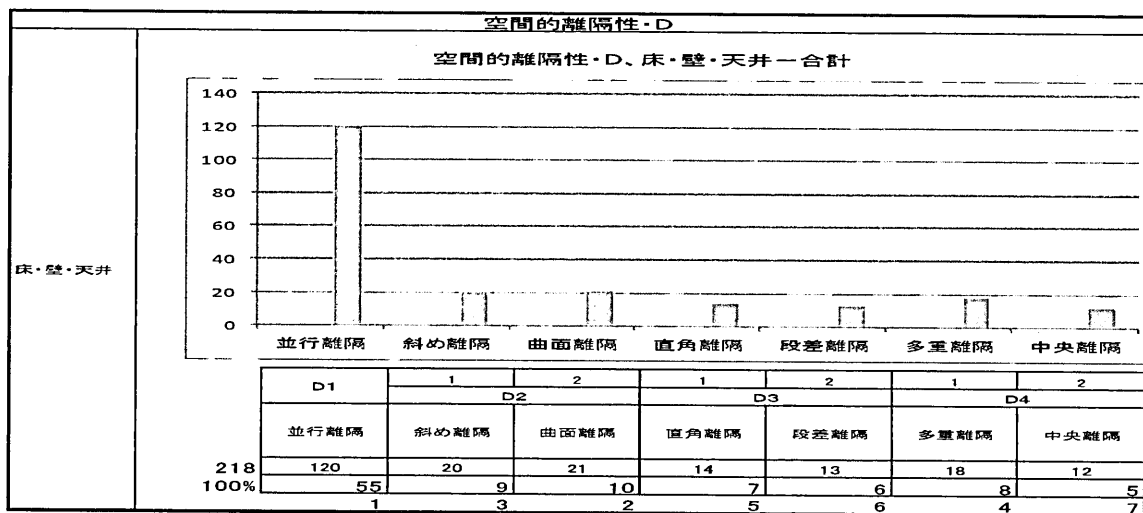
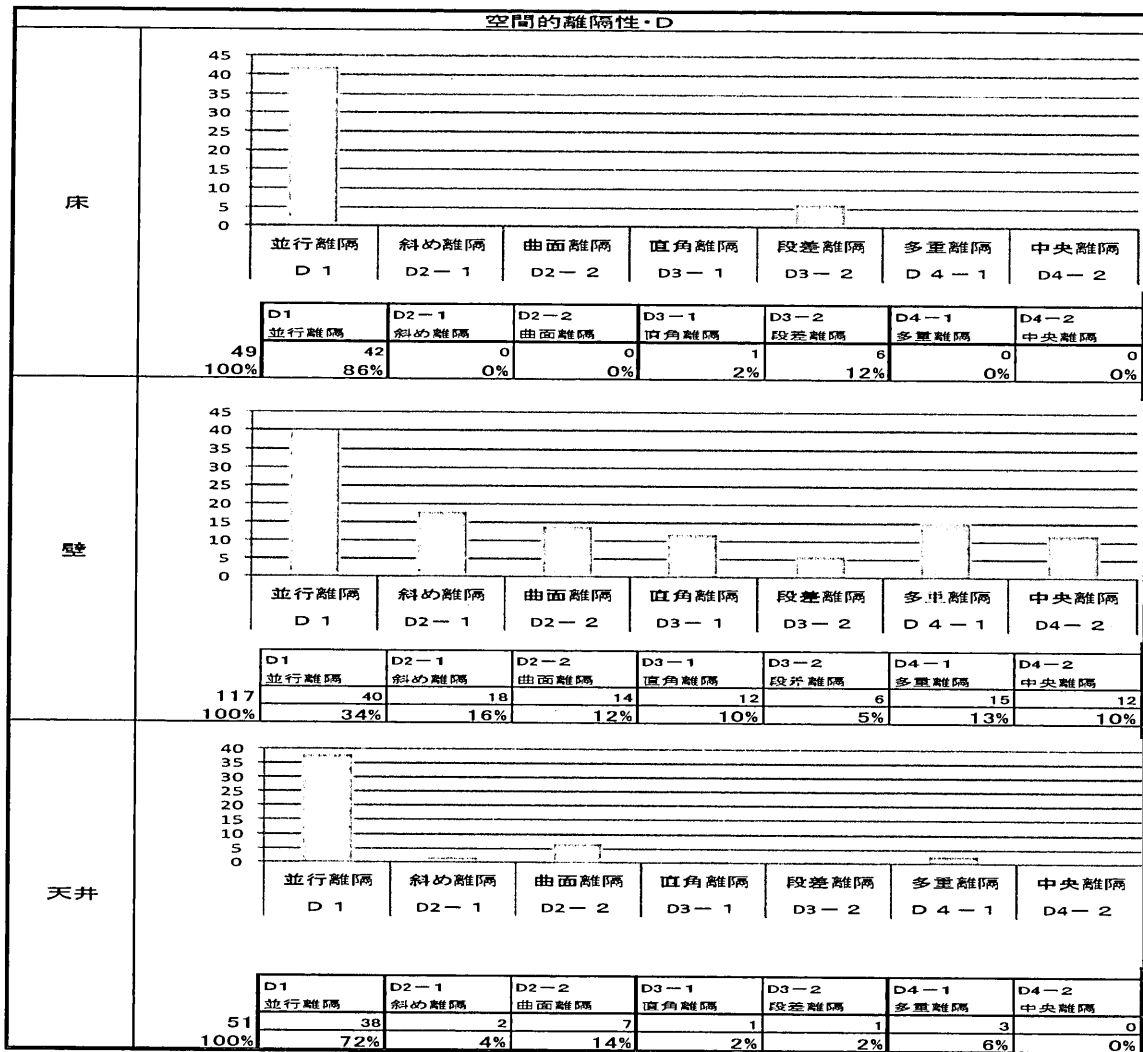


図-3.2.1 インテリア・シェルターにおける空間的離隔性D

表-3.2.3 インテリア・シェルタの面内フォームF (時代順)

[illegible]

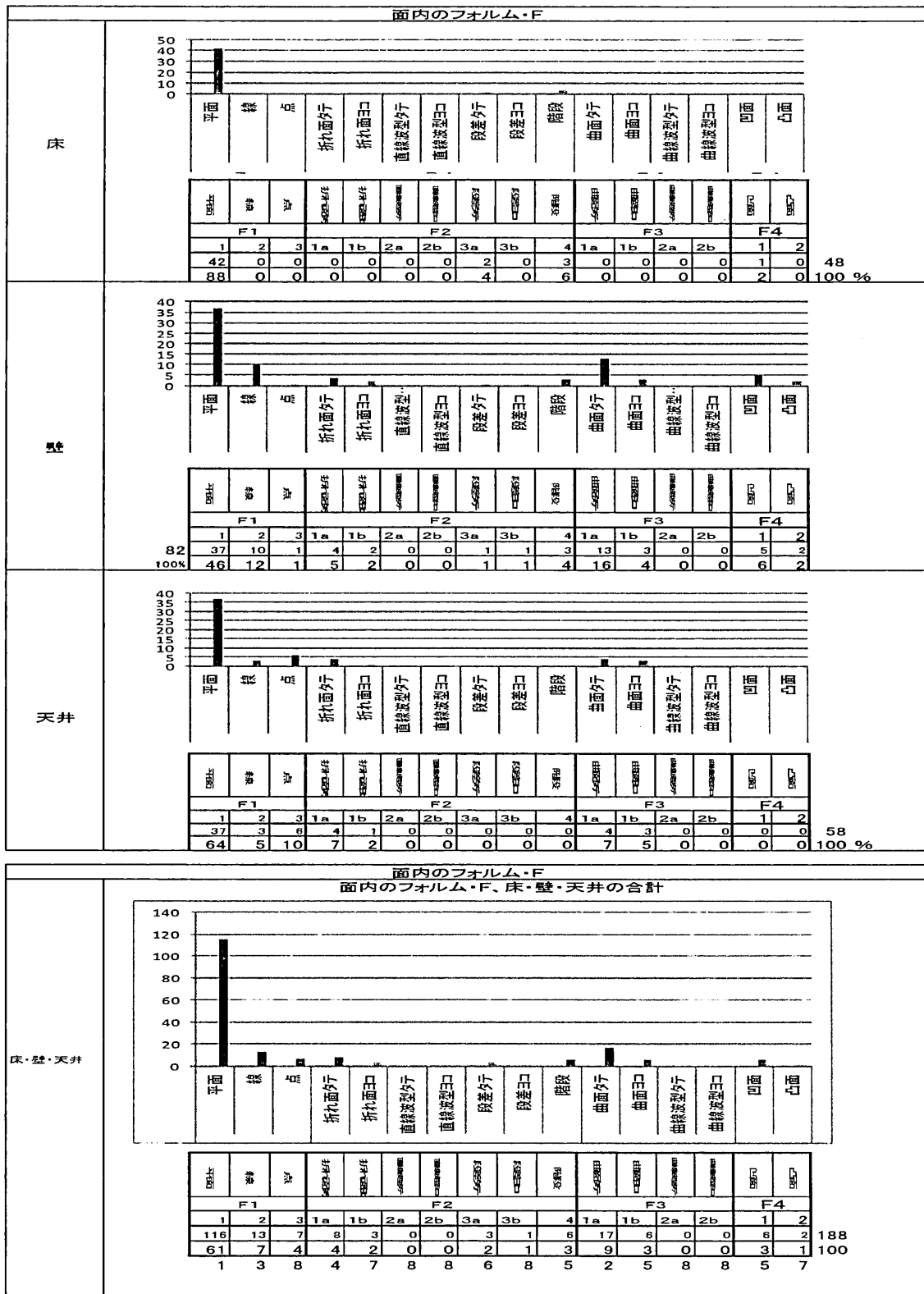


図-3.2.2 インテリア・シェルターの面内フォルムF



表-3.2.4 インテリア・シェルタの床、壁、天井の面内パターンP (時代順)

インテリア・シェルター床、壁、天井における一面内パターン・P(時代順)																										
グループ名	作品番号・作品名		床・F								壁・W								天井・C							
			面内のパターンP								面内のパターンP								面内のパターンP							
			床面	床面・壁面	床面・天井面	天井面	床面	床面・壁面	床面・天井面	天井面	床面	床面・壁面	床面・天井面	天井面	床面	床面・壁面	床面・天井面	天井面								
			P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4								
			1	2a	2b	3	1	2	1	1	2	1	2a	2b	3	1	2	1	1	2						
A	1	クラブ カッサドル	1											1											3	
C	2	レストラン サークス	1											1								1			3	
B	3	貴金属タカラ堂	1							1					1							1		1	6	
D	4	クラブジャド	1							1				1					1						4	
G	5	エドワード本社ビル						1						1					1						3	
C	6	マーケットワン	1											1					1						3	
D	7	エドワーズ アトリエ・東京	1											1					1						3	
B	8	ショップ I 神戸	1							1			1						1						4	
C	9	ショップ ヴォーグ						1		1					1				1						4	
G	10	カネボウ化粧品ディスプレイ(什器展開)	1					1						1					1						4	
E	11	カリオカ ビル・1F	1							1	1	1					1	1							6	
C	12	カリオカ ビル・B1F	1						1													1	1		4	
B	13	ショップ ファッション・イン	1										1	1				1				1			5	
G	14	プロジェク・カルミ・サーフェス	1						1	1							1	1							5	
G	15	ミュージズ	1						1	1							1								4	
B	16	キロニー・イン・テリア・イン	1					1		1					1							1		1	7	
C	17	四季ファブリック	1										1				1					1			5	
E	18	ミルクボーイ	1					1		1			1				1				1		1	7		
A	19	山荘T	1				1			1				1				1							5	
F	20	イッセイ ミヤケ・フロムファースト	1							1			1	1				1				1	1	7		
F	21	イッセイ ミヤケ・フロムファースト	1					1		1							1					1	1	6		
L	22	カクティエ(美容室)	1						1								1					1	1	5		
H	23	第一紙行ショールーム	1								1	1					1							4		
I	24	ヤマギワ小会議室・東京	1									1						1		1				4		
D	25	ISSEY MIYAKE・パリ	1										1											2		
K	26	ISSEY MIYAKE・銀座松屋						1									1	1				1	1	5		
K	27	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク						1									1	1				1	1	5		
D	28	ESPRIT・香港	1											1								1		3		
J	29	DELGIN STUDIO ESPRIT	1							1			1				1			1				5		
D	30	ISSEY MIYAKE池谷西武百貨店	1														1					1		3		
H	31	ISSEY MIYAKE神戸						1		1	1						1							4		
M	32	LUCCHINO BAR	1							1			1	1			1							5		
H	33	CAFÉ OXY乃木坂			1			1		1							1							4		
F	34	ISSEY MIYAKE MEN南青山	1					1		1				1			1							5		
H	35	きよ友	1					1		1	1			1			1	1				1		8		
H	36	BAR COMBLE・静岡	1							1	1		1				1	1		1				7		
M	37	バーレストラン ゼール	1							1							1							3		
L	38	オブローモフ・福岡	1													1							1	4		
L	39	YOSHIKI HISINUMA						1		1			1				1	1		1				6		
M	40	リビナヤマギワ	1							1							1							3		
M	41	スパイラル	1							1							1							3		
M	42	LAPUTA	1							1							1							3		
計			35	1			2	10	2	25	8	5	12	6	9	4	33	6	1	4	2	14	1	9	189	

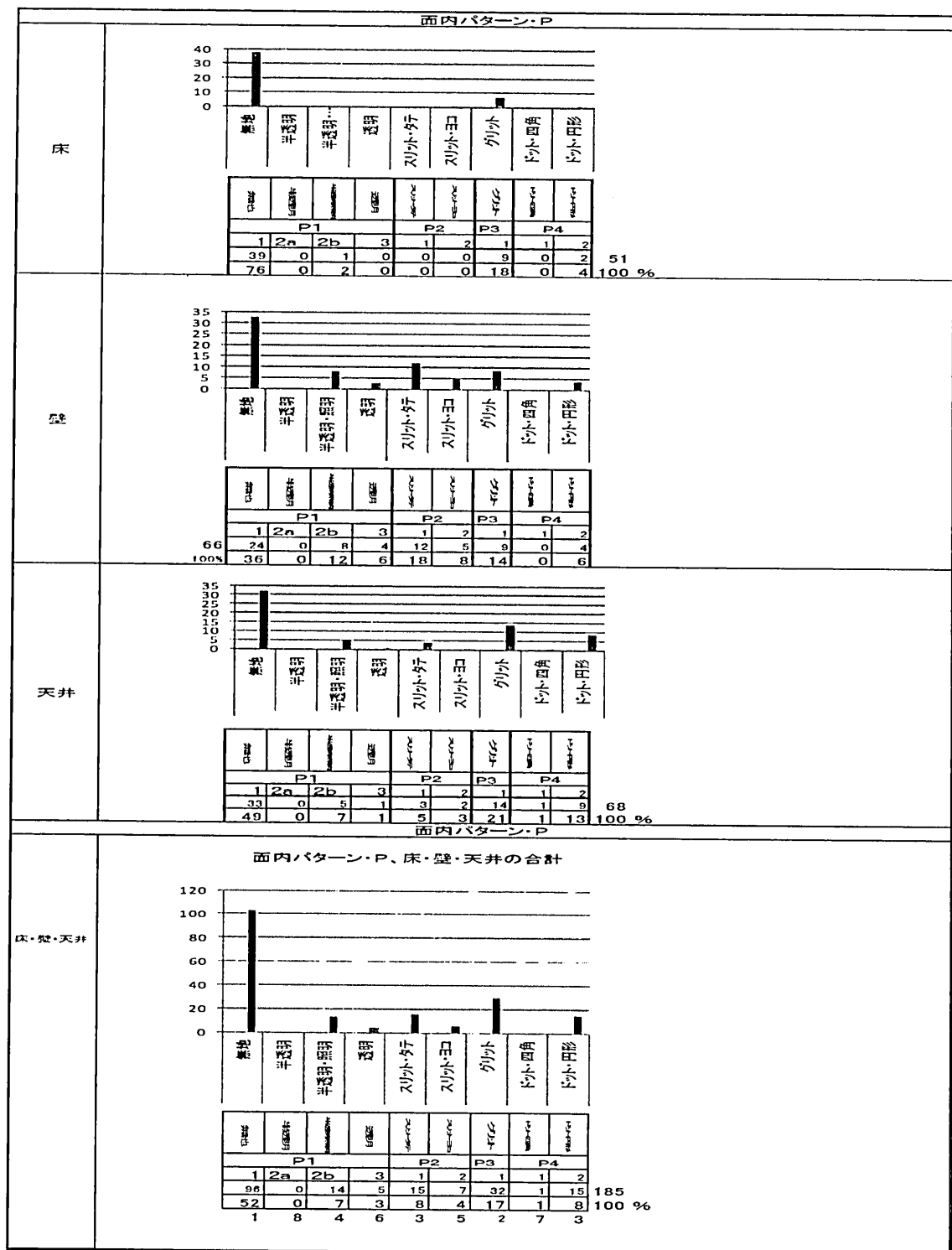


図-3.2.3 インテリア・シェルターの面内パターンP

### 3-3 インテリア・シェルターのカラーとマテリアルと照明の結果

#### 3.3.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のカラーC

表-3.3.1に時代順の面内カラーの出現を示し、事例として表-3.3.2に K-36「BAR COMBLE 静岡」の事例を示す。

表-3.3.3 より、

無彩色では、壁・天井に白が多く、床・壁・天井にグレー、床のブラックの順の順である。

有彩色では、

- ・床は黄色、橙色系の順である。
- ・壁は橙色、メタリック、トーマイ、黄色、青色、赤、緑色・青紫色、赤紫系の順である。
- ・天井は橙色、トーマイ、メタリック系の順である。

カラーについて、床・壁・天井の面によって構成された空間（カラーのダイアグラムと呼ぶ）についての出現頻度は表-3.3.4 より、

床がダーク・トーン(14作品)1f、床・壁・天井が同トーン(7作品)3・1、床・壁・天井が同トーン・グレー(7作品)3・2、床・壁の2面が同トーン(4作品)2fw、壁・天井の2面が同トーン(3作品)2wc、天井がダーク・トーン(2作品)1c、床・壁・天井が同トーン・ブラック B k(2作品)3・3、床・天井の2面が同トーン(1作品)2fcの順である。

#### 3.3.2 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のマテリアルM

表-3.3.5、表-3.3.6 より、

・床は、特注テラゾ、カーペットが共に(10作品)、タイル(4作品)、リノリウム(4作品)、大理石(2作品)、御影石・プラスチックタイル・ラバー・タイル・ゴムタイル・フローリング・木レンガ・アルミニウム・ホロータイル・腐食ガラス(各1作品)の順である。

・壁は、ラッカー仕上げ(6作品)、アルミニウム(6作品)、PBエマルジョンペイント塗装(5作品)、ミラーガラス(4作品)、木板(3作品)、OSB(3作品)、ステンレス(3作品)、プラスター金ごて・特注テラゾ・タイル・リシン吹付け・ラフトン吹き付け(各2作品)の順に多い。

・天井は、PBエマルジョン・ペイント塗装(11作品)、ラッカー仕上げ(4作品)、ラフトン仕上げ(4作品)、OSB(4作品)、アルミニウム(4作品)、VP塗装・リシン吹付け(各2作品)の順である。

・マテリアルのダイアグラムについての出現頻度は、表-3.3.7より、壁・天井の2面が同マテリアル(24作品)2wc、床・壁・天井の3面が別のマテリアル(11作品)1、床・壁の2面が同マテリアル(3作品)2fwの順である。



### 3.3.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面の照明 L

表-3.3.8、表-3.3.9 より、  
配光形式において、

- ・床は全拡散光照明（透過光）（2 作品）である。
- ・壁は全拡散光照明（透過光）が（7 作品）、間接照明が（4 作品）の順である。
- ・天井は直接照明（30 作品）、全拡散照明（7 作品）、半直接照明（2 作品）の順に多い。

照明器具においては、

- ・床は、埋め込み器具（2 作品）である。
- ・壁は、埋め込み器具（8 作品）、F L 蛍光灯・垂直（2 作品）、ブラケット・スタンド・F L・水平（各 1 作品）の順である。
- ・天井は、ダウンライト（14 作品）、スポット・ライト（8 作品）、埋め込み器具（8 作品）、シーリング・ワイヤーコード（各 3 作品）、ペンダント（2 作品）の順である。

光形状においては、

- ・床は点光の単独的照明（1 作品）、点光の直線的照明（1 作品）、面光の格子的照明（1 作品）の順である。
- ・壁は線光の直線的照明が（6 作品）・線光の格子的照明（2 作品）、面光のスリットの照明（2 作品）の順である。
- ・天井は点光の格子的照明（11 作品）・点光の単独的照明（9 作品）・点光の直線的照明（7 作品）、線光の直線的照明（6 作品）、点光の群集的照明（3 作品）、面光の格子的照明（3 作品）、点光の曲線的照明（2 作品）の順である。

光源種類においては、

- ・床は蛍光灯・光源（2 作品）である。
- ・壁は蛍光灯（11 作品）である。
- ・天井はハロゲン（28 作品）、蛍光灯（7 作品）、白熱球（4 作品）の順である。

前期・後期を通じ、天井からの配光形式：直接照明、器具：ダウンライト・スポットライト、光形状：点光・格子状配置、光源：ハロゲンが多くみられる。

照明のダイアグラムについての出現頻度は、表-3.3.10 より、天井面が点光（24 作品）1c1、壁面が線光（4 作品）1w2、天井面が面光（3 作品）1c3、壁・天井2面が点光（2 作品）2w1c1、天井面が線光（2 作品）1c2、壁が線光・天井が点光（2 作品）2w2c1、壁が面光・天井が点光（2 作品）2w3c1、壁が線光・天井が線光（2 作品）2w2c2、床が面光・天井が点光（1 作品）2f3c1、床・壁・天井が線光（1 作品）3f2w2c2 の順である。

表-3.3.11 にカラー、マテリアル、照明をまとめたものを示す。

表-3.3.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面内のカラーC（時代順）

インテリア・シェルターの耐水性と床、壁、天井における空間形態の生成操作																						
面内カラーC(時代順)																						
作品番号	グループ	作品名	写真	記号	床	壁	天井	無彩色(JIS物体色)														計
								白	グレー	黒	赤色	緑色	黄色	青緑色	青色	青紫色	紫色	赤紫色	赤色	赤紫色	赤色	
								W	Gv	Bk	R	O	Y	YG	G	BG	B	PB	P	RP	メタリック	トーマイ
1	A	クラブ カッサドル		1F	床	壁	天井															1
2	C	レストラン サーカス		1F	床	壁	天井															1
3	B	貴金属タカラ堂		3-3	床	壁	天井															1
4	D	クラブジャド		2F	床	壁	天井															1
5	G	エドワード本社ビル		1W	床	壁	天井															1
6	C	マーケットワン		1F	床	壁	天井															1
7	D	エドワーズ アトリエ・東京		1F	床	壁	天井															1
8	B	ショップ I 神戸		1F	床	壁	天井															1
9	C	ショップ ヴォーグ		3-1	床	壁	天井															1
10	G	カネボウ化粧品ディスプレイ(什器展覧)		3-3	床	壁	天井															1
11	E	カリオカ ビル・1F		1F	床	壁	天井															1
12	C	カリオカ ビル・B1F		3-2	床	壁	天井															1
13	B	ショップ ファッション・イン		3-3	床	壁	天井															1
14	G	プロジェクト・ルミ・サーフェス		3-1	床	壁	天井															1
15	G	ミュージズ		2W	床	壁	天井															1
16	B	キロニー・インテリア・イン		1F	床	壁	天井															1
17	C	四季ファブリック		3-2	床	壁	天井															1
18	E	ミルクボーイ		1F	床	壁	天井															1
19	A	山荘T		1F	床	壁	天井															1
20	F	イツセイ ミヤケ・フロムファースト		3-2	床	壁	天井															1
21	F	スパーヘアー コイケ		2W	床	壁	天井															1
小計								27	23	9	1	1	1								1	63
インテリア・シェルターの耐水性と床、壁、天井における空間形態の生成操作																						
面内カラーC(時代順)																						
作品番号	グループ	作品名	写真	記号	床	壁	天井	無彩色(JIS物体色)														計
								白	グレー	黒	赤色	緑色	黄色	青緑色	青色	青紫色	紫色	赤紫色	赤色	赤紫色	赤色	
								W	Gv	Bk	R	O	Y	YG	G	BG	B	PB	P	RP	メタリック	トーマイ
22	L	カクティ(美容室)		3-2	床	壁	天井															1
23	H	第一紙行ショールーム		1F	床	壁	天井															1
24	I	ヤマギワ小会議室・東京		1F	床	壁	天井															1
25	D	ISSEY MIYAKE・パリ		3-1	床	壁	天井															1
26	K	ISSEY MIYAKE・銀座松屋		2W	床	壁	天井															1
27	K	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク		2W	床	壁	天井															1
28	D	ESPRIT・香港		1F	床	壁	天井															1
29	J	ESPRIT 2		1F	床	壁	天井															1
30	D	ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店		1F	床	壁	天井															1
31	H	ISSEY MIYAKE神戸		3-3	床	壁	天井															1
32	M	LUCCHINO BAR		1F	床	壁	天井															1
33	H	CAFÉ OXY乃木坂		2W	床	壁	天井															1
34	F	ISSEY MIYAKE MEN南青山		3-2	床	壁	天井															1
35	H	きよ友		3-2	床	壁	天井															1
36	H	BAR COMBLE・静岡		3-2	床	壁	天井															1
37	M	バーレストラン ゼール		2W	床	壁	天井															1
38	L	オブローモフ・福岡		2W	床	壁	天井															1
39	L	YOSHIKI HISINUMA		3-1	床	壁	天井															1
40	M	リビナヤマギワ		3-1	床	壁	天井															1
41	M	スパイラル		1F	床	壁	天井															1
42	M	LAPUTA		1W	床	壁	天井															1
小計								29	16	4	2	10	2	1	1	1	1	1	1	1	1	4
合計								56	39	13	3	11	3	1	2	2	2	2	2	2	2	10

表-3.3.2 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面内カラーC、面内マテリアルM、面内照明Cのデータ・シート3





K-36「BAR COMBLE 静岡」の読み取り事例

インテリア・シェルターの確固性と床、壁、天井における空間形態の生成操作—面内カラー、面内マテリアル、面内照明データ・シート3									
作品番号、作品名		K-36 BAR COMBLE 静岡							
空間の特徴グループ		H							
		記号		仕様		床・F	壁・W	天井・C	中央仕舞
面内のカラー C	無彩色 JIS物体色	N	1	白	W				
			2	グレー	G				
			3	ブラック	Bk				
			1	赤色	Rレッド				
			2	棕色	Oオレンジ	1	1	1	1
	有彩色 JIS物体色	C	3	黄色	Yイエロー				
			4	黄緑色	YG				
			5	緑色	Gグリーン				
			6	青緑色	BG				
			7	青色	Bブルー				1
面内のマテリアル M	メタリック トーマイ	M T	8	青紫	PB				
			9	紫色	Pパープル				
			10	赤紫色	RPピンク				
			1	メタリック					1
			2	トーマイ					
	コンクリート系	M1	1	素地					
			2	コンクリート					
			3	キルタル					
	石・タイル系	M2	4	プラスチック金ゴテ仕上げ					
			1	大理石					
			2	御影石		1			
		M3	3	特注・テラゾ					
			4	タイル					
	樹脂・ゴム系	M4	1	プラスチック・タイル					
			2	リノリウム					
			3	ラバータイル					
	機織・布系	M5	4	ゴムタイル					
			1	カーペット					
			2	布					
	ペイント系	M6	1	EP、エマルジョン・ペイント					
			2	PB、フレキシブルボードEP					
			3	VP					
		M7	4	リッカー					
			5	アクリル塗装					
			6	PB・ネクステル					
	木質系	M8	7	ラミネーション					
			8	ラフトン吹き付け					
			1	フローリング					
		M9	2	木レンガ					
			3	木板					
			4	OSB		1	1		
		M10	5	メラミン化粧板					
			1	スチール・クロムメッキ					
			2	スチール・メラミン焼き付					
	金属系	M11	3	スチール・エキスパンドメタル					
			4	アルミニウム		1	1		
			5	ステンレス					
		M12	6	ホーロー・タイル					
			1	トーマイ・アクリル					
			2	乳白アクリル					
	アクリル系	M13	3	ポリカーボネイト					
			4	FRP					
			1	トーマイ・ガラス					
		M14	2	腐食ガラス					
			3	3枚ガラス					
			4	ミラー・ガラス					
	オープン	M15	1	面材なし					
面内の照明 L	配光形式	L1	1	直接照明	直接光			1	
			2	半直接照明	直接光、透過光				
			3	全拡散照明	透過光		1		
			4	半間接照明	反射光、間接光				
			5	間接照明	間接光				
	照明器具 種類	L2	1	ダウンライト					
			2	スポット・ライト			1		
			3	埋め込み器具	埋め込み器具		1		
			4	シーリング					
			5	ペンダント					
		L3	6	ワイヤーコード					
			7	シャンデリア					
			8	ブラケット					
			9	スタンド					
			10	FL・垂直					
	光形状	L4	11	FL・水平				1	
			a	単独的					
			b	直線的					
			c	曲線的					
			d	格子的					
		L5	e	群集的					
			a	直線的					
			b	格子的					
			c	無地・面					
			d	スリットの			1		
	光源	L6	e	格子的					
			1	白熱球	ミニ球				
			2	ハロゲン				1	
			3	FL・蛍光灯			1		

表-3.3.3 面内カラーC・集計

面内カラー・C																
	無彩色			有彩色										メタリック	トーマイ	
	白	グレー	黒	赤色	橙色	黄色	黄緑色	緑色	青緑色	青色	青紫色	紫色	赤紫色			
	W	Gy	Bk	R	O	Y	YG	G	BG	B	PB	P	RP			
床	12	13	9	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
壁	21	14	2	2	5	3	0	1	0	3	1	0	1	4	3	60
天井	23	12	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	45
計	56	39	13	3	11	8	0	1	0	3	1	0	1	5	6	147
順位	1	2	3	3	1	2		5		4	5		5	2	1	
順位	1	2	3	6	4	5										

表-3.3.4 床、壁、天井のダイアグラムの面内カラーC・集計

面内・カラー・トーン・C、ダイアグラム					
作品番号	グループ	作品名		記号	ダイアグラム
1	A	クラブ カッサドル		1f	
2	C	レストラン サーカス		1f	
6	C	マーケットワン		1f	
7	D	エドワーズ アトリエ・東京		1f	
8	B	ショップ I 神戸		1f	
18	E	ミルクボーイ		1f	
19	A	山荘T		1f	
23	H	第一紙行ショールーム		1f	
24	I	ヤマギワ小会議室・東京		1f	
28	D	ESPRIT・香港		1f	
29	J	ESPRIT 2		1f	
30	D	ISSEY MIYAKE 渋谷西武百貨店		1f	
32	M	LUCCHINO BAR		1f	
41	M	スパイラル		1f	
計				14	
5	G	エドワード本社ビル		1w	
18	E	ミルクボーイ		1w	
42	M	LAPUTA		1w	
計				3	
11	E	カリオカ ビル・1F		1c	
16	B	キロニー・インテリア・イン		1c	
計				2	
15	G	ミューズ		2fw	
26	K	ISSEY MIYAKE・銀座松屋		2fw	
27	K	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク		2fw	
37	M	バーレストラン ゼール		2fw	
計				4	
小計				23	

表—3.3.5 面内マテリアルM (時代順)

インテリア・シェルターの環境性と床、壁、天井における空間形態の生成操作																																																	
作品番号	年代	作品名	写真	説明	面内マテリアル・M																									計																			
					M1				M2				M3				M4				M5								M6				M7				M8				M9				M10				
					1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	1		2	3	4	5	1	2	3	4	1										
1	A	クラブ カッサドール		1																																													
2	C	レストラン サーカス		2																																													
3	B	黄金屋タカウ堂		3																																													
4	D	クラブジャド		4																																													
5	G	エドワード本社ビル		5																																													
6	C	マーケットタウン		6																																													
7	D	エドワーズ アトリエ・東京		7																																													
8	B	ショップ 1 神戸		8																																													
9	C	ショップ ヴォーグ		9																																													
10	G	カネボウ化粧品ディスプレイ(竹園店)		10																																													
11	E	カリオカ ビル・1F		11																																													
12	C	カリオカ ビル・B1F		12																																													
13	B	ショップ ファッション・イン		13																																													
14	G	プロジェクト・ルミ・サーフェス		14																																													
15	G	ミュージズ		15																																													
16	B	キノニー・インテリア・イン		16																																													
小計						3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4												
合計						3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4												
インテリア・シェルターの環境性と床、壁、天井における空間形態の生成操作																																																	
作品番号	年代	作品名	写真	説明	面内マテリアル・M																									計																			
					M1				M2				M3				M4				M5								M6				M7				M8				M9				M10				
					1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	1		2	3	4	5	1	2	3	4	1										
17	C	四季ファブリック		17																																													
18	E	ミルクボーイ		18																																													
19	A	山荘T		19																																													
20	F	イッセイ ミヤケ・フロムファースト		20																																													
21	F	スパー・ヘアー コイケ		21																																													
22	L	カクティイ(美空)		22																																													
23	H	第一銀行ショールーム		23																																													
24	I	ヤマギワ小倉鎌倉・東京		24																																													
25	D	ISSEY MIYAKE・パリ		25																																													
26	K	ISSEY MIYAKE・銀座松屋		26																																													
27	K	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク		27																																													
28	D	ESPRIT・香港		28																																													
29	J	DELGIN STUDIO ESPRIT		29																																													
30	D	ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店		30																																													
31	H	ISSEY MIYAKE神戸		31																																													
32	M	LUCCHINO BAR		32																																													
小計						3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4												
合計						3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4												
インテリア・シェルターの環境性と床、壁、天井における空間形態の生成操作																																																	
作品番号	年代	作品名	写真	説明	面内マテリアル・M																									計																			
					M1				M2				M3				M4				M5								M6				M7				M8				M9				M10				
					1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	1		2	3	4	5	1	2	3	4	1										
33	H	CAFÉ OXY乃木坂		33																																													
34	F	ISSEY MIYAKE MEN高野山		34																																													
35	H	きよ友		35																																													
36	H	BAR COMBLE・静岡		36																																													
37	M	バーレストラン ゼール		37																																													
38	L	オブローモフ・福岡		38																																													
39	L	YOSHIKI HISINUMA		39																																													
40	M	リビナヤマギワ		40																																													
41	M	スバイラル		41																																													
42	M	LAPUTA		42																																													
小計						3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4												
合計						3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4	1	4	1	3	4												

表-3.3.6 面内マテリアルM・集計

面内マテリアル・M																																														
	M1				M2				M3				M4		M5								M6					M7						M8				M9				M10	品名			
	コンクリート系				石・タイル系				樹脂・ゴム系				繊維・布系		ペイント系								木質系					金属系						アクリル系				ガラス系				オープン				
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	1	2	3	4	1				
																																							</							

表-3.3.7 床、壁、天井のダイアグラムの面内マテリアルM・集計




面内マテリアル・M、ダイアグラム				
作品番号	グループ	作品名	記号	ダイアグラム
1	A	クラブ カッサドール	1	
4	D	クラブジャド	1	
5	G	エドワード本社ビル	1	
8	B	ショップ I 神戸	1	
11	E	カリオカ ビル・1F	1	
13	B	ショップ ファッション・イン	1	
15	G	ミューズ	1	
33	H	CAFÉ OXY乃木坂	1	
39	L	YOSHIKI HISINUMA	1	
40	M	リビナヤマギワ	1	
42	M	LAPUTA	1	
計			11	
16	B	キロニー・インテリア・イン	2fw	
26	K	ISSEY MIYAKE・銀座松屋	2fw	
27	K	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク	2fw	
計			3	
2	C	レストラン サーカス	2wc	
3	B	貴金属タカラ堂	2wc	
6	C	マーケットワン	2wc	
7	D	エドワーズ アトリエ・東京	2wc	
9	C	ショップ ヴォーグ	2wc	
12	C	カリオカ ビル・B1F	2wc	
17	C	四季ファブリック	2wc	
18	E	ミルクボーイ	2wc	
19	A	山荘T	2wc	
20	F	イッセイ ミヤケ・フロムファースト	2wc	
21	F	スパー・ヘアー コイケ	2wc	
計			11	
計			25	

表-3.3.7 (続) 床、壁、天井のダイアグラムの面内マテリアルM・集計

面内マテリアル・M、ダイアグラム					
作品番号	グループ	作品名		記号	ダイアグラム
22	L	カクティ- (美容室)		2wc	<div>2wc</div> 
24	I	ヤマギワ小会議室・東京		2wc	
28	D	ESPRIT・香港		2wc	
29	J	ESPRIT 2		2wc	
30	D	ISSEY MIYAKE 渋谷西武百貨店		2wc	
31	H	ISSEY MIYAKE 神戸		2wc	
32	M	LUCCHINO BAR		2wc	
34	F	ISSEY MIYAKE MEN 南青山		2wc	
35	H	きよ友		2wc	
36	H	BAR COMBLE・静岡		2wc	
37	M	バーレストラン ゼール		2wc	
38	L	オブローモフ・福岡		2wc	
41	M	スパイラル		2wc	
		計		13	24
		小計		13	
		合計		38	

表-3.3.8 インテリア・シェルター床、壁、天井における面の照明L（時代順）



インテリア・シェルターの離隔性と床、壁、天井における空間形態の生成操作																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
作品番号	グループ	作品名	写真	図説	面内照明										光形状						光源		計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
					配光形式				照明器具・種類						点			線			面			点照明	面照明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					直接照明	間接照明	反射照明	透射照明	点照明	線照明	面照明	点照明	線照明	面照明	点照明	線照明	面照明	点照明	線照明	面照明	点照明	線照明				面照明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1	A	クラブ カッサードール		1-1-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																</



表—3.3.9 面内照明 L・集計

面内照明・L																															
	配光形式				照明器具・種類											光形状					光源			計							
	1	2	3	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1			2		3	1		2	3					
	直接照明	半直接照明	全拡散照明	半間接照明	間接照明	ダウンライト	スポットライト	埋め込み器具、 隠し器具	シーリング	ペンダント	ワイヤーコード	シャンテリア	フラケット	スタンド	FL・垂直	FL・水平	点	線	面	白熱球	ハロゲン	蛍光灯									
	直接光	直接光・透過光	透過光	反射光・透過光	反射光												a 単独的	b 直線的	c 曲線的	d 格子的	e 群の	a 直線的	b 格子的	a 無地・面	b スリットの	c 格子的	三球				
床	0	0	2		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	9		
壁	1	0			4	0	0	8	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	6	2	0	2	0	1	0	11	48	
天井	30	2			3	14	8	8	3	2	3	1	0	1	0	1	9	7	2	11	3	6	0	0	0	0	3	4	28	7	163
計	31	2	16		7	14	8	18	3	2	3	1	1	2	2	2	10	9	2	11	3	12	2	0	2	4	6	28	20	221	
順位	1	4	2		3	1	3	2	4	5	4	6	6	5	5	5	2	3	5	1	4	1	2	3	2	1	3	1	2		
順位																	3	4	78	2	6	1	7		7	5					

表—3.3.10 床、壁、天井のダイアグラムの 面内照明L・集計

面内・照明・L					
作品番号	グループ	作品名		記号	ダイアグラム
5	G	エドワード本社ビル		1w2	1w2 
10	G	カネボウ化粧品ディスプレイ(什器展開)		1w2	
15	G	ミューズ		1w2	
17	C	四季ファブリック		1w2	
				4	
19	A	山荘T		1w3	
				1	
1	A	クラブ カッサドール		1c1	1c1 
3	B	貴金属タカラ堂		1c1	
4	D	クラブジャド		1c1	
7	D	エドワーズ アトリエ・東京		1c1	
9	C	ショップ ヴォーグ		1c1	
12	C	カリオカ ビル・BIF		1c1	
16	B	キロニー・インテリア・イン		1c1	
18	E	ミルクボーイ		1c1	
20	F	イツセイ ミヤケ・フロムファースト		1c1	
21	F	スパーヘアー コイケ		1c1	
22	L	カクティ―(美容室)		1c1	
26	K	ISSEY MIYAKE・銀座松屋		1c1	
27	K	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク		1c1	
28	D	ESPRIT・香港		1c1	
29	J	ESPRIT 2		1c1	
30	D	ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店		1c1	
32	M	LUCCHINO BAR		1c1	
34	F	ISSEY MIYAKE MEN南青山		1c1	
37	M	バーレストラン ゼール		1c1	
				19	

表—3.3.10 (続) 床、壁、天井のダイアグラムの 面内照明L・集計

面内・照明・L					
作品番号	グループ	作品名		記号	ダイアグラム
38	L	オブローモフ・福岡		1c1	
39	L	YOSHIKI HISINUMA		1c1	1c1
40	M	リビナヤマギワ		1c1	
41	M	スパイラル		1c1	
				5	
		計			24
11	E	カリオカ ビル・1F		1c2	1c2
32	M	LUCCHINO BAR		1c2	
				2	
13	B	ショップ ファッション・イン		1c3	1c3 
19	A	山荘T		1c3	
39	L	YOSHIKI HISINUMA		1c3	
				3	
23	H	第一紙行ショールーム		2w1c1	2w1c1
42	M	LAPUTA		2w1c1	
				2	
2	C	レストラン サーカス		2w2c1	2w2c1
31	H	ISSEY MIYAKE神戸		2w2c1	
				2	
14	G	プロジェクト・ルミ・サーフェス		2w2c2	2w2c2
24	I	ヤマギワ小会議室・東京		2w2c2	
				2	
35	H	きよ友		2w3c1	2w3c1
36	H	BAR COMBLE・静岡		2w3c1	
				2	
33	H	CAFÉ OXY乃木坂		2f3c1	2f3c1
				1	
6	C	マーケットワン		3f2w2c2	3f2w2c2
				1	
				10	
				44	

表-3.3.11 床、壁、天井のカラー、マテリアル、照明の状況のダイアグラム

現れ頻度

面内カラー・C、面内マテリアル・M、面内照明・Lのダイアグラム				
ダイアグラム	記号	面内・カラー・トーン・C	数	順位
	1	床、壁、天井の3面が別のトーン		
	1f	床がダーク・トーン	14	1
	1w	壁がダーク・トーン	3	4
	1c	天井がダーク・トーン	2	5
	2fw	床、壁の2面が同・トーン	4	3
	2wc	壁、天井の2面が同・トーン	3	4
	2fc	床、天井の2面が同・トーン	1	6
	3・1	床、壁、天井が同・トーン 白・W	7	2
	3・2	床、壁、天井が同・トーン グレー・Gv	7	2
	3・3	床、壁、天井が同・トーン ブラック・Bk	2	5
		計	43	
ダイアグラム	記号	面内マテリアル・M	数	順位
	1	床、壁、天井、3面が別のマテリアル	11	2
	2fw	床、壁の2面・同マテリアル	3	3
	2wc	壁、天井の2面・同マテリアル	24	1
	2fc	床、天井の2面・同マテリアル	0	
	3	床、壁、天井の3面が同マテリアル	0	
		計	38	
ダイアグラム	記号	面内・ライティング・L	数	順位
	1f	床面が点光、線光、面光	0	
	1w1	壁面が点光	0	
	1w2	壁面が線光	4	2
	1w3	壁面が面光	1	5
	1c1	天井面が点光	24	1
	1c2	天井面が線光	2	4
	1c3	天井面が面光	3	3
	2w1c1	壁、天井の2面が点光	2	4
	2w2c1	壁が線光、天井が点光	2	4
	2w2c2	壁線光、天井が線光	2	4
	2w3c1	壁が面光、天井が点光	2	4
	2f3c1	床が面光、天井が点光	1	5
	3f2w2c2	床、壁、天井が線光	1	5
		計	44	



## 第4章 考察

## 4.1 原室内空間とインテリア・シェルターの離隔性と多重性と

### 空間的特徴のグループの考察

グループ分類を 4.1.1、4.1.2 離隔性の考えを示し、これに基づいて 4.1.3 にて、K J 法により空間的特徴のグループの抽出を行うことを述べている。

#### 4.1.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における離隔要因 D' について

前章の表-3.1.2 より、床のインテリア・シェルターの離隔要因は、第一の床 F1 が多く、視覚性が強い空間的離隔要因、什器等の支柱のベース金物を内設するための構造的離隔要因、照明等を内設するための設備的離隔要因が複合して現われている。

壁のインテリア・シェルターの離隔要因は、空間的離隔要因、用途的離隔要因、精神的離隔要因の共存が多い。これにより、用途の異なったゾーン（用途的要因）が、周囲の空間と繋がりあるインテリア・シェルターの空間的な仕切り壁（空間的要因）に対し、これに光の操作が加わり、その仕切り壁の重量性が軽減されることによって、その空間に浮遊性が生じ、浮遊感（精神的要因）が生成されていると考えられる。

天井のインテリア・シェルターの離隔要因は、後期に第 2 の天井である C2 が多く現れ、空間的離隔要因、設備的離隔要因、精神的離隔要因が多い。K-36 の作品を例に説明すると、空間的離隔要因である天井から離れた曲面の透過面は、設備的要因として奥に光を内設することで、浮遊性が増加され、精神性として浮遊感を出現させていると考えられる。

インテリア・シェルターの床、壁、天井は原室内空間から様々な離隔の理由によって、すなわち仕上げの、空間的、設備的、構造、用途的、精神的離隔要因が複合し離隔され、空間創造、空間構成されている。倉俣の作品では、使用上の区画による用途離隔要因と、照明による設備離隔要因と、吊り・キャンティレバーによる構造離隔要因によって、より空間離隔、精神離隔が強調されているといえる。それにより、空間的浮遊性が創生されていると考えられる。

空間的特徴のグループ (A~M) ごとに、インテリア・シェルターの離隔要因を表-4.1.1 にまとめた。床、壁、天井のインテリア・シェルターの離隔要因と空間の特徴グループの関係を考察すると、壁のインテリア・シェルターの離隔要因について、D「2重壁」、F「キャンティレバーのテーブル」、G「光る構造体」、H「光る床、壁天井」、K「床と壁の同一素材」、L「自律する空間」、M「多重壁」の 1967 年以後のほとんどの作品群が、空間、用途、精神離隔要因が共存して現われている。

離隔要因における空間性、精神性の抽出では、表-4.1.2、図-4.1.1、図-4.1.2 より、空間的離隔要因では多重壁、光の空間、浮遊性、空間の消去、特殊な壁、自由性、可変システムなどが抽出された。精神的離隔要因では重力の開放感、浮遊感、中央での新形態による意味性、事物の意味性などが抽出された。

表-4.1.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における離隔要因D' (空間特徴グループ順)

インテリア・シェルター床、壁、天井における一離隔要因D' (空間特徴のグループ)																					
グループ名	作品番号・作品名	床・F					壁・W					天井・C									
		離隔要因D'					離隔要因D'					離隔要因D'									
		仕上	空間的	設備的	構造的	用途的	精神的	仕上	空間的	設備的	構造的	用途的	精神的	仕上	空間的	設備的			構造的	用途的	精神的
		a1	a2	a3	a4	b	c	a1	a2	a3	a4	b	c	a1	a2	a3			a4	b	c
A	K-1 クラブカッサドル	1		1		1		1	1				1	1		1					8
	-19 山荘T(別荘)		1			1	1		1				1		1				1		7
	小計																				
B	-3 貴金属タカラ堂		1						1		1	1			1	1					6
	-8 ショップ I 神戸		1						1	1	1	1	1		1		1				8
	-13 ショップ ファッション・イン		1		1				1		1	1			1	1			1		8
	-16 キロニー・インテリア・イン		1			1			1						1	1					5
	小計																				
C	-2 レストラン サークス	1		1		1			1	1		1			1	1					8
	-6 マーケットワン		1	1					1			1			1	1					6
	-9 ショップ ヴォーグ		1					1	1		1			1		1					6
	-12 カリオカ ビル・B1F		1	1	1	1			1			1			1	1					8
	-17 四季ファブリック	1	1						1	1					1	1	1	1	1	1	9
	小計																				
D	-4 クラブジャド		1	1	1	1		1	1			1	1		1	1					10
	-7 エドワーズ アトリエ・東京		1					1	1			1			1	1					6
	-25 ISSEY MIYAKE・パリ		1		1			1	1			1	1								6
	-28 ESPRIT・香港		1					1	1		1	1	1	1	1	1		1			9
	-30 ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店		1		1			1	1		1	1	1	1	1	1			1		10
	小計																				
E	-11 カリオカ ビル・1F		1	1		1			1			1			1	1			1		8
	-18 ミルクボーイ		1		1				1			1			1	1					6
	小計																				
F	-20 イッセイ ミヤケ・フロムファースト		1						1		1	1	1		1	1					7
	-21 スーパーヘアー コイケ		1	1	1	1			1		1	1	1		1	1					10
	-34 ISSEY MIYAKE 南青山		1			1	1		1		1	1	1		1	1					9
	小計																				
G	-5 エドワード本社ビル		1	1	1			1	1	1	1	1	1		1	1	1				12
	-10 カネボウ化粧品ディスプレイ(什器展開)	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1							11
	-14 プロジェクト・ルミ・サーフェス		1						1	1			1		1	1			1		7
	-15 ミューズ		1	1	1				1	1	1	1	1		1						9
	小計																				
H	-23 第一紙行ショールーム		1	1	1				1	1		1	1		1	1					9
	-31 ISSEY MIYAKE神戸		1		1				1	1		1			1	1					7
	-33 CAFE OXY乃木坂		1	1			1		1			1	1		1	1					8
	-35 きよ友		1	1	1	1			1	1		1	1		1	1	1	1	1		12
	-36 BAR COMBLE・静岡		1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		15
	小計																				
I	-24 ヤマギワ小会議室・東京		1	1	1			1	1	1			1	1	1	1			1		11
	小計																				
J	-29 DELGIN STUDIO ESPRIT		1						1			1	1		1	1					6
	小計																				
K	-26 ISSEY MIYAKE・銀座松屋		1		1		1		1			1	1		1	1					8
	-27 ISSEY MIYAKE・ニューヨーク		1		1		1		1			1	1		1	1					8
	小計																				
L	-22 カクティエ(美容室)		1	1	1	1			1			1	1		1	1					9
	-38 オブローモフ・福岡		1	1	1	1			1			1	1		1				1		9
	-39 YOSHIKI HISINUMA		1		1			1	1			1	1	1	1	1			1		10
	小計																				
M	-32 LUCCHINO BAR		1	1	1	1	1		1			1	1		1	1					10
	-37 バーレストラン ゼール		1	1	1	1			1			1	1	1	1	1					10
	-40 リビナヤマギワ		1						1			1	1	1		1	1				7
	-41 スパイラル		1		1				1		1	1	1		1	1	1	1			9
	-42 LAPUTA		1	1	1	1			1			1	1		1	1	1	1			10
	小計																				
累計																					
合計		4	40	20	24	16	6	12	42	12	13	36	30	10	37	34	9	1	11		357

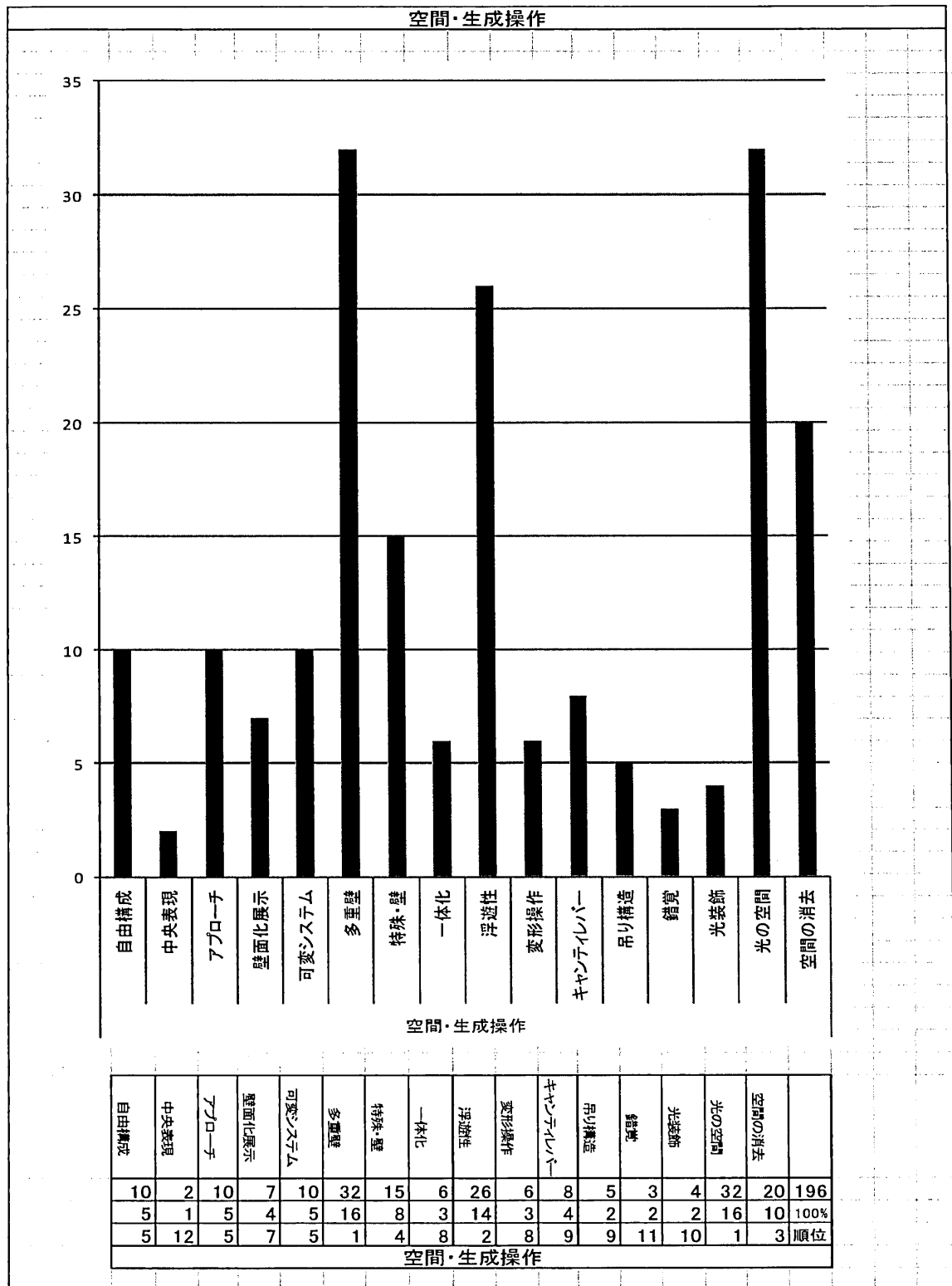


表-4.1.2 離隔要因D'における空間性、精神性の抽出リスト

離隔要因D'である空間性、精神性に着目し42作品における空間の表現手法、精神性の抽出リスト(時代別)													
作品番号	作品	用途	空間構成	表現位置	造形操作	表現操作	光の空間	浮遊性	空間の消去	既成概念の否定 アイロニー	精神性 心理 低待ち		
A-1	ペー1	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
B-1	ペー2	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
C-1	ペー3	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
D-1	ペー4	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
E-1	ペー5	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
F-1	ペー6	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
G-1	ペー7	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
H-1	ペー8	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
I-1	ペー9	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
J-1	ペー10	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
K-1	ペー11	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
L-1	ペー12	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
M-1	ペー13	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
N-1	ペー14	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
O-1	ペー15	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
P-1	ペー16	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
Q-1	ペー17	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
R-1	ペー18	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
S-1	ペー19	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
T-1	ペー20	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
U-1	ペー21	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
V-1	ペー22	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
W-1	ペー23	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
X-1	ペー24	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
Y-1	ペー25	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
Z-1	ペー26	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AA-1	ペー27	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AB-1	ペー28	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AC-1	ペー29	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AD-1	ペー30	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AE-1	ペー31	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AF-1	ペー32	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AG-1	ペー33	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AH-1	ペー34	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AI-1	ペー35	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AJ-1	ペー36	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AK-1	ペー37	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AL-1	ペー38	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AM-1	ペー39	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AN-1	ペー40	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AO-1	ペー41	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		
AP-1	ペー42	2222	定期的配置	周囲の表現 中央の表現			連続する 光の空間				離脱		

離隔要因D'である空間性、精神性に着目し42作品における空間の表現手法、精神性の抽出リスト(時代別)													
作品番号	作品	用途	空間構成	表現位置	造形操作	表現操作	光の空間	浮遊性	空間の消去	既成概念の否定 アイロニー	精神性 心理 低待ち		
E-1	ペー18	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
F-1	ペー19	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
G-1	ペー20	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
H-1	ペー21	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
I-1	ペー22	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
J-1	ペー23	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
K-1	ペー24	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
L-1	ペー25	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
M-1	ペー26	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
N-1	ペー27	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
O-1	ペー28	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
P-1	ペー29	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
Q-1	ペー30	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
R-1	ペー31	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
S-1	ペー32	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
T-1	ペー33	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
U-1	ペー34	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
V-1	ペー35	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
W-1	ペー36	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
X-1	ペー37	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
Y-1	ペー38	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
Z-1	ペー39	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
AA-1	ペー40	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
AB-1	ペー41	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
AC-1	ペー42	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		

離隔要因D'である空間性、精神性に着目し42作品における空間の表現手法、精神性の抽出リスト(時代別)													
作品番号	作品	用途	空間構成	表現位置	造形操作	表現操作	光の空間	浮遊性	空間の消去	既成概念の否定 アイロニー	精神性 心理 低待ち		
E-1	ペー18	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
F-1	ペー19	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
G-1	ペー20	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
H-1	ペー21	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
I-1	ペー22	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
J-1	ペー23	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
K-1	ペー24	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
L-1	ペー25	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
M-1	ペー26	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
N-1	ペー27	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
O-1	ペー28	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
P-1	ペー29	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
Q-1	ペー30	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
R-1	ペー31	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
S-1	ペー32	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
T-1	ペー33	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
U-1	ペー34	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
V-1	ペー35	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
W-1	ペー36	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
X-1	ペー37	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
Y-1	ペー38	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
Z-1	ペー39	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
AA-1	ペー40	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
AB-1	ペー41	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		
AC-1	ペー42	山荘	定期的配置	周囲の表現 中央の表現	中央什物 の多用性	IN-EXの 一体的表現	階段 アプローチ	椅子状のDL 配置	光の装飾 壁スチレン	動物の多量性	錯覚		



図－4.1.1 離隔要因D' 空間性の抽出

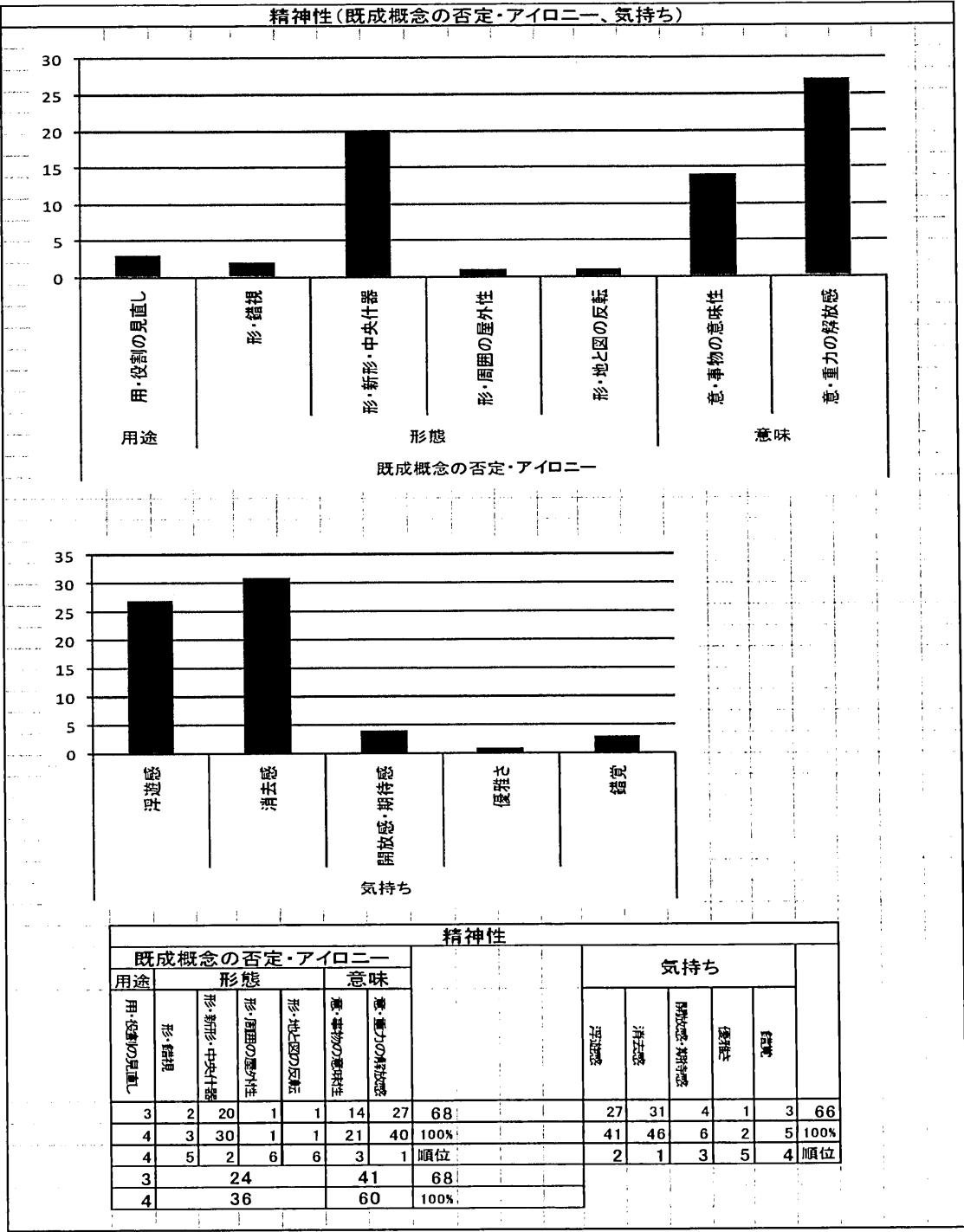


図-4.1.2 離隔要因D 精神性の抽出

#### 4.1.2 インテリア・シェルターの床、壁、天井における多重性D<sub>m</sub>について

作品の時代順にまとめたインテリア・シェルターの多重性を示す前章の表—3.1.2より、床の多重性について考察する。後期では、特に、K-33「CAFÉ OXY 乃木坂」において、多重性と離隔要因との関係性で説明すると、9Wのサークライン蛍光灯（空間・設備的離隔要因）が内設され、またテーブル・イスの固定金具（構造的離隔要因）によって離れた腐食ガラスの光の透過面（2重床の多重性）により、天井照明による、人、テーブル、イスの影が消え、金属の支柱（構造的離隔要因）の使用により、周囲の床部の白く光った状況を映しこみ、支柱の存在が消去され、テーブルの浮遊性（精神的離隔要因）が形成されていると考えられる。これは空間、設備、構造といった実体的な構成を用いて実現されたインテリア自身に精神性が賦与されたものと考えられる。このように後期作品の床では、倉俣史朗のデザイン特徴である空間の浮遊性の表現において、欠かせないインテリア・シェルターの多様な離隔要因（空間、構造、設備要因）により離れた多重性によって形成されていると考えられる。

K-21以後の作品では、壁、天井の多重性については、空間的、設備的、構造的、用途的、精神的離隔要因の共存によって壁、天井が離隔されている場合が多く、K-28「ESPRIT 香港」、K-30「ISSEY MIYAKE 渋谷西武」ではスチールのメッシュ、エキスパンド・メタルが用いられた壁、天井の多重壁は、周囲の原室内空間から離れ、自律した空間を形成し、周囲の壁と天井の存在感が消去され、中空素材の透けた多重壁部分の存在が強調され、商品の浮遊性を創出していると考えられる。K-35「きよ友」、K-36「COMBLE」、K-39「ヨシキ・ヒシヌマ」では、奥からの光によって透過された曲面は、重量性が軽減され、空間の浮遊性が形成されている。K-40、「リビナヤマギワ・照明のショールーム」、K-41「スパイラル」では、天井から吊られた床部にクリアランスのある壁により、空間の浮遊性が形成されている。

空間的特徴のグループ（A～M）ごとに、インテリア・シェルターの多重性を表—4.1.3にまとめた。床、壁、天井のインテリア・シェルターの多重性と空間の特徴グループの関係を考察すると、空間の特徴グループC（壁面化された収納）では、壁がすべて同一壁の凹凸があるW1'であることにより、もっとも室内側の手前にあるインテリア・シェルターの平坦性が強調され、収納がすっきり平面の内部に収まり、空間を単純化することに成功している。グループD（2重壁）では、2重壁のW2がすべてに見られる。これもKJ法によるグループ分類の内容と一致している。一部W3であり、K-28「ESPRIT 香港」はスチール・メッシュ第2壁面の凹凸のW2'、K-30「ISSEY MIYAKE 渋谷西武」はスチールのエキスパンド・メタル第2天井の凹凸のC2'は、前期、後期を通じて、独特の作品である。グループH（光る床、壁、天井）では、すべて、2重壁のW2、3重壁のW3であり、光源の内設により、離れた光面による透過光は、空間の浮遊性を形成し、グループM（多重壁）では、浮遊した3重壁、W3が多く。特にK-40「リビナヤマギワ」では前途の通りW4、W5、W6と6重の天井から吊られ、床まで延びていない、下方にクリアランスのある壁の多重性があり、空間の一体性、展示ゾーンの区画、プライバシーの確保、空間の浮遊性を形成していると考えられる。

表-4.1.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井の多重性Dm (空間特徴のグループ順)

床、壁、天井のインテリア・シェルターの多重性(空間特徴のグループ)																								
グループ	作品番号、作品名	床・F				壁・W										天井・C						合計		
		f	Fo	F1	計	w	Wo	W1	W2	W3	W4	W5	W6	計	c	Co	C1	C2	C2	計				
A	-1 クラブカッサドル	1	1	1	3	1	1								2	1					1	6		
	-19 山荘T(別荘)	1	1		2	1	1								2	1	1				2	6		
	小計																							
B	-3 貴金属タカラ堂	1	1		2	1	1	1							3	1	1				2	7		
	-8 ショップ I 神戸	1	1		2	1	1							2	1	1				2	6			
	-13 ショップ ファッション・イン	1	1		2	1	1							2	1	1				2	6			
	-16 キロニー・インテリア・イン	1	1	1	3	1	1							2	1	1				2	7			
小計																								
C	-2 レストラン サークス	1	1	1	3	1	1	1							3	1	1				2	8		
	-6 マーケットワン	1	1	1	3	1	1	1						3	1	1	1			3	9			
	-9 ショップ ヴォーグ	1	1		2	1	1	1						3	1	1				2	7			
	-12 カリオカ ビル・B1F	1	1	1	3	1	1	1						3	1	1	1			3	9			
	-17 四季ファブリック	1	1		2	1	1	1						3	1	1				2	7			
	小計																							
D	-4 クラブジャド	1	1		2	1	1	1	1		1				5	1	1				2	9		
	-7 エドワーズ アトリエ・東京	1	1		2	1	1		1					3	1	1				2	7			
	-25 ISSEY MIYAKE・パリ	1	1		2	1	1		1		1			4							6			
	-28 ESPRIT・香港	1	1		2	1	1		1	1				4	1	1		1		3	9			
	-30 ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店	1	1		2	1	1		1		1			4	1	1		1	1	4	10			
小計																								
E	-11 カリオカ ビル・1F	1	1	1	3	1	1							2	1	1				2	7			
	-18 ミルクボーイ	1	1		2	1	1							2	1	1				2	6			
小計																								
F	-20 イッセイ ミヤケ・フロムファースト	1	1		2	1	1							2	1	1				2	6			
	-21 スーパーヘアー コイケ	1	1		2	1	1	1						3	1	1				2	7			
	-34 ISSEY MIYAKE MEN南青山	1	1	1	3	1	1	1	1					4	1	1				2	9			
小計																								
G	-5 エドワード本社ビル	1	1		2	1	1		1					3	1	1				2	7			
	-10 カネボウ化粧品ディスプレイ(仕器展)	1	1		2	1			1					2	1					1	5			
	-14 プロジェクト・ルミ・サーフェス	1	1		2	1	1							2	1	1				2	6			
	-15 ミューズ	1	1		2	1	1	1						3	1	1				2	7			
小計																								
H	-23 第一紙行ショール	1	1		2	1	1		1		1	1		5	1	1				2	9			
	-31 ISSEY MIYAKE神	1	1		2	1	1		1		1			4	1	1	1			3	9			
	-33 CAFE OXY乃木坂	1	1		2		1		1		1	1		4	1	1				2	8			
	-35 きよ友	1	1		2	1	1	1	1		1			5	1	1		1		3	10			
	-36 BAR COMBLE・静岡	1	1		2	1	1	1	1		1			5	1	1		1		3	10			
小計																								
I	-24 ヤマギワ小会議室	1	1		2	1	1		1					3	1	1		1		3	8			
小計																								
J	-29 DELGIN STUDIO ESPRIT	1	1		2	1	1	1						3	1	1	1			3	8			
小計																								
K	-26 ISSEY MIYAKE・銀座松屋	1	1		2	1	1	1	1					4	1	1				2	8			
	-27 ISSEY MIYAKE・ニューヨーク	1	1		2	1	1	1	1		1			5	1	1				2	9			
小計																								
L	-22 カクティール(美容室)	1	1		2	1	1							2	1	1				2	6			
	-38 オブローモフ・福岡	1	1		2	1	1		1		1			4	1	1				2	8			
	-39 YOSHIKI HISINUMA	1	1		2	1	1		1		1			4	1	1				2	8			
小計																								
M	-32 LUCCHINO BAR	1	1		2	1	1		1		1			4	1	1				2	8			
	-37 バーレストラン ゼール	1	1		2	1	1	1	1		1	1		6	1	1				2	10			
	-40 リビナヤマギワ	1	1		2	1	1		1		1	1	1	7	1	1				2	11			
	-41 スパイラル	1	1		2	1	1	1	1					4	1	1		1		3	9			
	-42 LAPUTA	1	1		2	1	1	1	1		1			5	1	1				2	9			
	小計																							
合計		42	42	7	91	41	41	18	23	1	15	4	1	1	145	41	39	4	6	1	91	327		

壁のインテリア・シェルターの多重性は、前期と後期(1977 年以後)を通じて第 2 の壁である W2 が多く、後期に第 3 の壁である W3 が多く現れ、この壁は床に空き、天井に空きが存在し、また壁が透過性である場合が多い。

倉俣史朗のデザインの浮遊性について、前期では、キャンティレバー、吊り構造による、構造的な手法による浮遊性が多く、後期では、中央部における、主体的表現として、多様な離隔要因と多重性によるインテリア・シェルターの空間に対して、光の操作が加えられ、さらに周囲部空間が従的表現として消去されることで、より中央の空間の浮遊性が強調されていると考えられる。

#### 4.1.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間的特徴 S c のグループについて

1967 年(33 歳)～1991 年(56 歳)までの、42 作品を基に、周囲、中央部におけるインテリア・シェルターの床、壁、天井の離隔性と空間的構成と形態性すなわち「概形的な空間の創造」の観点から、KJ 法による分類を試みた。その結果 A～M までの 13 の空間的特徴のグループを得た。分類されたグループの時系列的な出現分布を表化した。これを表-4.1.4 に示す。各グループの特徴は以下のとおりである。

表-4sc から読み取れることは、1976 年、1977 年の K-20, 21 作品はこの年代において、単独的作品であり、またこの作品の以前では A, B, C, E, G グループが存在し、それらの空間的特徴がその時代間の空間的特徴をあらわしている。また、この作品以後 H, I, J, K, L, M グループが存在し、この時代の空間的特徴をあらわしている。すなわち、K-20, 21 は分岐点的作品であると考えられる。ここで 1976 年以前を前期(1967～1976)とし、1977 年以後を後期(1977～1991)と位置づけする。

表-4.1.4 42 作品における空間的特徴のグループ  
インテリア・デザイン42作品-空間特徴のグループ

年代	A 空間の 錯視	B 棚受け ユニット システム ユニットの 床	C 壁面化 された 収納、 45度 の壁面	D 2重壁、 皮膚的 な壁	E 一体性 ファサード と インテリア	F キャンティ レバーの 棚と テーブル、 吊り天井	G 光る構造体 柱・梁、 光る自立体	H 光る 床 壁 天井	I スペース ・フレイム	J ファサード 地と図の 反転	K 床と壁 の 同一材	L 自律する 空間	M 多重壁
1967年	K-1												
1968年			K-2										
1969年		K-3		K-4			K-5						
1970年		K-8	K-6 K-9	K-7			K-10						
1971年		K-13	K-12		K-11								
1972年							K-14 K-15						
1973年		K-16											
1974年			K-17		K-18								
1975年	K-19												
1976年						K-20							
1977年						K-21							
1979年												K-22	
1980年								K-23					
1983年				K-25					K-24		K-26		
1984年				K-28						K-29	K-27		
1987年				K-30		K-34		K-31 K-33					K-32
1988年								K-35 K-36					K-37
1989年												K-38 K-39	
1990年													K-40 K-41
1991年													K-42

・A グループ [空間の錯視] は 1967 年に作 K-01[クラブ カッサドール]があり、高松次郎による「壁面の人影」は、現実には単に描かれた人影にすぎないが、すりガラスの向こうに 2 人が会話しているような状況が体験され。視覚のもつ常識性、既成概念が問われている。8 年後 1975 年に K-19[山荘 T]では、奥に狭まってゆく上り階段の両側の壁面は階段上部からの光によって、この両面の壁面が明るくなり、壁面が折れ曲がって見える錯視が生じている。この作品の背景にも、視覚と既成概念の問いかけが現れていると考えられる。

・B グループ [棚受け・ユニットシステム] 1969～1973 年には、このグループのが K-03[時計・貴金属タカラ堂]に始まり、合理性、機能性を越えたシステムのミニマリズム的表現として、形成されてきた。

・C グループ [壁面化された収納]は、インテリア・シェルターの表面の凹凸性を採用することにより、展示・収納の棚の煩雑性を消去、単純化された空間が生成されたと考えられる。

・D グループ [2重壁]は、インテリア・シェルターの壁が 2 枚のもので、前期の K-04[クラブ・ジャド]において、天井まで伸びていない、水平のステンレス・パイプの第二の壁の採用により、用途の異なる空間を上部では一体性を確保し、視覚と動線のつながりを区画することで、新たな壁の存在が形成された。

後期の K-28[RSPRIT], K-30[ISSEY MIYAKE 渋谷西武]において、スチールのメッシュ、パンティング・メタルによる中空性を持つ第二の壁によって、壁自体の存在が消去され、商品の浮遊性が形成された。D グループについては 1969 年～1970 年の前期・前半と 10 年以上の空白期間を経て後期・前半 1983～1987 年に、再度同手法が展開された。

・E グループ [ファサードとインテリアの一体性]は、インテリア・シェルターから離れた、中央什器の内から外への一体性は、空間の繋がりに伴う、意識の繋がり、開放感を形成したと考えられる。

・F グループ [キャンティレバーの棚、テーブル]は 1976～1987 年に展開された。特に 1976 年・K-20[イッセイ ミヤケ フロムファースト]では、1200×2400mm・ディスプレイのテーブルを浮遊させて見せるために、壁からのキャンティレバー構造の採用によって、床とディスプレイ・テーブルの間に支柱のない空間が生まれ、また天井からの照明によって、テーブルの影が床に落ちることによって、よりテーブルと床のクリアランスの空間が強調され、浮遊性が獲得されたと考えられる。この構造手法によって創出された浮遊的空間は、この時代のインテリアにおいて画期的であり、衝撃的な空間の出現であった。1977 年・K-21[スパーヘアー コイケ]の 2 作品はこの 1976 年、1977 年それぞれの唯一作品の単独的作品であり、分岐点作品としての空間創造手法であると考えられる。というのは、この作品以後、倉俣の作品には、新たに曲線や曲面が、

空間構成、すなわちインテリア・シェルターの空間的な離れ方、面のフォルム、面のパターン、面の照明に現れ、それにより、自由な表現世界が形成されたと考えられるからである。

H, I, J, K, L, M のグループは後期にのみ現れ、倉俣の後期を代表する空間創造手法であると位置づけられる。

- ・ G グループ[光る構造体、光る自立体]は、K-05, 10 が代表作品で、線的な光る透過性の構造体で、什器の支柱、柱、梁が透明アクリル、乳半アクリルで作られ、構造として用いられ、その内部に蛍光灯の光源が入られることによって、構造体の存在感が消され、棚、商品が空中に浮遊するようになるプロセスを生み、浮遊性のある空間を生成させている。

- ・ H グループ[光る床、壁、天井]1980～1988 年の後期は、原室内空間と光る透過面としてのインテリア・シェルターの間に光源が入ることによって、透過面の奥の屋外から光が差し込み、インテリア・シェルターの光の透過面の重量感が軽減され空中に浮いたように、かつその透過面の内側の棚、商品もやはり空中に浮遊したように見え、浮遊性が形成されていると考えられる。

- ・ I グループ[スペース・フレーム]周囲から離されて中央の空間部にはめ込まれた立方体のフレームの空間であり、フレーム内の包まれ感、フレーム内とフレーム外の空間的繋がり感がある空間である。

- ・ J グループ[ファサード地と図の反転]K-29 では、ファサードの窓が不透明のブルーの扉、その周りの外壁がトーマイ・ガラスになり、通常の光景と反対の関係（周囲と中央の反転）でデザインされている。

- ・ K グループ[床と壁の同一素材]は、床と壁が同一素材のインテリア・シェルター空間を示し、この空間の特徴は、周囲、中央にある展示のテーブル等も同素材で制作され、その同じ素材の粒子によって、フォルムが消去され（地と図の区別が認識できず）、商品だけが、目立つ、浮遊するというプロセスが形成されていると考えられる。

- ・ L グループ[自律する空間]は、中央部の空間でオブジェ的な自律的表現の空間を示し、中央部主体的表現が形成され、後期を代表する空間創造手法と言える。

- ・ M グループ[多重壁]は、インテリア・シェルターの多重壁、3 以上の多重性空間を示し、最終局面の 1987 年～1991 年の後期に展開されており、K-32, K-37 から始まり、特に 1990～1991 年・後期・後半の K-40[ヤマギワリビナ本館・和風照明フロアー]、K-41 及び K-42 の 3 作品は、この時代において単独的、独創的な空間創造手法と考えられる。



## 4-2 インテリア・シェルターの空間的離隔性とフォルムとパターンの考察

### 4.2.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間的離隔性D

空間的離隔性Dについて、前章の図-3.2.2 および表-4.2.1 から 4.2.8 より、空間的離隔性の出現頻度順に考察を以下に述べる。これらの関係を図示したものを図-4.2.1 に示す。

- ・並行離隔性について、原室内空間の壁W<sub>0</sub>の手前に意図的な並行離隔の壁・壁W<sub>1</sub>が40作品すべてみられる。並行が多い理由は、W<sub>0</sub>とW<sub>1</sub>によってできるクリアランス空間は胴縁等の下地、断熱材の内設、コンセント・ボックス内設等から要求される最小必要原の省スペース性、合理的な空間利用性によるところが多いと考えられる。

- ・斜め、曲面離隔性について、斜め離隔は、作品 K-12,K17 おいて、断面の壁に現れ、K-27,K31~K42 において、平面の壁に斜め離隔が現れている。断面方向の離隔は、床と壁、壁と天井をつなぐ部分に、斜め離隔が現れている。平面方向の斜め離隔は、W<sub>0</sub>とW<sub>1</sub>によってできる斜めのインテリア・シェルターの壁は、狭い空間から広い空間へ、あるいは広い空間から狭い空間へ、そのような動的な空間性が読み取れ、客が導入性する際の期待感、期待感、気持ちの変化を生じさせる効果を伴う離隔であると考えられる。曲面離隔は、K-21 作品以後、平面方向、断面方向に現れ、まとまり感や包まれ感があり、倉俣デザインの曲面的空間の作品を代表する離隔性であると考えられる。

- ・多重離隔性について、この壁は、ほとんど天井まで延びていない、700~2100mm程度の高さの低い壁または、透明、半透明の壁である。空間の広がり確保、用途区画、プライバシーの確保、気分転換を成立させていると考えられ、空間性、精神性の強い離隔であり、後期作品に多用されている。またこの離隔性に光の操作が加わることによって、多重壁により浮遊性が生じ、浮遊感が創出されている。

- ・中央離隔性について、K-5, K-10 は可変性のある中央ディスプレイの作品に始まり、後期作品において中央部が主体的表現、周囲部は従的表現となり、空間の浮遊性を創出させていると考えられる。

- ・直角離隔性について、用途区画的理由が多く、用途離隔要因と同時に存在することが多い。これは異なる用途の空間を仕切るのに、最小距離となり、合理的な解決方法であると考えられる。

- ・段差離隔性について、平面方向の段差離隔と断面方向の段差離隔がある。断面方向の段差離隔は、壁面化展示、壁面化収納を伴う用途離隔要因と同時に存在することが多い。

後期（1977~1991）K-35,36 にて、中央部に、多様な空間的離隔性が複合され、主体的表現となり、自由な空間構成、生成により、空間の浮遊性を創出させたと考えられる。

表-4.2.1 インテリア・シェルターにおける床、壁、天井の空間的離隔性D（空間特徴のグループ順）

		インテリア・シェルター床、壁、天井における空間的離隔性・D(空間特徴のグループ)																															
グループ名	作品番号・作品名	床・F								壁・W								天井・C								合計	平均	標準偏差	最大値	最小値			
		空間的離隔性・D								空間的離隔性・D								空間的離隔性・D															
		近接距離	斜め距離	曲面距離	直線距離	段差距離	多重距離	中央距離	近接距離	斜め距離	曲面距離	直線距離	段差距離	多重距離	中央距離	近接距離	斜め距離	曲面距離	直線距離	段差距離	多重距離	中央距離	近接距離	斜め距離	曲面距離	直線距離	段差距離	多重距離	中央距離				
		D1	D2	D3	D4	D1	D2	D3	D4	D1	D2	D3	D4	D1	D2	D3	D4	D1	D2	D3	D4	D1	D2	D3	D4								
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2				
A	K-1 クラブカッサドル	1								1																					2		
	-19 山荘T(別荘)	1				1				1	1			1				1													7		
	小計																																
B	-3 貴金属タカラ堂	1								1			1					1													4		
	-8 ショップ I 神戸	1								1			1					1													4		
	-13 ショップ ファッション・イン	1								1								1													3		
	-16 キロニー・インテリア・イン	1				1				1								1													4		
	小計																																
C	-2 レストラン サークス	1								1				1				1													4		
	-6 マーケットワン	1				1				1				1				1		1											6		
	-9 ショップ ウォーク	1								1								1													4		
	-12 カリオカ ビル・B1F	1								1	1							1													4		
	-17 四季ファブリック	1								1	1							1													4		
	小計																																
D	-4 クラブジャド	1								1		1	1		1			1													6		
	-7 エドワーズ アトリエ・東京	1								1			1		1			1													5		
	-25 ISSEY MIYAKE・パリ	1								1		1			1																4		
	-28 ESPRIT・香港	1								1			1	1		1		1													6		
	-30 ISSEY MIYAKE 渋谷西武百貨店	1								1		1			1	1		1		1											8		
	小計																																
E	-11 カリオカ ビル・1F	1								1								1				1									4		
	-18 ミルクボーイ	1								1			1					1	1												5		
	小計																																
F	-20 イッセイ ミヤケ・フロムファースト	1								1			1					1													4		
	-21 スーパーヘアー コイケ	1								1	1	1						1													5		
	-34 ISSEY MIYAKE MEN南青山	1				1				1	1		1	1				1													7		
	小計																																
G	-5 エドワード本社ビル	1			1					1								1	1												5		
	-10 カネボウ化粧品ディスプレイ(什器展覧)	1								1								1	1												4		
	-14 プロジェクト・ルミ・サーフェス	1								1								1													3		
	-15 ミューズ	1								1	1		1					1	1												6		
	小計																																
H	-23 第一紙行ショールーム	1								1		1			1			1													5		
	-31 ISSEY MIYAKE神戸	1								1	1		1					1		1											6		
	-33 CAFE OXY乃木坂	1									1							1	1	1											5		
	-35 きよ友	1								1	1	1										1									7		
	-36 BAR COMBLE・静岡	1								1	1	1	1		1							1									7		
	小計																																
I	-24 ヤマギワ小会議室・東京	1								1								1	1		1										5		
	小計																																
J	-29 DELGIN STUDIO ESPRIT	1								1								1	1												4		
	小計																																
K	-26 ISSEY MIYAKE・銀座松屋	1								1			1					1													4		
	-27 ISSEY MIYAKE・ニューヨーク	1								1	1							1													4		
	小計																																
L	-22 カクティー(美容室)	1								1								1	1												4		
	-38 オブローモフ・福岡	1				1				1	1	1	1					1	1	1											9		
	-39 YOSHIKI HISINUMA	1									1	1						1	1	1					1						7		
	小計																																
M	-32 LUCCHINO BAR	1				1				1	1	1						1													7		
	-37 バーレストラン ゼール	1								1	1	1						1													6		
	-40 リビナヤマギワ	1								1	1	1						1	1	1											7		
	-41 スパイラル	1								1	1	1						1	1	1											7		
	-42 LAPUTA	1								1	1	1						1	1	1											7		
	小計																																
	累計																																
	合計	42	0	0	1	6	0	0	0	40	18	14	12	6	15	13	38	2	7	1	1	3	0								219		

表-4.2.2 離隔要因D'と空間的離隔性Dの関係性 (時代順)

[illegible]



表-4.2.3 離隔要因 $D^*$ と空間的離隔性 $D$ の関係性（空間的特徴のグループ順）

離隔要因・D' (a1,a2,a3,a4,b,c)			空間的離隔性・D(D1,D2-1,D2-2,D3-1,D3-2,D4-1,D4-2)																				空間特徴のグループ順																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
グループ名	作品番号・作品名	仕上りの	床・F										壁・W										天井・C										計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			仕上りの	空間的	設備的	a3	a4	b	c	D1	D2	D3	D4	仕上りの	空間的	設備的	a3	a4	b	c	D1	D2	D3	D4	仕上りの	空間的	設備的	a3	a4	b	c	D1		D2	D3	D4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
A 空間的 錯視	K-1	クラブカサドール	1					1								1	1										1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

表一4.2.4 床に関して 42 作品におけるインテリア・シェルターの離隔要因と空間的離隔性の抽出リスト

床に関して42作品におけるインテリア・シェルターの離隔要因D'と離隔性Dの抽出リスト												
	a1・仕上離隔	a2・空間離隔	a3・設備離隔	a4・構造離隔	b・用途離隔	c・精神離隔	計					
D1 並行離隔	12	10 3 45	6 7 8 9 10	12 45	5 10 11 12	45	10 1 2 4					
作品番号		11 12 13 14 15	16 17 20	15	12 13 15		18 11 12					
		21 22 23 24 25	26 27 28 29 30	21 22 23 24	21 22 23 24 25	26 27 30	21 22					
		31 32 33 34 35	36 37 38 39 40	32 35	31 32 35	36 37 38 39	32 34 35	36 37 38	33 34		26 27	
計		41 42	42	41 42	42	42	42					4 105
D2-1 斜め離隔												
作品番号												
計												
D2-2 曲面離隔												
作品番号												
計												
D3-1 直角離隔		5	5									
作品番号												
計												
D3-2 段差離隔			1	1								2
作品番号			6	6				16 19				19
			19									
計												
D4-1 多重離隔			5	1				2				3 11
作品番号												
計												
D4-2 中央離隔												
作品番号												
計												
合計	3	45	9	24	14		7	118				

表一4.2.5 壁に関して 42 作品におけるインテリア・シェルターの離隔要因と空間的離隔性の抽出リスト

壁に関して42作品におけるインテリア・シェルターの離隔要因D'と離隔性Dの抽出リスト												
	a1・仕上離隔	a2・空間離隔	a3・設備離隔	a4・構造離隔	b・用途離隔	c・精神離隔	計					
D1 並行離隔	1 4 5	7 9 10	12 3 4 5	6 7 8 9	2	8	3	8	2	8	1	8
作品番号	24 25	28 30	11 12 13 14 15	16 17 18 19 20	14 15	17 13 15		11 12 13		14 15		
	36 39	31 32 33 35	21 22 23 25	26 27 28 29 30	31 35	21 28 29		26 27 29		25 26 27 29		
計		41 42	38	7	41	9	9					8 83
D2-1 斜め離隔												
作品番号		12 15	17 19	17						15		17
		21	27	21						21		
計		31 32 35	36 37 38 39 40			33 35	37 38 39 40			33		
		41 42				41 42				41		
D2-2 曲面離隔			4									
作品番号		21 23 25	30	23		21		23 25		32		36
		32 35	36 37 38 39 40	36		36	37 38 39 40					
計		41 42	14	2	1	42	7			41		5 29
D3-1 直角離隔			4			3 4	7 8					
作品番号						20	15	17				20
計						34	31 36 38			34		
D3-2 段差離隔			1			2		10				2 15
作品番号		2 6 9				2 6 9						19
		34	28			34	28			34		
D4-1 多重離隔			5					5				2 12
作品番号		4	7			4		4				
計		23 25	30			23 25		23		30		
		33 35	36 37 39 40					33 35		36 37 39 40		
		41 42						41 42				
D4-2 中央離隔			5	10	5	10	5	10	4		5	10
作品番号		21 24	28 30	24				23 25		21 24	28 30	
計		41 42	33 38 39 40							41 42	38 39 40	
合計	12	100	13	15	45		44	229				

表－4.2.6 天井に関して 42 作品におけるインテリア・シェルターの離隔要因と空間的離隔性の抽出リスト

天井に関して42作品におけるインテリア・シェルターの離隔要因D'と離隔性Dの抽出リスト											
	a1・仕上離隔	a2・空間離隔	a3・設備離隔	a4・構造離隔	b・用途離隔	c・精神離隔	計				
D1 並行離隔	9,10	2,3,4,5	6,7	2,3,4,5	6,7,9	5					
		11,12,13,14,15	16,17,18,19,20	11,12,13,14	16,17,18,20	17			17	13,14	17
作品番号	24	28,30	21,22,23,24	26,27,28,29,30	21,22,23	26,27,29			28		
	36,37,39,40	32,33,34,35	37,38,39	32,33,34,37	40				40		38
計		41,42	41,42		41,42						
	10		34	28	6	1				4	83
D2-1 斜め離隔											
作品番号			38								
計			1								1
D2-2 曲面離隔			6								
作品番号		24	30	24					24	30	
		35	36	35,36,39	36				35,36,39		
計			5	4	1					5	15
D3-1 直角離隔									11		
作品番号											
計											
D3-2 段差離隔										1	1
作品番号										19	
計											
D4-1 多差離隔										1	1
作品番号			28,30								
		35							35	30	
計			3								2
D4-2 中央離隔											5
作品番号											
計											
合計	10		43	32	7	1				13	106

表-4.2.7 離隔要因・Cと空間の特徴グループ（A～M）の関係性

	空間の特徴	a 1 仕上げ	a 2 空間	a 3 設備	a 4 構造	b 用途	c 精神
A	空間の錯視		1				1
B	棚受けユニット		1		1	1	
C	壁面化展示		1			1	
D	2重壁	1	1			1	1
E	一体性INとEX		1			1	
F	キャンティレバー の棚、テーブル		1		1	1	1
G	光る構造体		1	1			1
H	光る床、壁、天井		1			1	1
I	スペース・フレーム	1	1	1			1
J	地と図の反転		1			1	1
K	床、壁の同一材		1			1	1
L	自立する空間		1			1	1
M	多重壁		1			1	1
	合計	2	13	2	2	10	9

表-4.2.8 空間的離隔性・Dと空間の特徴グループ（A～M）の関係性

空間グループ		D 1	D 2-1	D 2-2	D 3-1	D 3-2	D 4-1	D 4-2
		並行離隔	斜め離隔	曲面離隔	直角離隔	段差離隔	多重離隔	中央離隔
A	空間の錯視	1						
B	棚受けユニット	1						
C	壁面化展示	1	1			1		
D	2重壁	1		1			1	
E	一体性INとEX	1						
F	キャンティレバー の棚、テーブル	1	1		1			
G	光る構造体	1						
H	光る床、壁、天井	1	1	1			1	
I	スペース・フレーム	1						1
J	地と図の反転	1						
K	床、壁の同一材	1						
L	自立する空間	1	1	1				1
M	多重壁	1	1	1			1	1
	合計	13	5	4	2	1	3	3

注) あるグループにおいて、各・離隔性1～2つの空白であれば共通の離隔性としてカウントする。



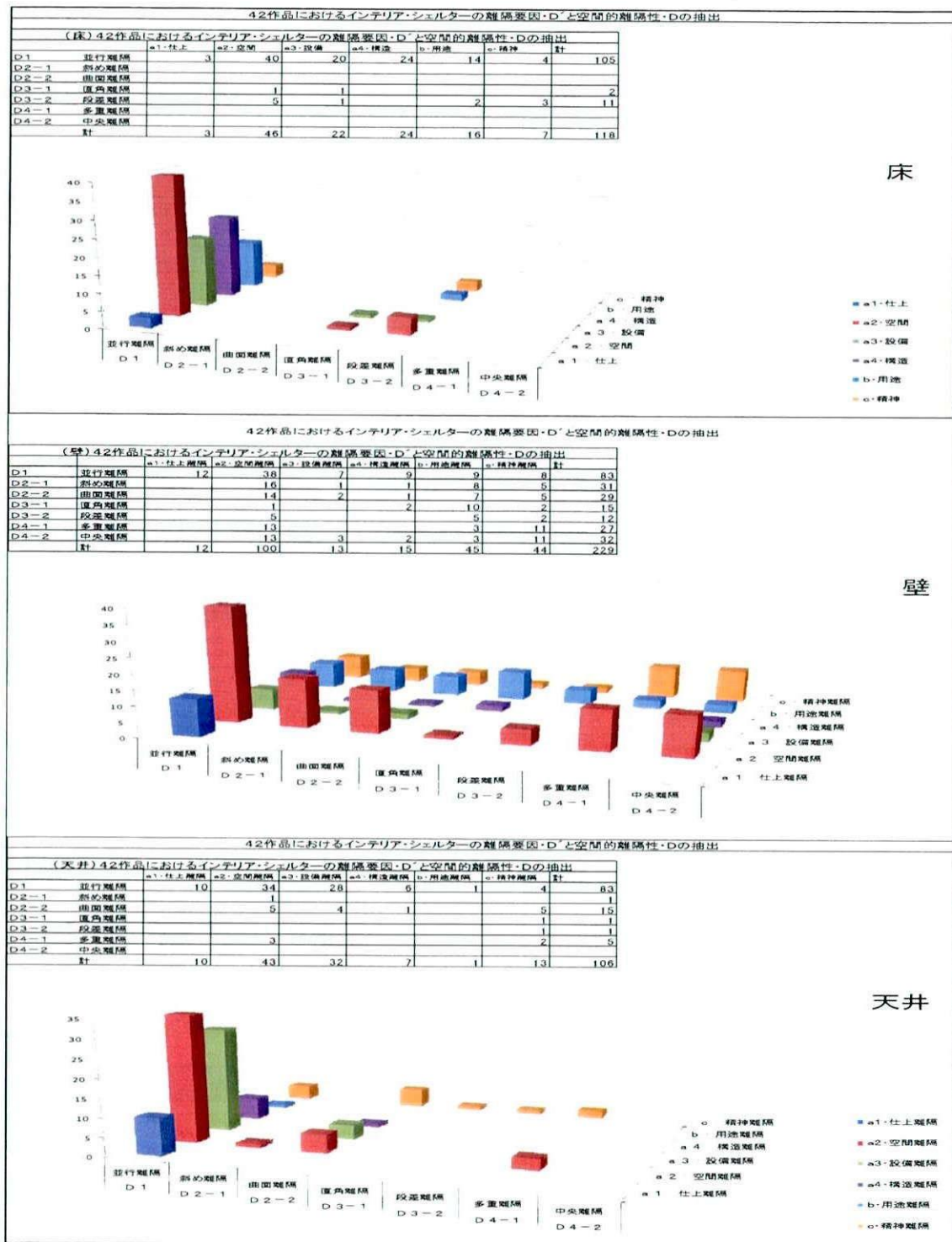














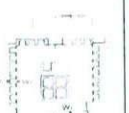

図-4.2.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における 離隔要因D' と空間的離隔性Dの関係性



表-4.2.1 より、空間的特徴のグループに着目すると、後期のHグループ「光る床、壁、天井」K-23,31,33,35,36、Mグループ「多重壁」K-32,37,40,41,42 の壁では、斜め離隔、曲面離隔、多重離隔の共存が多く現れている。

これらの代表的事例の空間的離隔性を下記の表-4.2,9 に示す。

表-4.2.9 空間的離隔性の代表事例

空間的離隔性D							
	D1	D2		D3		D4	
							
	並行離隔	斜め離隔 1	曲面離隔 2	直角離隔 1	段差離隔 2	多重離隔 1	中央離隔 2
前期 1967～ 1976				用途性が強い	壁面化収納 Cグループ	2重壁 Dグループ	
後期 1977～ 1991	最も多い 離隔である						中央主体 表現の多い 離隔である
	経済的、 合理的使 用性,立方 体の空間 K-07	導入性 期待感、 開放感 浮遊性 K-36	包まれ感 まとまり感  浮遊性 K-23,36	用途区画 性  K-26	周囲壁面 の平坦化 の強調  K-13	空間の一体性 用途区画 プライバシー の確保 気分転換 浮遊性 K-04,40	中央主体、 周囲消去  浮遊性 K-05,10

#### 空間的離隔Dの空間形態の抽出について

表-4.2.10～4.2.22 より、考察し以下の知見を得た。

- ・床、壁、天井に平面が最も多く、立方体の原室内空間、インテリア・シェルターを形成している。周囲の空間は消去的表現が多く、手前の中央にあるインテリア・シェルターは主体的表現が多い。

- ・床は8タイプの空間形態がある。平面の次に階段や段差が多く現れている。水平性は使用上求められる空間的特質であり、階段、段差は心理的变化を生じさせている。

- ・壁は29のタイプの空間形態がある。平面の次に、2重壁、中央オブジェ、斜め壁、曲面壁、直角壁、多重壁等の多様な離隔が多く、空間構成、生成の自由化を生み、構造的操作(キャンテ

表-4.2.10 離隔要因D'の空間性に着目した空間性、精神性抽出(時代順)

[illegible]



表—4.2.11 離隔要因D'の空間性に着目した空間性、精神性抽出(空間の特徴グループ順)

離隔要因・D<sup>\*</sup>である空間性、精神性に着目し42作品における空間の表現手法、精神性のリスト(空間特徴のグループ)

作品番号 空間の特徴のグループ	空間性																精神性									
	空間性																精神性									
	空間性																精神性									
	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
空間の特徴のグループ	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
空間の特徴のグループ	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
空間の特徴のグループ	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
空間の特徴のグループ	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
空間の特徴のグループ	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
空間の特徴のグループ	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
空間の特徴のグループ	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性	キャンディレバー	折り構造	経路	光の空間	空間の清濁	アイロニー	精神性・気持													
	空間構成	空間生成・操作	特殊・壁	一様性	浮遊性	実用性</																				



離隔要因D'、空間的離隔性D、面のフォルムF、面のパターンP等の観点から空間形態空間リストを作成した。

表-4.2.12 インテリア・シェルターの床-空間形態リスト



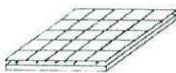

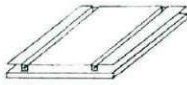
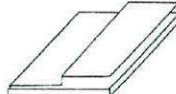
空間形態・リスト(床)	
 平面床	空間の特徴グループ、作品 A~M D'・離隔要因 a1 仕上げる a4 構造的 a2 空間的 b 用途的 a3 設備的 c 精神的 D・離隔性 D1 D2 D3 D4 並行離隔 1・斜め離隔 1・直角離隔 1・多重離隔 2・曲面離隔 2・段差離隔 2・中央離隔 F・面内フォルム P・面内パターン M・面内マテリアル L・面内照明
	 斜め床
	空間の特徴グループ、作品 C 45° の壁面 K-17 四季ファブリック D'・離隔要因 a1 仕上げる a4 構造的 a2 空間的 b 用途的 a3 設備的 c 精神的 D・離隔性 D1 D2 D3 D4 並行離隔 1・斜め離隔 1・直角離隔 1・多重離隔 2・曲面離隔 2・段差離隔 2・中央離隔 F・面内フォルム 1平面 P・面内パターン 1無地 M・面内マテリアル 4・1カーベット L・面内照明 3間接光
	 格子・光床
	空間の特徴グループ、作品 H 光る床 K-33 CAFÉ OXY乃木坂 D'・離隔要因 a1 仕上げる a4 構造的 a2 空間的 b 用途的 a3 設備的 c 精神的 D・離隔性 D1 D2 D3 D4 並行離隔 1・斜め離隔 1・直角離隔 1・多重離隔 2・曲面離隔 2・段差離隔 2・中央離隔 F・面内フォルム 1平面 P・面内パターン 2b・内設照明、3グリット M・面内マテリアル 9・2腐食ガラス L・面内照明 3拡散透過光
	 階段
	空間の特徴グループ、作品 A E F M K-11 カリオカ ビル・1F K-38 K-18 ミルクボーイ K-19 山荘T K-32 LUCCHINO BAR K-34 ISSEY MIYAKE MEN南青山 D'・離隔要因 a1 仕上げる a4 構造的 a2 空間的 b 用途的 a3 設備的 c 精神的 D・離隔性 D1 D2 D3 D4 並行離隔 1・斜め離隔 1・直角離隔 1・多重離隔 2・曲面離隔 2・段差離隔 2・中央離隔 F・面内フォルム P・面内パターン M・面内マテリアル L・面内照明
	 平面・スリット光
	空間の特徴グループ、作品 C 壁面化された展示 K-06 マーケットワン D'・離隔要因 a1 仕上げる a4 構造的 a2 空間的 b 用途的 a3 設備的 c 精神的 D・離隔性 D1 D2 D3 D4 並行離隔 1・斜め離隔 1・直角離隔 1・多重離隔 2・曲面離隔 2・段差離隔 2・中央離隔 F・面内フォルム 1・1平面、3a段差 P・面内パターン 1無地 M・面内マテリアル 3・2ラバータイル L・面内照明 3拡散透過光
	 段差床
	空間の特徴グループ、作品 F キャンティレバーの棚 K-34 ISSEY MIYAKE MEN南青山 D'・離隔要因 a1 仕上げる a4 構造的 a2 空間的 b 用途的 a3 設備的 c 精神的 D・離隔性 D1 D2 D3 D4 並行離隔 1・斜め離隔 1・直角離隔 1・多重離隔 2・曲面離隔 2・段差離隔 2・中央離隔 F・面内フォルム 1平面 P・面内パターン 1無地、2スリット・ヨコ M・面内マテリアル 2テラゾタイル L・面内照明 なし

表-4.2.13 インテリア・シェルターの床-空間形態リスト

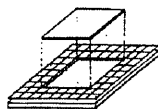
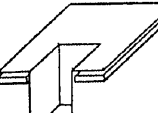
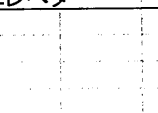
空間形態・リスト(床)										
	空間の特徴グループ、作品					空間の特徴グループ				
	B	ユニットの床								
	K-16	キロニー・インテリア・イン								
	D'・隔離要因					D'・隔離要因				
	a1	仕上げる	a4	構造的		a1	仕上げる	a4	構造的	
	a2	空間的	b	用途的		a2	空間的	b	用途的	
	a3	設備的	c	精神的		a3	設備的	c	精神的	
	D・隔離性					D・隔離性				
	D1	D2	D3	D4		D1	D2	D3	D4	
	並行距離	1・斜め距離	1・直角距離	1・多重距離		並行距離	1・斜め距離	1・直角距離	1・多重距離	
		2・曲面距離	2・段差距離	2・中央距離			2・曲面距離	2・段差距離	2・中央距離	
	F・面内フォルム					F・面内フォルム				
	P・面内パターン					P・面内パターン				
	M・面内マテリアル					M・面内マテリアル				
	L・面内照明					L・面内照明				
ユニットの床	7									
	空間の特徴グループ、作品					空間の特徴グループ、作品				
	G	光る自立体								
	K-05	エドワード本社ビル								
	D'・隔離要因					D'・隔離要因				
	a1	仕上げる	a4	構造的		a1	仕上げる	a4	構造的	
	a2	空間的	b	用途的		a2	空間的	b	用途的	
	a3	設備的	c	精神的		a3	設備的	c	精神的	
	D・隔離性					D・隔離性				
	D1	D2	D3	D4		D1	D2	D3	D4	
	並行距離	1・斜め距離	1・直角距離	1・多重距離		並行距離	1・斜め距離	1・直角距離	1・多重距離	
		2・曲面距離	2・段差距離	2・中央距離			2・曲面距離	2・段差距離	2・中央距離	
	F・面内フォルム					F・面内フォルム				
	P・面内パターン					P・面内パターン				
	M・面内マテリアル					M・面内マテリアル				
	L・面内照明					L・面内照明				
エレベーター	8									
	空間の特徴グループ、作品					空間の特徴グループ				
	D'・隔離要因					D'・隔離要因				
	a1	仕上げる	a4	構造的		a1	仕上げる	a4	構造的	
	a2	空間的	b	用途的		a2	空間的	b	用途的	
	a3	設備的	c	精神的		a3	設備的	c	精神的	
	D・隔離性					D・隔離性				
	D1	D2	D3	D4		D1	D2	D3	D4	
	並行距離	1・斜め距離	1・直角距離	1・多重距離		並行距離	1・斜め距離	1・直角距離	1・多重距離	
		2・曲面距離	2・段差距離	2・中央距離			2・曲面距離	2・段差距離	2・中央距離	
	F・面内フォルム					F・面内フォルム				
	P・面内パターン					P・面内パターン				
	M・面内マテリアル					M・面内マテリアル				
	L・面内照明					L・面内照明				

表-4.2.14 インテリア・シェルターの壁-空間形態リスト

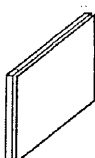
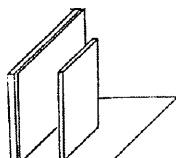
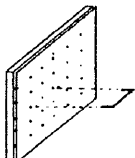
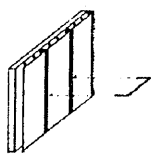
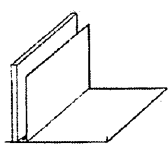
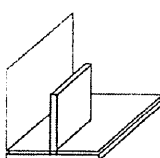
空間形態・リスト(壁)				
	空間の特徴グループ、作品			
	A~M			
				
				
				
				
				
				

表-4.2.15 インテリア・シェルターの壁-空間形態リスト

空間形態・リスト(壁)

空間の特徴グループ、作品

M	多重の壁
K-40	リビナヤマガワ
K-41	スパイラル

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

7 L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

J	ファサード、地と図の反転
K-29	DELGIN STUDIO ESPRIT

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

8 L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

F、H、L			
K-33	CAFE OXY乃木坂	K-27	
K-34	ISSEY MIYAKE MEN南青山		
K-35	きよ友	K-27	K-38
K-36	BAR COMBLE・静岡		
K-39	YOSHIKI HISINUMA		

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

9 L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

C	45° の壁面
K-12	カリオカ ビル・B1F
K-17	四季ファブリック

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

10 L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

H	
K-35	きよ友
K-37	バーレストラン ゼール

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

11 L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

M	多重壁	
K-30	ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店	
K-32	LUCCHINO BAR	
K-36	BAR COMBLE・静岡	
K-37	バーレストラン ゼール	
K-42	LAPUTA	K-4

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

12 L・面内照明

浮遊性

吊り壁

斜め壁(立面的)

既成概念の否定  
地と図の反転

ネガ・ポジの壁

2重壁  
壁内のドア壁

斜め壁(平面的)

2重壁  
曲面壁

表-4.2.16 インテリア・シェルターの壁-空間形態リスト

空間形態・リスト(壁)	
<p>2重壁 曲面壁(光る壁)</p>	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>H 光る壁</p> <p>K-23 第一紙行ショールーム</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム 3・1a曲面</p> <p>P・面内パターン 1・2b半透明</p> <p>M・面内マテリアル 9・2腐食ガラス</p> <p>L・面内照明 3全拡散照明</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D、E、H、K</p> <p>K-04 クラブジャッド、K-03</p> <p>K-07 エドワーズ アトリエ・東京</p> <p>K-18 ミルクボーイ</p> <p>K-23 第一紙行ショールーム</p> <p>K-31 ISSEY MIYAKE神戸</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム</p> <p>P・面内パターン</p> <p>M・面内マテリアル</p> <p>L・面内照明</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 2重壁、皮膚的壁</p> <p>K-25 ISSEY MIYAKE・パリ</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム 3・1曲面</p> <p>P・面内パターン 2・1スリット・タテ</p> <p>M・面内マテリアル 4布</p> <p>L・面内照明 なし</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 2重壁</p> <p>K-30 ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム 1・1平面、3・1b曲面</p> <p>P・面内パターン 3グリット</p> <p>M・面内マテリアル 7・1cエキスパンドメタル</p> <p>L・面内照明 なし</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 壁面化された収納</p> <p>K-07 エドワーズ アトリエ・東京</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム</p> <p>P・面内パターン</p> <p>M・面内マテリアル</p> <p>L・面内照明</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 2重壁、皮膚的壁</p> <p>K-25 ISSEY MIYAKE・パリ</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム 3・1曲面</p> <p>P・面内パターン 2・1スリット・タテ</p> <p>M・面内マテリアル 4布</p> <p>L・面内照明 なし</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 2重壁</p> <p>K-30 ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム 1・1平面、3・1b曲面</p> <p>P・面内パターン 3グリット</p> <p>M・面内マテリアル 7・1cエキスパンドメタル</p> <p>L・面内照明 なし</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 壁面化された収納</p> <p>K-07 エドワーズ アトリエ・東京</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム</p> <p>P・面内パターン</p> <p>M・面内マテリアル</p> <p>L・面内照明</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 2重壁</p> <p>K-30 ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム 1・1平面、3・1b曲面</p> <p>P・面内パターン 3グリット</p> <p>M・面内マテリアル 7・1cエキスパンドメタル</p> <p>L・面内照明 なし</p>
	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 壁面化された収納</p> <p>K-07 エドワーズ アトリエ・東京</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム</p> <p>P・面内パターン</p> <p>M・面内マテリアル</p> <p>L・面内照明</p>
<p>2重壁 曲面壁(立面的) 壁から天井へ</p>	<p>空間の特徴グループ、作品</p> <p>D 2重壁</p> <p>K-30 ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店</p> <p>D・分離要因</p> <p>a1 仕上げる a4 構造的</p> <p>a2 空間的 b 用途的</p> <p>a3 設備的 c 精神的</p> <p>D・分離性</p> <p>D1 D2 D3 D4</p> <p>並行分離 1・斜め分離 1・直角分離 1・多重分離</p> <p>2・曲面分離 2・段差分離 2・中央分離</p> <p>F・面内フォルム 1・1平面、3・1b曲面</p> <p>P・面内パターン 3グリット</p> <p>M・面内マテリアル 7・1cエキスパンドメタル</p> <p>L・面内照明 なし</p>



表-4.2.17 インテリア・シェルターの壁-空間形態リスト

空間形態・リスト(壁)

空間の特徴グループ、作品

F	キャンティレバーのテーブル
K-20	イッセイ ミヤケ・フロムファースト
K-34	ISSEY MIYAKE MEN南青山

D'・離隔要因			
a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
----	----	----	----

並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	1・1平面
----------	-------

P・面内パターン	1・1無地
----------	-------

M・面内マテリアル	7・2アルミ
-----------	--------

L・面内照明	なし
--------	----

多様性の壁

多重壁

空間の特徴グループ、作品

M	多重の壁
K-32	LUCCHINO BAR
K-37	バーレストラン ゼール
K-40	リビナヤマギワ
K-41	スパイラル
K-42	LAPUTA

D'・離隔要因			
a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
----	----	----	----

並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	
----------	--

P・面内パターン	
----------	--

M・面内マテリアル	
-----------	--

L・面内照明	
--------	--

浮遊性  
壁からキャンティレバー  
(19・1, 19, 2リスト末に有り)

19

空間の特徴グループ、作品

C	壁面化された展示
K-2	レストラン サーカス
K-6	マーケットワン
K-9	ショップ・ヴォーグ

D'・離隔要因			
a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
----	----	----	----

並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	4凹凸面
----------	------

P・面内パターン	3グリット
----------	-------

M・面内マテリアル	1・4プラスチック
-----------	-----------

L・面内照明	なし
--------	----

凹壁面・格子柵

20

壁面から45°の什器

23

空間の特徴グループ、作品

G	光る自立体
K-15	ミューズ

D'・離隔要因			
a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
----	----	----	----

並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	1平面
----------	-----

P・面内パターン	1無地、2b半透明
----------	-----------

M・面内マテリアル	8アクリル、9ミラーガラス
-----------	---------------

L・面内照明	3全拡散照明
--------	--------

空間の特徴グループ、作品

D	2重壁、皮膚の壁
K-28	ESPRIT・香港

D'・離隔要因			
a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
----	----	----	----

並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	1平面、4凹面
----------	---------

P・面内パターン	3グリット
----------	-------

M・面内マテリアル	7・1bスチールネット
-----------	-------------

L・面内照明	なし
--------	----

中央  
内から外への什器

浮遊性  
2重壁  
皮膚の壁面

21

空間の特徴グループ、作品

E	インテリアからエクステリアへの一体化
K-18	ミルクボーイ

D'・離隔要因			
a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
----	----	----	----

並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	
----------	--

P・面内パターン	
----------	--

M・面内マテリアル	
-----------	--

L・面内照明	
--------	--

24

表-4.2.18 インテリア・シェルターの壁-空間形態リスト

空間形態・リスト(壁)

空間の特徴グループ、作品

B	棚受けユニット・システム		
K-08	ショップ 神戸		
K-13	ショップ・ファッション・イン		

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔 2・曲面離隔	1・直角離隔 2・段差離隔	1・多重離隔 2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

G, L	光る自立体、自立する空間		
K-03	K-22	K-38	
K-05	K-30	K-39	
K-08	K-33	K-42	
K-10	K-36		
K-21	K-37		

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔 2・曲面離隔	1・直角離隔 2・段差離隔	1・多重離隔 2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

I	スペース・フレーム		
K-24	ヤマギワ小会議室・東京		

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔 2・曲面離隔	1・直角離隔 2・段差離隔	1・多重離隔 2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

F	キャンティレバー		
K-21	スパーヘアー コイケ		

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔 2・曲面離隔	1・直角離隔 2・段差離隔	1・多重離隔 2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

L・面内照明

空間の特徴グループ、作品

M	多重壁		
K-42	LAPUTA		

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔 2・曲面離隔	1・直角離隔 2・段差離隔	1・多重離隔 2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

L・面内照明

空間の特徴グループ、作品


D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔 2・曲面離隔	1・直角離隔 2・段差離隔	1・多重離隔 2・中央離隔

F・面内フォルム

P・面内パターン

M・面内マテリアル

L・面内照明

中央単独  
自立する展示

25

19・1

中央連続  
列柱のオブジェ

26

19・2

中央  
スペース・フレーム

27

表-4.2.19 インテリア・シェルターの壁-空間形態リスト



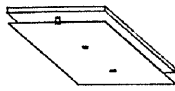

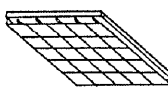
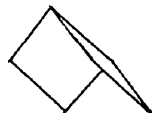
空間形態・リスト(天井)				
	空間の特徴グループ、作品			
	A~M			
	D'・離隔要因			
	a1 仕上げる	a4 構造的		
	a2 空間的	b 用途的		
	a3 設備的	c 精神的		
	D・離隔性			
平面天井	D1	D2	D3	D4
	並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
		2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔
	F・面内フォルム			
	P・面内パターン			
	M・面内マテリアル			
	L・面内照明			
	1			
	空間の特徴グループ、作品			
	C			
	K-12	カリオカ	ビル・B1F	
	D'・離隔要因			
	a1 仕上げる	a4 構造的		
	a2 空間的	b 用途的		
	a3 設備的	c 精神的		
	D・離隔性			
斜め天井1	D1	D2	D3	D4
	並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
		2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔
	F・面内フォルム			
	P・面内パターン			
	M・面内マテリアル			
	L・面内照明			
	4			
	空間の特徴グループ、作品			
	C	D	F	G
	H	K	L	M
	K-4	K-21	K-27	
	K-10	K-22	K-32	
	K-12	K-23	K-33	
	K-20	K-26		
	D'・離隔要因			
	a1 仕上げる	a4 構造的		
	a2 空間的	b 用途的		
	a3 設備的	c 精神的		
	D・離隔性			
平面天井 DL照明	D1	D2	D3	D4
	並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
		2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔
	F・面内フォルム			
	P・面内パターン			
	M・面内マテリアル			
	L・面内照明			
	2			
	空間の特徴グループ、作品			
	J			
	K-29	ファサード地と図の反転		
		DELGIN STUDIO ESPRIT		
	D'・離隔要因			
	a1 仕上げる	a4 構造的		
	a2 空間的	b 用途的		
	a3 設備的	c 精神的		
	D・離隔性			
斜め天井2	D1	D2	D3	D4
	並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
		2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔
	F・面内フォルム			
	P・面内パターン			
	M・面内マテリアル			
	L・面内照明			
	5			
	空間の特徴グループ、作品			
	B			
	K-13	棚ユニット・システム		
		ショップ ファッション・イン		
	D'・離隔要因			
	a1 仕上げる	a4 構造的		
	a2 空間的	b 用途的		
	a3 設備的	c 精神的		
	D・離隔性			
平面天井 光る天井	D1	D2	D3	D4
	並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
		2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔
	F・面内フォルム			
	P・面内パターン			
	M・面内マテリアル			
	L・面内照明			
	3			
	空間の特徴グループ、作品			
	L			
	K-38	自律する空間		
		オブローモフ・福岡		
	D'・離隔要因			
	a1 仕上げる	a4 構造的		
	a2 空間的	b 用途的		
	a3 設備的	c 精神的		
	D・離隔性			
斜め天井3	D1	D2	D3	D4
	並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
		2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔
	F・面内フォルム			
	P・面内パターン			
	M・面内マテリアル			
	L・面内照明			
	6			

表-4.2.20 インテリア・シェルターの壁-空間形態リスト

空間形態・リスト(天井)

空間の特徴グループ、作品

H	光る床、壁、天井
K-31	ISSEY MIYAKE神戸
K-35	きよ友

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	3・1a曲面
P・面内パターン	1・1無地
M・面内マテリアル	5・4ラフン吹き付け

7 L・面内照明	なし
----------	----

段差天井1

空間の特徴グループ、作品

M	多重壁
k-41	スパイラル

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	
P・面内パターン	
M・面内マテリアル	

10 L・面内照明	
-----------	--

曲面天井

曲面天井  
吊り天井

空間の特徴グループ、作品

H, L	
K-35	きよ友
K-36	BAR COMBLE・静岡
K-39	YOSHIKI HISINUMA

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	3・1a曲面
P・面内パターン	2、3スリット、グリット
M・面内マテリアル	8・2アクリル

8 L・面内照明	3全拡散光
----------	-------

段差天井2

空間の特徴グループ、作品

A	空間の錯視
K-19	山荘T

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	1平面2・1a折れ面
P・面内パターン	1無地
M・面内マテリアル	

11 L・面内照明	
-----------	--

空間の特徴グループ、作品

C	壁面化された展示
K-06	マーケットワン

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	1平面、3・1曲面
P・面内パターン	1無地
M・面内マテリアル	8・3FRP

9 L・面内照明	なし
----------	----

天井からファサードへ

空間の特徴グループ、作品

E	一体性のファサードとインテリア
K-11	カリオカ ビル・1F

D'・離隔要因

a1	仕上げる	a4	構造的
a2	空間的	b	用途的
a3	設備的	c	精神的

D・離隔性

D1	D2	D3	D4
並行離隔	1・斜め離隔	1・直角離隔	1・多重離隔
	2・曲面離隔	2・段差離隔	2・中央離隔

F・面内フォルム	1・1平面
P・面内パターン	2・2b半透明
M・面内マテリアル	透過面

12 L・面内照明	3全拡散照明
-----------	--------

曲面天井(2R)

表-4.2.21 インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間形態リスト(時代順)

[illegible]

			空間形態・リスト(時代順)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
作品番号 ※特記のブルーで示す	作品名	空間形態	床												壁												天井								計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			床												壁												天井																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	1	2	3	4	5		6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
H 33	CAFE OXY /木版		1									1																	1		1									7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
F 34	BSEY MOYAKE MEN蔵書山			1								1																			1									8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
H 35	奥友			1											1																								8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
H 36	BAR COMBLE・静岡			1												1																							7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
M 37	バーレストラン ゼール																1																						7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
L 38	オブローモフ・福岡					1																																	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
L 39	YOSHIKI HIS INUMA					1																																	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
M 40	リビナマギワ										1																												6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
M 41	スバイラル											1																											7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
M 42	LAPUTA											1																											7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	計		10	1	0	0	2	1	0		10	0	0	2	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	69																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	累計		42	1	1	0	1	1	1	1	39	1	1	1	1	1	2	1	2	7	1	1	1	6	1	1	1	1	1	3	1	1	13	1	39	11	1	1	23	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1</



表-4.2.22 インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間形態リスト(空間特徴のグループ)

空間形態のグループ		空間形態・リスト(空間特徴のグループ順)																																					
		床										壁										天井																	
		作品番号	作品名	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計			
A	空間形態	1	クラブ カッパドール																																				
		19	山荘																																				
		3	貴金属タカラ堂																																				
		8	ショップ I 神戸																																				
		13	ショップ ファッション・イン																																				
		16	キヨシーインテリヤン																																				
		2	レストラン サークス																																				
		6	マーケットウシ																																				
		9	ショップ ヴォーグ																																				
		12	カリオカ ビル・B1F																																				
		17	四季ファブリック																																				
D	空間形態	4	クラブジヤ																																				
		7	エドワード アリス・東京																																				
		25	ISSEY MIYAKE(ソウ)																																				
		28	ESPRIT・香港																																				
E	空間形態	30	ISSEY MIYAKE 銀座駅前店																																				
		11	カリオカ ビル・1F																																				
E	空間形態	18	ミルクボーイ																																				
		累計		10	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	94		

空間形態のグループ		空間形態・リスト(空間特徴のグループ順)																																					
		床										壁										天井																	
		作品番号	作品名	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計			
F	空間形態	20	イトセイ ミヤウツロムファースト																																				
		21	イトセイ ミヤウツロムファースト																																				
		34	ISSEY MIYAKE 銀座青山																																				
		累計		19	1	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164		
G	空間形態	5	エドワード本社ビル																																				
		10	カネボウ化粧品ビル																																				
		14	プロヴィンツ・銀座																																				
		15	ミュージアム																																				
		23	第一銀行ビル																																				
		31	ISSEY MIYAKE神戸																																				
		33	CAFE OXYGEN 木塚																																				
		35	きよ友																																				
		36	BAR COMBLE・静岡																																				
		累計		19	1	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164		
H	空間形態	24	ヤマギワ小会議室・東京																																				
		29	DELIGN STUDIO ESPRIT																																				
		26	ISSEY MIYAKE 銀座北馬																																				
		27	ISSEY MIYAKE-NY																																				
		22	カクティ(美容室)																																				
		38	オプロモフ・福岡																																				
		39	YOSHIKI HISINUMA																																				
		累計		19	1	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164		
I	空間形態	32	LUCCHINO BAR																																				
		37	バーレストラン セール																																				
		40	リビナヤマギワ																																				
		41	スパイラル																																				
		42	LAPUTA																																				
		累計		5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35			
		合計		42	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			

イレバーと吊り構造)と光との共存により、それらの空間的浮遊性を獲得していると考えられる。

・天井は12のタイプの空間形態がある。平面の次に、後期に曲面吊り・光透過面・天井が出現し、壁と同様に、天井のインテリア・シェルターの浮遊性を創出している。

#### 離隔要因D'と空間的離隔性Dの関係性について

床、壁、天井について離隔要因と空間的離隔性との関係を図-4.2.2~4.2.4に示す。離隔要因D'と空間的離隔性Dの関係性について考察を以下に示す。

- ・空間離隔要因と並行離隔を共にもつものが最も多く、38作品であった。次に多いのが、空間離隔要因と斜め離隔を共に有するものが16作品あり、次に空間離隔要因と曲面離隔をともに有するものが14作品あった。次に空間離隔要因と多重離隔性、空間離隔要因と中央離隔性と続き、
- ・精神離隔要因と多重離隔性の場合（11作品）  
精神離隔要因と中央離隔性の場合（11作品）
- ・用途離隔要因と直角離隔性を共に有するものが1作品であった。

室内形態をまとめたものを図-4.2.5に示す。

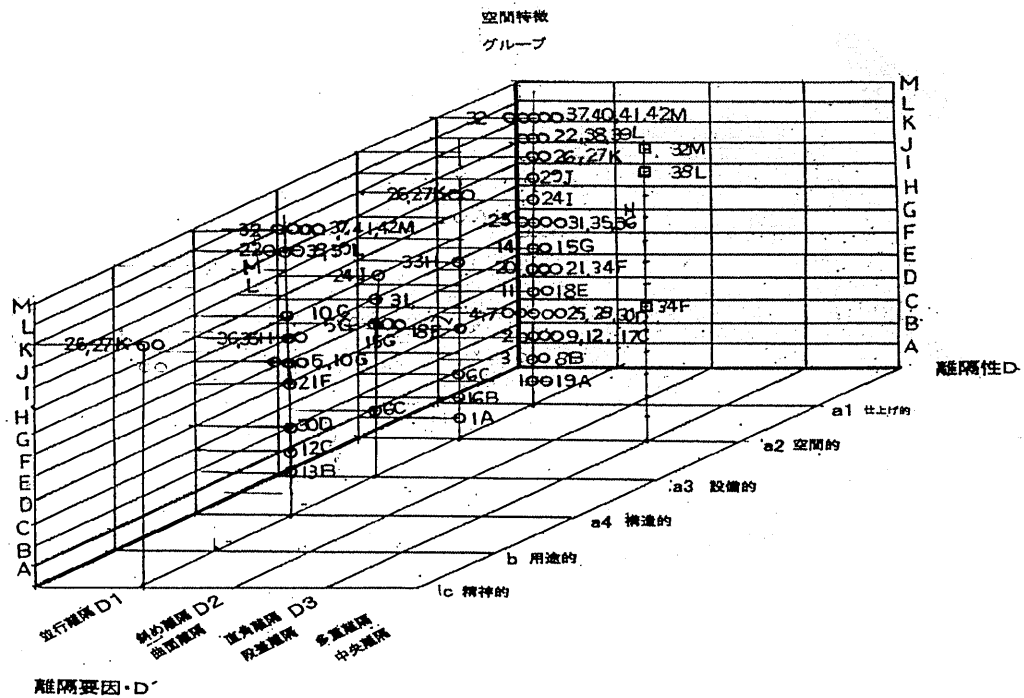


図-4.2.2 床における隔離要因D<sup>+</sup>と空間的離隔性D、空間特徴のグループにおける作品分布

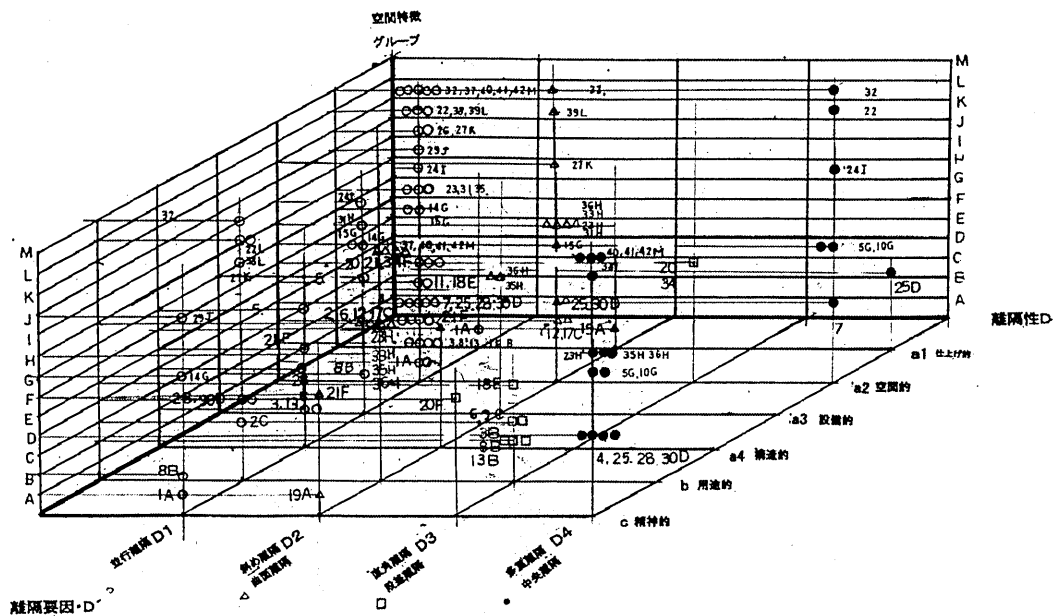


図-4.2.3 壁における隔離要因D<sup>+</sup>と空間的離隔性D、空間特徴のグループにおける作品分布





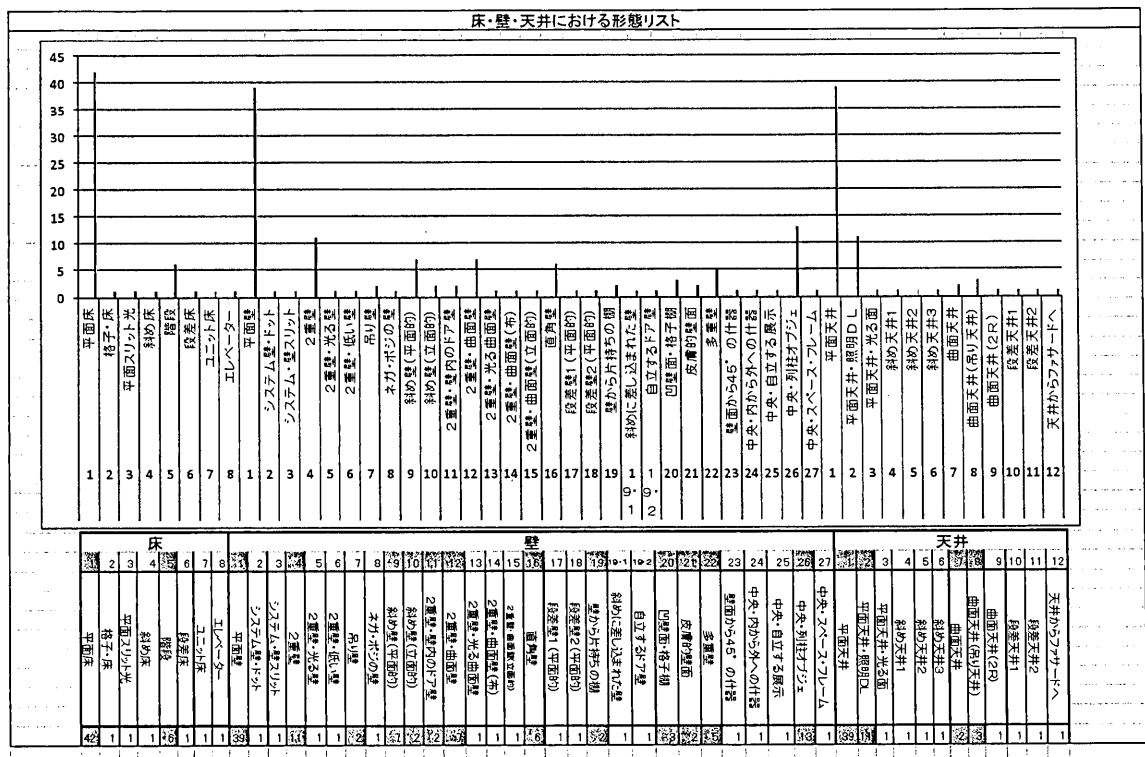


図-4.2.5 インテリア・シェルターの床、壁、天井における空間形態リスト

#### 4.2.2 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のフォルムF

表-3.2.3 および表-4.2.23 より、床、壁、天井とも平面フォルムがほぼ全作品に見られる。次に曲面タテのフォルム、線状のフォルム、凹面のフォルム、折れ面タテのフォルムの順に多い。データ・シート1、2より、K-36「BAR COMNBLE」を例に説明すると、もっとも周囲にあるインテリア・シェルターの床、壁、天井は平面フォルムにてほぼ直方体の面構成である。手前にある斜めの壁W2、曲面の壁W3と中央に向かって変化したフォルムが存在している。

これは、倉俣のインテリアデザインの作品において、周囲の空間である床、壁、天井の面において平面フォルムが多いのは、空間表現するときに主張したい主体的表現と、主張を抑えたいあるいは消去したい従的表現として捉えた時に、室内の周囲・背面の床、壁、天井は従的表現として扱われている時が多く、そのとき平面フォルムである場合が多い。室内の手前にある面、鑑賞者、体験者、顧客のもっとも近い面の床、壁、天井が主体である場合が多く、曲面タテ、線状、凹面、折れ面タテのフォルムが現れている場合が多いと考えられる。後期になるにつれ、多様なフォルムの複合が多く中央部において主張的表現がなされている場合が多く、周囲部において従的、消去的表現が活用され、平面フォルムの使用が多い。このことが浮遊感を創性させていることにつながると考えられる。

#### 4.2.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のパターンP

・表-3.2.3 および表-4.2.24 より、床、壁、天井の全体として無地、グリット、スリット、ドット、半透明（透過光）の順に多く、後期ほど多様なパターンの複合が多くなる。消去的表現は無地パターンが多い。

マテリアルでの考察と同様に、周囲の空間である床、壁、天井の面において無地のパターンが多いのは、空間表現するときに主張したい主体的表現と、主張を抑えたいあるいは消去したい従的表現として捉えた時に、室内の周囲・背面の床、壁、天井は従的表現として扱われている時が多く、そのとき無地パターンである場合が多い。室内の手前にある面、鑑賞者、体験者、顧客のもっとも近い面の床、壁、天井が主体である場合が多く、グリット、スリット、ドットのパターンが現れている場合が多いと考えられる。後期になるにつれ、多様なパターンの複合が多く中央部において主張的表現がなされている場合が多く、周囲部において従的、消去的表現が活用され、無地パターンが多い。これが中央部の浮遊性を演出し、全体としての浮遊感の創生につながると考えられる。

床、壁、天井毎に各作品における離隔要因、空間的離隔性、フォルム、パターン、頻度についてまとめ、表-4.2.25～4.2.30に示す。

作品番号・作品名		インテリア・ヴァルター床・壁・天井における面内フェルムE(空間格納のグルーブ側)																													
		床・E										壁・W																			
		面のフェルムE										面のフェルムE																			
		平面	壁	天井	面内	面外	面内	面外	面内	面外	面内	壁	天井	面内	面外	面内	面外	面内	面外	面内	面外										
A	K=1 クラウド・サイド・	1	2	3	1a	1b	2a	2b	3a	3b	4	1a	1b	2a	2b	1	2	3	1a	1b	2a	2b	3a	3b	4	1a	1b	2a	2b	1	2
	-01 山崎	1																													
	-03 貴金属加工	1																													
	-13 ショップ フォノグラフィ	1																													
	-16 木口ローランド・P・イン	1																													
C	-01 フォノグラフィ	1																													
	-03 ユニバーサル	1																													
	-12 カリフォルニア・P・E	1																													
	-13 四季の風景	1																													
	-14 四季の風景	1																													
F	-11 カリフォルニア・P・E	1																													
	-12 ユニバーサル	1																													
	-20 イェイ・ミヤケ・P・D・M・フォー	1																													
	-21 スーパー・P・D・M・フォー	1																													
	-34 ISSEY MIYAKE MEN'S	1																													
G	-5 エドワード・P・D・M・フォー	1																													
	-10 カリフォルニア・P・D・M・フォー	1																													
	-14 プロジェクト・P・D・M・フォー	1																													
	-15 カリフォルニア・P・D・M・フォー	1																													
	-22 第一・P・D・M・フォー	1																													
H	-23 ISSEY MIYAKE P・D・M・フォー	1																													
	-33 CAFE OXYGEN	1																													
	-34 CAFE OXYGEN	1																													
	-35 CAFE OXYGEN	1																													
	-36 BAR COMPTON	1																													
I	-24 ヤマキウ・P・D・M・フォー	1																													

		床・F								壁・W								天井・C							
		面内のバターンP								面内のバターンP								面内のバターンP							
		P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4								
A	-1 クラブカサナール =19 山荘工(知)	1				1				1				1											
B	=3 真金風かたな集 =8 ショップ フォンテン・イン =13 ショップ フォンテン・イン =16 カリオカビル・B1F 小計	1				1				1				1											
C	=2 レストラン ナーカス =6 ユークロフトワン =9 ショップ フォンテン =12 カリオカビル・B1F =17 四葉スタジオ 小計	1				1				1				1											
D	=4 クラブリブ =7 エドワード・プラザ・東原 =25 ISSBY MIYAKEノマリ =28 自由ビル・西馬場 =30 ISSBY MIYAKE南馬場西馬場 小計	1				1				1				1											
E	=11 カリオカビル・1F =18 カリオカビル 小計	1				1				1				1											
F	=20 イグナイ トウキョウメアース =21 スーパーヘアー ミイダ =34 ISSBY MIYAKE MENTEN青山 小計	1				1				1				1											
G	=5 エドワード本社ビル =10 カネボウ百貨店ビル(伊勢田前) =14 アパレルビル(丸の内)サイプレス =15 サムズ 小計	1				1				1				1											
H	=23 第一銀行シールドーム =31 ISSBY MIYAKE神戸 =33 GAREEの本店 =35 赤坂 =38 BAB COMBLE神楽 小計	1				1				1				1											
I	=24 ヤマデワ小倉織業・東原 小計	1				1				1				1											
J	=29 ZELBY STUDIO ESPR 小計	1				1				1				1											
K	=26 ISSBY MIYAKE銀座松屋 =27 ISSBY MIYAKEミューゼ 小計	1				1				1				1											
L	=22 カクテル(美登堂) =38 オブローモフ・福岡 =39 YOSHINOBU INBIMMA 小計	1				1				1				1											
M	=32 UGUCHINGO BAR =37 パーレスダンス・ゼロル =40 リビヤヤマデワ =41 スパイラル =42 L&MATA 小計	1				1				1				1											
	小計	35	0	1	0	0	0	0	0	25	0	8	5	12	6	9	0								



表-4.2.25 床における離隔要因D<sup>\*</sup>、空間的離隔性D、面内フォルムF、面内パターンP（時代順）[illegible]

表-4.2.26 壁における離隔要因D'、空間的離隔性D、面内フォルムF、面内パターンP（時代順）

[illegible]

表一4.2.27 天井における離隔要因D<sup>+</sup>、空間的離隔性D、面内フォルムF、面内パターンP（時代順）

パターン 番号		作品番号・作品名		天井における離隔要因・D <sup>+</sup> 、空間的離隔性・D、面内のフォルム・F、面内のパターン・P(時代順)																																					
				離隔要因D <sup>+</sup>					面の離隔性・D				面のフォルムF										面のパターンP																		
				天井	壁面	床面	柱	開口	天井	壁面	床面	柱	開口	天井	壁面	床面	柱	開口	天井	壁面	床面	柱	開口	天井	壁面	床面	柱	開口	天井	壁面	床面	柱	開口								
				a1	a2	a3	a4	b	D1	D2	D3	D4	F1	F2	F3	F4	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16	P17	P18							
				1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18							
				1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18							
A	1	クラブ カッザードール																														5									
C	2	レストラン サークス																														6									
B	3	黄金屋タカラ堂																														7									
D	4	クラブジャッド																														5									
G	5	イトワール本社ビル																														6									
B	6	マーケットウイン																														7									
D	7	エフーズ カリエ東京																														6									
B	8	ショップ 1 神戸																														5									
C	9	ショップ ウォーク																														6									
G	10	カネボウ化粧品ディスプレイ(什器展示)																														4									
E	11	カリオカ ビル・1F																														6									
C	12	カリオカ ビル・B1F																														7									
B	13	ショップ ファッション・イン																														6									
G	14	プロジェクト・ビル・ワーフス																														6									
G	15	ミュージアム																														4									
B	16	キヨニー・イン・デザイン																														7									
C	17	四季フェスティバル																														9									
E	18	ミルクボーイ																														7									
A	19	山王																														7									
F	20	イッセイ ミヤケ・フロム・ファースト																														7									
F	21	イッセイ ミヤケ・フロム・ファースト																														7									
I	22	カクティ(美容室)																														7									
H	23	第一銀行・ホール・ーム																														5									
J	24	ヤマギワ小会議室・東京																														9									
D	25	ISSEY MIYAKE・パリ																														7									
K	26	ISSEY MIYAKE・銀座本店																														7									
K	27	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク																														7									
D	28	ESPRIT・香港																														7									
J	29	DELGIN STUDIO ESPRIT																														8									
D	30	ISSEY MIYAKE・名古屋西武百貨店																														9									
H	31	ISSEY MIYAKE・神戸																														6									
M	32	LUCCINO BAR																														5									
H	33	CAFE OXY・乃木坂																														5									
F	34	ISSEY MIYAKE・MEN・銀座山																														5									
H	35	東止坂																														12									
H	36	BAR COMBLE・静岡																														11									
M	37	バー・レストラン・ゼール																														7									
L	38	オプロ・モフ・福岡																														9									
I	39	YOSHIOKI HISANUMA																														10									
M	40	リ・ナヤギワ																														6									
M	41	ス・バイナル																														6									
M	42	LAPUTA																														6									
		計	10	37	34	9	1	11	39	2	7	1	1	3	37	3	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	5	1	3	2	14	1	9	27



表一4.2.28 床における離隔要因D'、空間的離隔性D、面内フォルムF、面内パターンP（空間特徴のグループ）

[illegible][illegible]

グループ	作品番号・作品名	離隔要因D										面の離隔性・D				面のフォルムF										面のパターンP										計				
		仕上り					使用目的					形状的離隔性				平面				線				点				面				面					面			
		a1	a2	a3	a4	a5	b1	b2	b3	b4	b5	c1	c2	c3	c4	d1	d2	d3	d4	e1	e2	e3	e4	f1	f2	f3	f4	g1	g2	g3	g4	h1	h2	h3	h4					
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4					
A	K-1 クラブカサドル	1	1				1	1																																6
	-19 山荘(別荘)		1					1																																8
B	小計																																							16
	-3 農家風タカラ堂		1		1	1		1																																8
	-8 ショップ I 神戸		1	1	1	1		1																																10
	-13 ショップ ファッション・イン			1	1	1		1																																7
	-16 キロニー・インテリア・イン		1					1																																5
C	小計																																							38
	-2 レストラン サークス		1	1		1		1																																8
	-6 マーケットワン			1		1																																		7
	-9 ショップ ヴォーグ		1	1		1		1																																10
	-12 カリオカ ビル・BIF		1			1		1																																7
D	小計		1	1				1																																18
	-4 クラブジャッド		1	1				1																																12
	-7 エドワーズ アトリエ・東京		1	1				1																																9
	-25 ISSEY MIYAKE パリ		1	1				1																																9
	-28 ESPRIT・香港		1	1		1		1																																11
E	小計		1	1		1																																		

98



表-4.2.30 天井における離隔要因D、空間的離隔性D、面内フォルムF、面内パターンP（空間特徴のグループ）

天井における離隔要因・D、空間的離隔性・D、面内のフォルム・F、面内のパターン・P(空間特徴のグループ順)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
グループ名	作品番号・作品名	離隔要因D					面の離隔性・D										面内のフォルムF										面内のパターンP																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		仕上げ	空間的	用途的	精神的	社会的	終極離隔性	平面離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性	面内離隔性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
																																		D2		D3		D4		F1		F2		F3		F4		P1		P2		P3		P4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
																																		a1	a2	a3	a4	a5	D1	1	2	1	2	1	2	1	2	3	1a	1b	2a	2b	3a	3b	4	1a	1b	2a	2b	1	2	1	2	3	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2

### 4-3 インテリア・シェルターのカラーとマテリアルと照明の考察

#### 4.3.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のカラーC

表-3.3.1、表-3.3.2 および年代順、空間的特徴のグループによる、カラーの出現を示す表-4.3.1~4.3.3 より、床はグレー、ブラックのダーク・トーンが多く、床・壁・天井に白系、グレー系が多い。下部に安定感、上部に開放・浮遊性あるいは白紙的、中立的空間を形成している。前期・後期において、インテリア・シェルター、家具の色に、トーマイの亚克力やガラスなどのトーマイの素材の色が多く見られる。それにより、中央にある家具などの構造体が消去され、商品が空間に浮遊される状況が可能になった。結果として、重力の開放、空間の消去性、空間の浮遊性、商品の浮遊性が形成された。また、赤、黄色、青色のテーブル・イスの色は、色の浮遊性を形成している。後期1980年以後、空間の曲面化と共に、有彩色が出現し、主に、塗装の色、金属の色、ガラスの色、プラスチックの色として現れ、メタリック素材色・トーマイ素材色と光の効果によって、視覚的变化、気持ちの変化、解釈の多様性を獲得した。K-26,27「I S S E Y M I Y A K Eの作品」では、床、壁にスターピース・テラゾタイルが使われ、赤、黄色、緑、青色の小片が散りばめられたドットの集合体の色の表現、K-35「きよ友」以後、浮遊化した空間にメタリック色（特に、緑、青、赤紫、シルバー）が壁、支柱部に頻繁に出現するようになる。床・壁・天井のトーンダイアグラムは床・壁、床・壁・天井と同トーンすることが多くなり、これは、インテリアシェルターを中性化・白紙化していると推測される。これを基に、壁・天井の多重化が行われた時、手前にある浮遊化した空間の重要性を示し、中央部における空間表現の自由な表現、すなわち中央部の空間の色の浮遊性を示すことにつながったと考えられる。

#### ・クラスター分析

カラーについての出現頻度、表-3.3.1を用いて、数量化Ⅲ類による分析を行い2軸を得た、サンプルスコアを用いWard法でクラスター分析した結果、5グループに分類できた。それを図-4.3.2に示す。カテゴリー数量とサンプルスコアの散布図を図4.3.1に示す。

床、壁、天井のダイアグラムの出現度数のクラスター分析のグループA1については、空間特徴グループのK（床と壁の同一素材）・床、壁、天井のダイアグラムは、2fw（床・壁の2面が同トーン）であり、C（壁面化された収納）・ダイアグラムは、1f（床がダーク・トーン）であり、またダイアグラム2wc（壁・天井の2面が同トーン）がある。クラスターA2については、空間特徴F（キャンティレバーのテーブル、棚）・ダイアグラムは、3・2（床・壁・天井の3面がグレー）である。クラスターA3については、1f（床がダーク・トーン）が多い。クラスターA4は、ダイアグラム3・1（床・壁・天井3面が白）である。クラスターB1は、空間特徴

H (光る床・壁・天井) ダイアグラム3・2 (床・壁・天井の3面がグレー) である。クラスターC1は、ダイアグラム3・3 (床・壁・天井の3面が黒) である。

表-4.3.1 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のカラーC

インテリア・シェルターの属性と床、壁、天井における空間形態の生成操作

面内カラー・C (空間特徴のグループ)

作品番号	グループ	作品名	床	壁	天井	無彩色					有彩色										メタリック	トーン	計		
						白	グレー	黒	赤色	橙色	黄色	黄緑色	緑色	青緑色	青色	紺色	紫色	茶色	赤紫色						
1	A	クラブ カッサドール	1F	1F	1F	1	1	1																	
19	A	山荘T	1F	1F	1F	1	1	1																	
3	B	黄金屋タカラ堂	1F	1F	1F	1	1	1																	
8	B	ショップ I 神戸	1F	1F	1F	1	1	1																	
13	B	ショップ ファッション・イン	1F	1F	1F	1	1	1																	
16	B	キロニー・インテリア・イン	1F	1F	1F	1	1	1																	
2	C	レストラン サーカス	1F	1F	1F	1	1	1																	
6	C	マーケットワン	1F	1F	1F	1	1	1																	
9	C	ショップ ヴォーグ	1F	1F	1F	1	1	1																	
12	C	カリオカ ビル・B1F	1F	1F	1F	1	1	1																	
17	C	四季ファブリック	1F	1F	1F	1	1	1																	
4	D	クラブジャド	2F	2F	2F	1	1	1																	
7	D	エドワーズ アトリエ・東京	1F	1F	1F	1	1	1																	
25	D	ISSEY MIYAKE・パリ	1F	1F	1F	1	1	1																	
28	D	ESPRIT・香港	1F	1F	1F	1	1	1																	
30	D	ISSEY MIYAKE渋谷西武百貨店	1F	1F	1F	1	1	1																	
11	E	カリオカ ビル・1F	1F	1F	1F	1	1	1																	
18	E	ミルクボーイ	1F	1F	1F	1	1	1																	
小計						29	13	10	1	1												4		58	

インテリア・シェルターの属性と床、壁、天井における空間形態の生成操作

面内カラー・C (空間特徴のグループ)

作品番号	グループ	作品名	床	壁	天井	無彩色					有彩色										メタリック	トーン	計		
						白	グレー	黒	赤色	橙色	黄色	黄緑色	緑色	青緑色	青色	紺色	紫色	茶色	赤紫色						
20	F	イッセイ ミヤケ・フロムファースト	1F	1F	1F	1	1	1																	
21	F	スパーヘアー コイケ	1F	1F	1F	1	1	1																	
34	F	ISSEY MIYAKE MEN南青山	1F	1F	1F	1	1	1																	
5	G	エドワード本社ビル	1F	1F	1F	1	1	1																	
10	G	カネボウ化粧品ディスプレイ (什器屋)	1F	1F	1F	1	1	1																	
14	G	プロジェクト・ルミ・サーフェス	1F	1F	1F	1	1	1																	
15	G	ミュージズ	1F	1F	1F	1	1	1																	
23	H	第一銀行ショールーム	1F	1F	1F	1	1	1																	
31	H	ISSEY MIYAKE神戸	1F	1F	1F	1	1	1																	
33	H	CAFÉ OXY乃木坂	1F	1F	1F	1	1	1																	
35	H	きよ友	1F	1F	1F	1	1	1																	
36	H	BAR COMBLE・静岡	1F	1F	1F	1	1	1																	
24	I	ヤマギワ小会議室・東京	1F	1F	1F	1	1	1																	
28	J	ESPRIT 2	1F	1F	1F	1	1	1																	
26	K	ISSEY MIYAKE・銀座松屋	1F	1F	1F	1	1	1																	
27	K	ISSEY MIYAKE・ニューヨーク	1F	1F	1F	1	1	1																	
小計						17	20	2			6	3					1					4		53	

インテリア・シェルターの属性と床、壁、天井における空間形態の生成操作

面内カラー・C (空間特徴のグループ)

作品番号	グループ	作品名	床	壁	天井	無彩色					有彩色										メタリック	トーン	計		
						白	グレー	黒	赤色	橙色	黄色	黄緑色	緑色	青緑色	青色	紺色	紫色	茶色	赤紫色						
22	L	カクティ (美春堂)	1F	1F	1F	1	1	1																	
38	L	オブローモフ・福岡	1F	1F	1F	1	1	1																	
39	L	YOSHIKI HISNUMA	1F	1F	1F	1	1	1																	
32	M	LUCCHINO BAR	1F	1F	1F	1	1	1																	
37	M	バーレストラン ゼール	1F	1F	1F	1	1	1																	
40	M	リビナヤマギワ	1F	1F	1F	1	1	1																	
41	M	スパイラル	1F	1F	1F	1	1	1																	
42	M	LAPUTA	1F	1F	1F	1	1	1																	
小計						10	6	1	2	4	5		1		2	1				1	1	2	36		
合計						56	39	13	3	11	8		1		3	1				1	5	6	147		

表—4.3.2 面内カラーC・ダイアグラムの分布

面内・カラー・トーンC 考察													
空間特徴・グループにおけるインテリア・シェルターの床、壁、天井面のカラーC・ダイアグラムの分布													
年代	A 空間の 錯視	B ■ ユニット システム  ユニットの 床	C 壁面化 された 収納  45度 の壁面	D 2重壁  皮膚的 な壁	E 一体性 ファサード と インテリア	F キャンディ レバーの 棚と テーブル 吊り天井	G 光る構造体 柱・梁 光る自立体	H 光る 床 壁 天井	I スペース ・フレーム	J ファサード 地と図の 反転	K 床と壁 の 同一材	L 自律する 空間	M 多重壁
1967年	1												
1968年			2										
1969年		3		4			5						
1970年	8	6	7				10						
1971年		9											
1972年		12			11		14	15					
1973年		16											
1974年			17		18								
1975年	19												
1976年						20							
1977年						21							
1978年												22	
1979年								23					
1980年								24			26		
1983年				25									
1984年				28						29	27		
1987年				30		34		31					32
1988年								33					37
1989年								35					
1990年								36				38	
1991年												39	
												40	
												41	
												42	
右の番号：作品番号				1f床がダークトーン	14	2fw床、壁の2面が同トーン	4	3-1床、壁、天井が白W	7				
				1w壁がダークトーン	9	2wc壁、天井の2面が同トーン	3	3-2床、壁、天井がグレーGy	7				
				1c天井がダークトーン	2	2fc床、天井の2面が同トーン	1	3-3床、壁、天井がブラックBk	2				

表—4.3.3 面内カラーC・空間特徴のグループの分布

面内・カラー・トーンC 考察													
インテリア・シェルターの床、壁、天井面のカラーC・ダイアグラムにおける空間特徴・グループ作品の分布													
年代	1f 床が ダークトーン 	1w 壁が ダークトーン 	1c 天井が ダークトーン 	2fw 床、壁が 同トーン 	2wc 壁、天井が 同トーン 	2fc 床、天井が 同トーン 	3-1 床、壁、天井が 同トーンW 	3-2 床、壁、天井が 同トーンGy 	3-3 床、壁、天井が 同トーンBk 				
1967年	K-1・A												
1968年	K-2・C												
1969年													
1970年	K-6・C K-8・B	K-7・D	K-5・G			K-4・D	K-9・C	K-10・G	K-3・B				
1971年													
1972年				K-15・G			K-13・B K-14・G	K-12・C					
1973年			K-16・B										
1974年	K-18・E		K-18・E					K-17・C					
1975年	K-19・A												
1976年													
1977年					K-21・F			K-20・F					
1978年								K-22・L					
1980年	K-23・H												
1983年	K-24・I			K-26・K			K-25・D						
1984年	K-28・D	K-29・J		K-27・K									
1987年	K-30・D	K-32・M					K-31・H	K-34・F					
1988年				K-37・M				K-35・H K-36・H					
1989年				K-38・L									
1990年	K-41・M						K-39・L K-40・M						
1991年			K-42・M										
合計	14	3	2	4	3	1	7	8	1				
順位	1	5	6	4	5	7	3	2	7				
K-数値：作品番号				1f床がダークトーン	14	2fw床、壁の2面が同トーン	4	3-1床、壁、天井が白W	7				
A, B・・・作品グループ				1w壁がダークトーン	3	2wc壁、天井の2面が同トーン	3	3-2床、壁、天井がグレーGy	7				
				1c天井がダークトーン	2	2fc床、天井の2面が同トーン	1	3-3床、壁、天井がブラックBk	2				

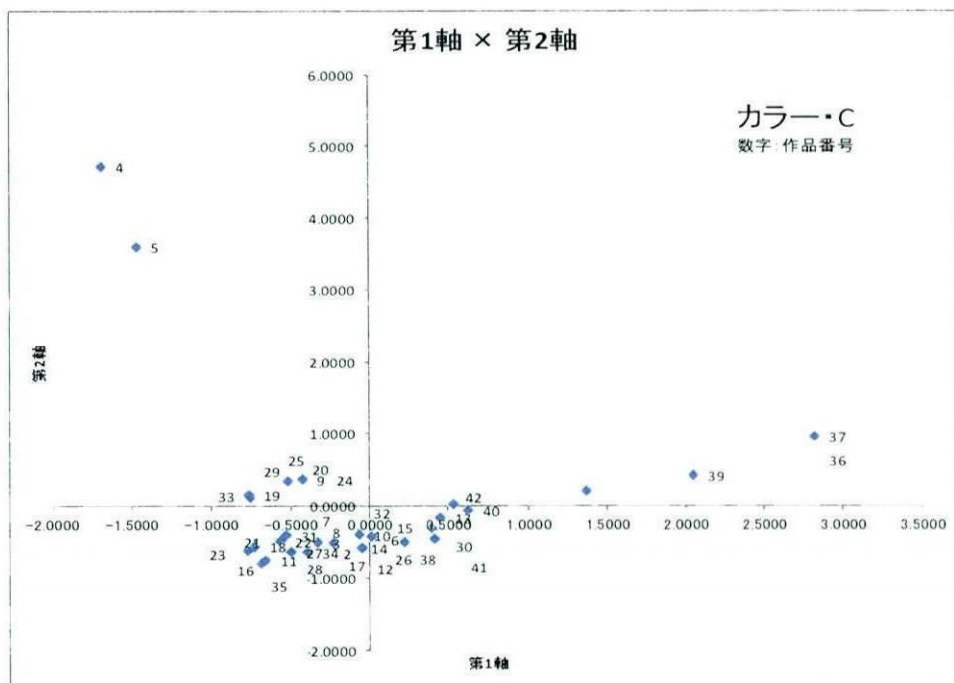
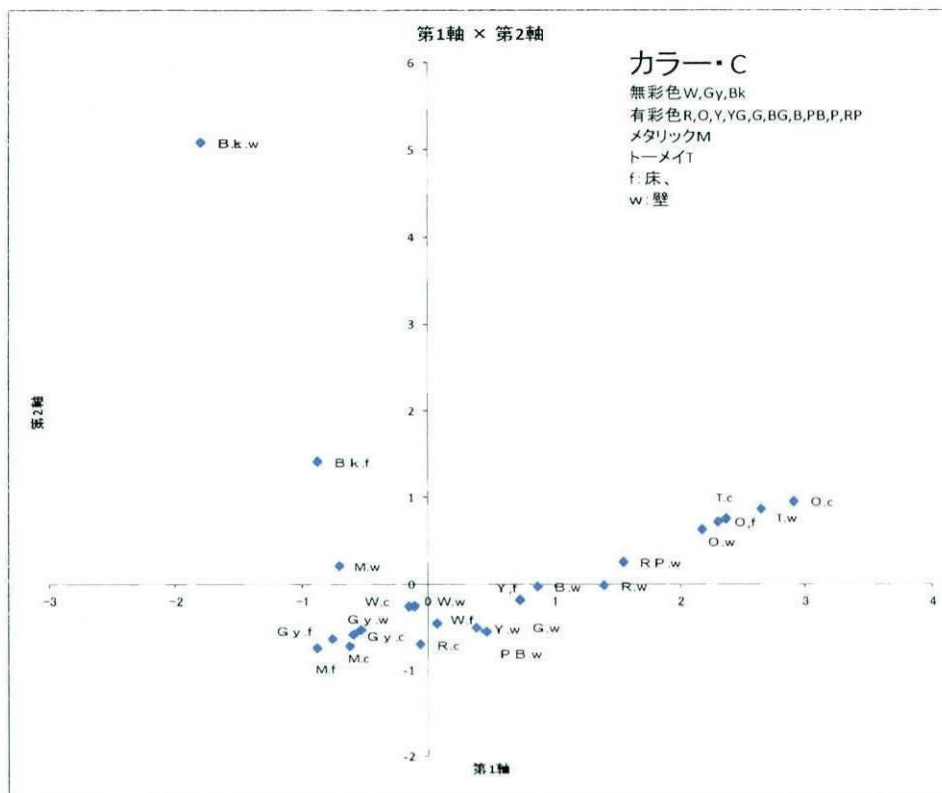


図-4.3. 1 面内カラーCの数量化Ⅲ類分析結果、(上がカテゴリー出現、下がサンプルスコア)

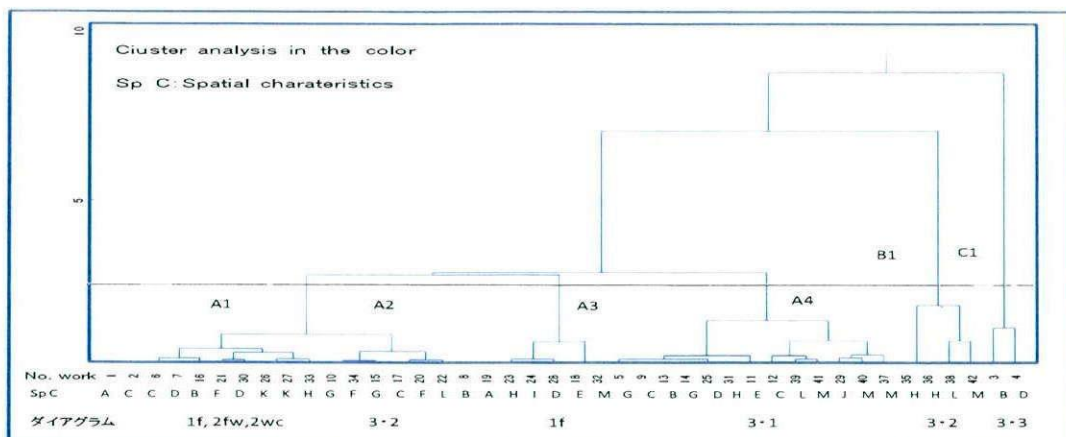


図-4.3.2 面のカラーCの頻度から得られた得点のクラスター結果

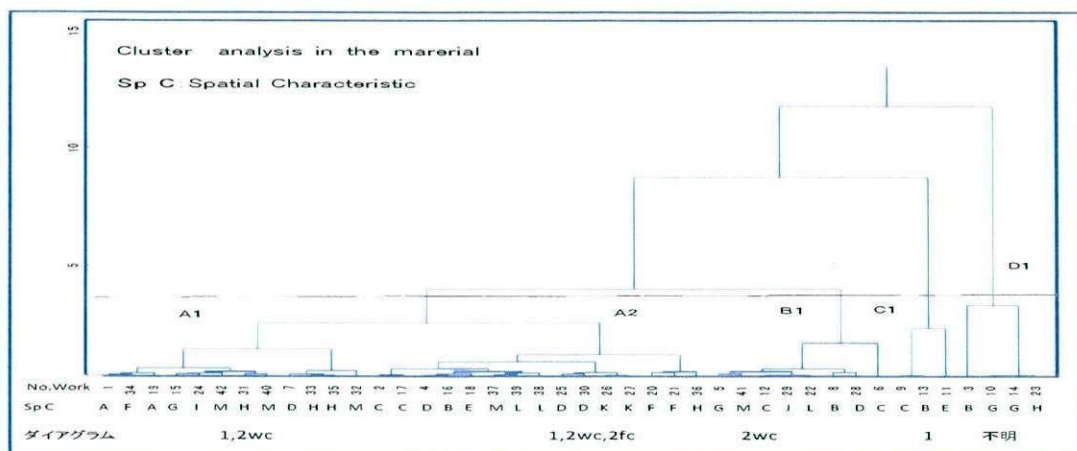


図-4.3.3 面のマテリアルMの頻度から得られた得点のクラスター結果

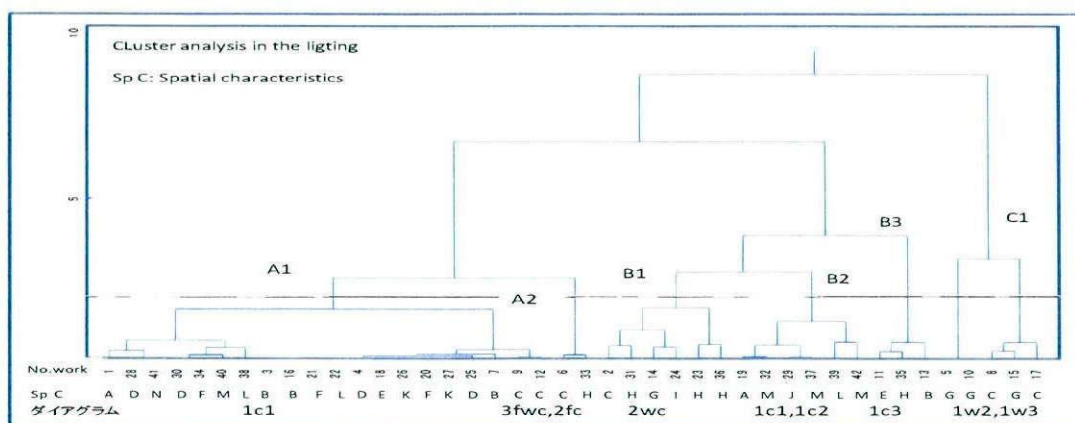


図-4.3.4 面の照明Lの頻度から得られた得点のクラスター結果

クラスターA1, A3, A4に、ダイアグラム1f(床がダーク・トーン)が見られる。

クラスター・グループA1,A2,A4,B1に空間特徴グループの共通性が示された。

#### 4.3.2 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のマテリアルM

表-3.3.5、表-3.3.6および作品、時代順、空間的特徴のグループによるマテリアルの出現の表-4.3.4~4.3.6より、前期(1967~1976)と後期(1977~1991)を通じて、壁・天井の2面が同じマテリアルである場合の2wcが最も多い。特に壁面化された収納のグループCにおいては、すべて2wcである。これは壁部の収納部の凹凸性を平面化することで、壁と天井を一体的なインテリア・シェルターとして表現するようになったと考えられる。

K-4「クラブ・ジャド」の壁のステンレス・パイプの水平層と照明の反射光がもたらす反射性によるハイライト効果、目線の移動に伴うモアレ・効果の視覚変化は視覚的・不均一性を生み、また、周囲の形、色、素材を映し出し、気持ちの変化、解釈の多様性を形成させていると考えられる。

K-8,14,15,K-33,35,36,および39では床、壁、天井に、腐食ガラス、乳白アクリル、ポリカーボネートの材料を用い蛍光灯の透過光を造り出す透過性は、影の消失、重力性の軽減、空中に浮遊している視覚効果を生み、空間の浮遊性、商品の浮遊性を表現している。

K-5,10では、格子状のFL蛍光灯の列柱と透明・アクリルの棚において、具体的には蛍光管が垂直に設置され、蛍光管を透明・アクリルの筒で被い、その筒に上部から透明・アクリルの棚を貫入し、棚が構成されている。その透過光の照明によって、透明・アクリルの筒、棚の視覚的存在は消え、装置の透明性を生じさせた、その結果、空間の消去性、商品の浮遊性が形成されたと考えられる。

後期K-22以後、空間の曲面化に伴い、K-23では中央部における、光を伴う透過性の曲面ガラスの天井部にクリアランスのある仕切りの壁は、繋がりある、曖昧な、幻想的な空間を形成していると考えられる。K-25では柔らかな布の瞬間的なドレープ性の造形を固定し、それに光が当てられ、瞬間性の美を形成している。また床・壁の2面が同じマテリアル(2fw)で仕上げられていることは、1983年以後の作品にみられ、K-26,27「ブティック I S S E Y M I Y A K E」の床・壁において、ドット性のある特注・スターチップ・テラゾタイルが用いられており、その代表作品である。これは床、壁、中央の什器を同素材化することによって、空間のフォルムを消去し、商品の主体化を形成し、浮遊性を形成していると考えられる。

1984年以後、材料目地の消去化が目立つようになる。K-28「E S P R I T香港」では、凹凸

表—4.3.4 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のマテリアルM（空間特徴のグループ順）

インテリア・シェルターの空間特性と床、壁、天井における空間特徴の生成操作																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
作品番号	作品名	作品写真	作品説明	面内マテリアル・M																計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				M1		M2		M3		M4		M5				M6		M7			M8		M9		M10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	1	2	3	4	5	1		2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1	A	クラブ カッザドル	山形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										



表-4.3.5 面内マテリアルM・ダイアグラムの分布










































面内マテリアル・M 考察 インテリア・デザイン42作品ー空間の生成における特徴のグループと面内マテリアルM・ダイアグラム													
年代	A 空間の 錯視	B 鏡面材 ユニット システム、 ユニットの 床	C 壁面化 された 収納、 45度 の壁面	D 2重壁、 皮膚的 な壁	E 一体性 ファサード と インテリア	F キャンティ レバーの 棚と テーブル、 吊り天井	G 光る構造体 柱・梁、 光る自立体	H 光る 床 壁 天井	I スペース ・フロム	J ファサード 地と図の 反転	K 床と壁 の 同一材	L 自律する 空間	M 多重壁
1967年	1 												
1968年			2  2wc										
1969年		3  2wc			4  1		5  1						
1970年		8  1	6  2wc 9  2wc	7  2wc			10 不明						
1971年		13  1	12  2wc		11  1								
1972年							14 不明 15  1						
1973年		16  2fw											
1974年			17  2wc		18  2wc								
1975年	19  2wc					20  2wc							
1976年						21  2wc							
1977年													
1978年												22  2wc	
1980年								23 不明					
1983年				25 不明					24  2wc		26  2fw		
1984年				28  2wc						25  2wc	27  2fw		
1987年				30  2wc		34  2wc		31  2wc 33  1 35  2wc 36  2wc					32  2wc
1988年													37  2wc
1989年												38  2wc 39  1	
1990年													40  1 41  2wc
1991年													42  1
1  1 床、壁、天井3面が別・マテリアル 11  2fw 床、壁の2面が同・マテリアル 3  2wc 壁、天井の2面が同・マテリアル 24													

表-4.3.6 面内マテリアル M・空間特徴のグループの分布

面内マテリアル・M 考察 インテリア・シェルターの床、壁、天井面のマテリアルのダイアグラムにおける空間特徴・グループ作品の分布									
年代	1 床、壁、天井3面が別・マテリアル	2fw 床、壁の2面が同・マテリアル	2wc 壁、天井の2面が同・マテリアル	2fc 床、天井の2面が同・マテリアル	3 床、壁、天井の3面が同・マテリアル				
1967年	K-1・A								
1968年			K-2・C						
1969年	K-4・D	K-5・G	K-3・B						
1970年	K-8・B		K-6・C	K-7・D	10 不明				
1971年	K-11・E	K-13・B							
1972年	K-15・G		K-12・C		14 不明				
1973年		K-16・B							
1974年			K-17・C	K-18・E					
1975年			K-19・A						
1976年			K-20・F						
1977年			K-21・F						
1978年			K-22・L						
1979年					23 不明				
1980年		K-26・K	K-27・K	K-24・I					
1983年				K-28・D	K-29・J				
1984年	K-33・H			K-30・D	K-31・H				
1987年				K-32・M	K-34・F				
1988年				K-35・H	K-36・H				
1989年	K-39・L			K-37・M					
1990年	K-40・M			K-38・M					
1991年	K-42・M			K-41・M					
計	11	3	24	0	0				
順位	2	3	1						
K-数値 作品番号 A・B・・・作品グループ									
1 1 床、壁、天井3面が別・マテリアル 11 2fw 床、壁の2面が同・マテリアル 3 2wc 壁、天井の2面が同・マテリアル 24									

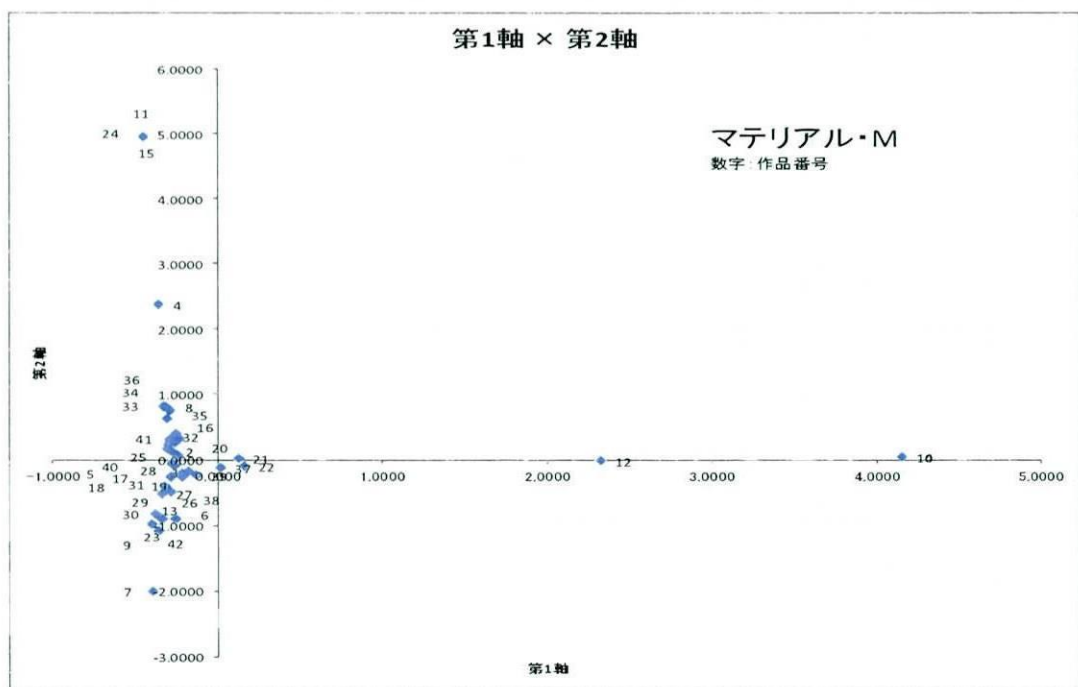
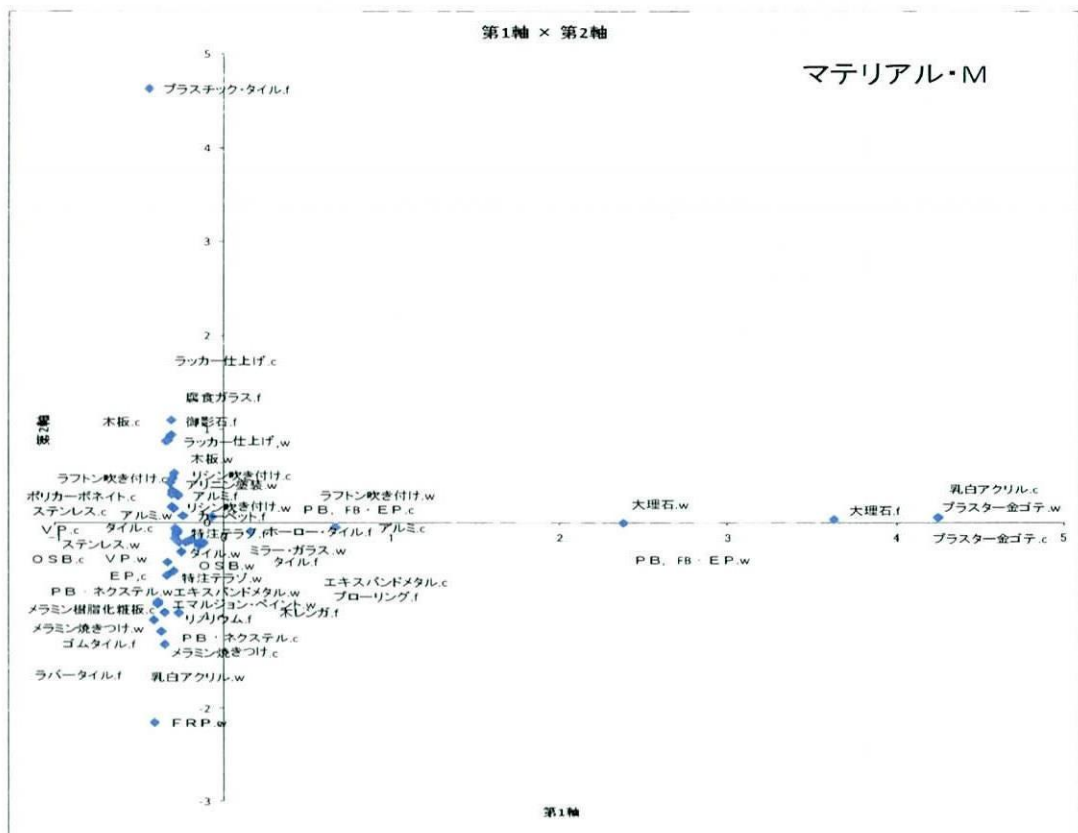


図-4.3.5 面内マテリアルMの数量化Ⅲ類分析結果、(上がカテゴリー出現、下がサンプルスコア)

に変形されたスチール・メッシュの壁、天井がディスプレイ・システムとなっている。K-30「ISSSEY MIYAKE 渋谷西武店」ではスチール・エキスパンドメタルの壁、天井、中央の支柱と棚は繋ぎ目がないことで、皮膚的な表現となり、中空性のシェルターとして構成されている。これはインテリア・シェルターを消去、商品を主体化することで、浮遊性が形成させていると考えられる。

K-31,32 でヒビワレ 3 層ガラスを用いることで、中央の素材のドット性および、両側のガラスの透明性を確保することで、照明の光をあてて、サンドイッチされた部分のガラス破片のみを強調し、挟まれたドット性・素材の浮遊性が形成され、割れた瞬間の美しさが創出されたと考えられる。また K-36,37,38 において、床の現場テラゾ、壁、天井の OSB の仕上げには、目地の消去化がみられ、これが空間の一体化を形成していると考えられる。K-38「オブローモフ」の連立する透明アクリル封印されたバラの花においても、ばらの浮遊性、瞬間の美の封印性が、形成されていると考えられる。

#### ・クラスター分析

表一3.3.2 に示されるマテリアルについての出現頻度を用いて、数量化Ⅲ類による分析を行い、2 軸を得た、カテゴリー数量とサンプルスコアの散布図を図一4.3.5 に示す。Ward 法でクラスター分析した結果、5 グループに分類できた。それを図一4.3.3 に示す。床、壁、天井のダイアグラムの出現度数のクラスター分析の結果と空間と特徴グループの関係、インテリア・シェルターのダイアグラムの関係を考察すると、以下の結果を得た。

床、壁、天井のダイアグラムの出現度数のクラスター分析のクラスター A 1 については、空間特徴で分類したグループ A（空間の錯視）、およびグループ H（光る床・壁・天井）が含まれ、床・壁・天井の特徴としては 2wc（壁・天井が同マテリアル）が多く見られる。クラスター A 2 については、空間特徴グループ K（床と壁の同素材）で 2fw（床・壁が同素材）および、空間特徴グループ F（キャンティレバーのテーブル、棚）で 2wc（壁・天井の同素材）で構成されている。クラスター・グループ A1 および A2 では、共通する空間特徴グループが含まれることが示された。クラスター全体に、ダイアグラム 2wc（壁・天井の同素材）1（床・壁・天井の別素材）が見られる。

#### 4.3.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面の照明 L

表一3.3.8、表一3.3.9 および作品、年代順、空間的特徴のグループによる照明の出現を示す表一14.3.7~4.3.9 より、前期・後期を通じて、天井が点光である 1c1 が最も多い。その点光の配光形式は直接光、器具種類はダウンライト、光配置は格子的、単独的、直線的であり、光源はハ

表—4.3.7 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面の照明L (空間特徴のグループ順)

[illegible]

表—4.3.8 面内照明 L・ダイアグラムの分布

面内・照明・L 考察

空間特徴・グループにおけるインテリア・シェルターの床、壁、天井面の照明ダイアグラムの分布

年代	A 空間の 錯視	B 壁面 ユニット システム ユニットの 床	C 壁面化 された 収納 45度 の壁面	D 2重壁 皮膚的 な壁	E 一体性 ファサード と インテリア	F キャンディ レバーの 棚と テーブル 吊り天井	G 光る構造体 柱・梁 光る自立体	H 光る 床 壁 天井	I スペース ・フレーム	J ファサード 地と図の 反転	K 床と壁 の 同一材	L 自律する 空間	M 多重壁
1967年	1  1c1		2  2w2c1										
1968年													
1969年		3  c13		4  1c1			5  1w2						
1970年		8  1w3	6  3f2w2c2	7  1c1			10  1w2						
1971年		13  1c3	12  1c1		11  1c2		14  2w2c2						
1972年							15  1w2						
1973年		16  1c1											
1974年			17  1w2		18  1c1								
1975年	15  1c3					20  1c1							
1976年						21  1c1							
1977年												22  1c1	
1979年													
1980年								23  2w1c1					
1983年				25 不明					24  2w2c1		26  1c1		
1984年				28  1c1						29  1c1	27  1c1		
1987年				30  1c1		34  1c1		31  2w2c1					32  1c1, 1c2
1988年								33  2f3c1					37  1c1
1989年								35  2w3c1					
1990年								36  2w3c1				38  1c1	
1991年												39  1c1, 1c3	
1991年	1w2 壁面が線光 1w3 壁面が面光	4 1		1c1 天井が点光 1c2 天井が線光 1c3 天井が面光	24 2 3		2w1c1 壁、天井が点光 2w2c1 壁が線光、天井が点光 2w2c2 壁が線光、天井が線光	2 2 2			2w3c1 壁が面光、天井が点光 2f3c1 床が面光、天井が点光 3f2w2c2 床、壁、天井が線光	2 1 1	

表—4.3.9 面内カラーL・空間特徴のグループの分布

面内・照明・L 考察 インテリア・シェルターの床、壁、天井面の照明ダイアグラムにおける空間特徴・グループの分布													
年代	1f 床面が 点、線、面光	1w1 壁面が点光	1w2 壁面が線光	1w3 壁面が面光	1c1 天井が点光	1c2 天井が線光	1c3 天井が面光	2w1c1 壁が点光 天井が点光	2w2c1 壁が線光 天井が点光	2w2c2 壁が線光 天井が線光	2w3c1 壁が面光 天井が点光	2f3c1 床が面光 天井が点光	3f2w2c2 床、壁、天井が 線光
1967年					K-1・A								
1968年										K-2・C			
1969年			K-5・G		K-3・B, K-4・D								
1970年			K-10・G	K-8・B	K-7・D K-9・C								K-6・C
1971年					K-12・C	K-11・E	K-13・B						
1972年			K-15・G							K-14・G			
1973年					K-16・B								
1974年			K-17・C		K-18・E								
1975年							K-19・A						
1976年					K-20・F								
1977年					K-21・F								
1979年					K-22・L								
1980年								K-23・H					
1983年				25 不明	K-26・K					K-24・I			
1984年					K-27・K, 28・D, 29・J								
1987年					K-30・D, K-32・M K-32M, K-34・F	K-32・M			K-31・H			K-33・H	
1988年					K-37・M						K-35・H K-36・H		
1989年					K-38・L K-39・L		K-39・L						
1990年					K-40・M K-41・M								
1991年								K-42・M					
計	0	0	4	1	24	2	3	2	2	2	2	1	1
順位			2	5	1	1	3	4	4	4	4	5	5
	1w2 壁面が線光 1w3 壁面が面光		4 1	1c1 天井が点光 1c2 天井が線光 1c3 天井が面光	24 2 3	2w1c1 壁、天井が点光 2w2c1 壁が線光、天井が点光 2w2c2 壁が線光、天井が線光	2 2 2			2w3c1 壁が面光、天井が点光 2f3c1 床が面光、天井が点光 3f2w2c2 床、壁、天井が線光	2 2 2	2 1 1	

ロゲンランプの作品が多い。特に2重壁グループD、キャンティレバーのテーブルのグループF、床と壁の同一材のグループKにおいては、すべて1c1である。K-30「ISSEY MIYAKE 渋谷西武百貨店」ではスチールのエキスパンド・メタルの透けた壁面、天井面では、天井からの光により、金属面に反射した光、網目を通過した光によって、内と外のつながり、曖昧な境界性、空間の軽さ感、空間の浮遊感が創出されている。これは天井部からの光源の直接的な入射光、反射光の作品例で、壁面または、水平面の棚、展示された商品を入射光によって照らすこと、反射させることによって空間的な主体化がはかられている。上部からのライティングは壁面の素材の凹凸性、影が生じることによって、壁面、棚、展示商品が強調されやすい。ゆえにダウンライトやスポットライト器具そのものの存在は従的なものであり、消去的に扱われ、格子状、線状等の配置が採用され合理的、効率的、機能的に扱われていると考えられる。光源には空間の素材、商品の演色性を高めるためハロゲンランプが使用されていると考えられる。

透過光の作品では、K-05,K-10の蛍光灯を透明アクリル・パイプ・カバーで覆った透明アクリルの棚の支柱(構造体)では、すなわち鉛直の光、透明の支柱、透明の棚によって構造体が消失され、影の消去がおこり、棚の存在も消去され、これによって商品の浮遊性が生成されている。壁面が蛍光灯内设の乳半アクリルのK-08「ショップ I」では、商品の背後からライティングされるため、商品のシルエットが強調され、ハンガー、その取り付けのブラケットが、黒っぽくなり存在が消去され、結果として商品が宙に浮いたように見える効果を演出している。また天井面が蛍光灯内设の乳半アクリルのK-13「ショップ ファッション イン」では、上部からの柔らかい光によって、床に境界がぼやけた影が生じ、重力感が軽減されて見える効果を創出している。また床面が蛍光灯内设の腐食ガラスのK-33「CAFÉ OXY 六本木」では、床面照明により、ものの影が消去され、テーブルの面が宙に浮いたように見える効果を創出している。

床、壁、天井の各面の組み合わせにおいて、表4.3.8より1c1(天井が点光)は全体を通じ多く見られ、次に多く出現する1w2(壁面が線光)は前期のみに集中する。例えば光る構造体のグループGは、K-5,K-10FL蛍光灯の列柱、K-15逆L型の乳白アクリル・透過光のハンガーの脚にみられ、什器の支柱、フレームそのものが光ることによって、構造体の存在が消去され、棚、商品の浮遊性を獲得するに至ったものと考えられる。1977年以後に、光る床、壁、天井であるグループHは2wcが多く、K-35,36(2w3c1)(壁が面光・天井が点光)において、壁から天井への曲面・透過面からの透過光は、曲面空間が光ることで、自らから重力性を消し、空間の浮遊性を形成させたと考えられる。2f3c1:床が面光・天井が点光の唯一の作品であるK-33におい

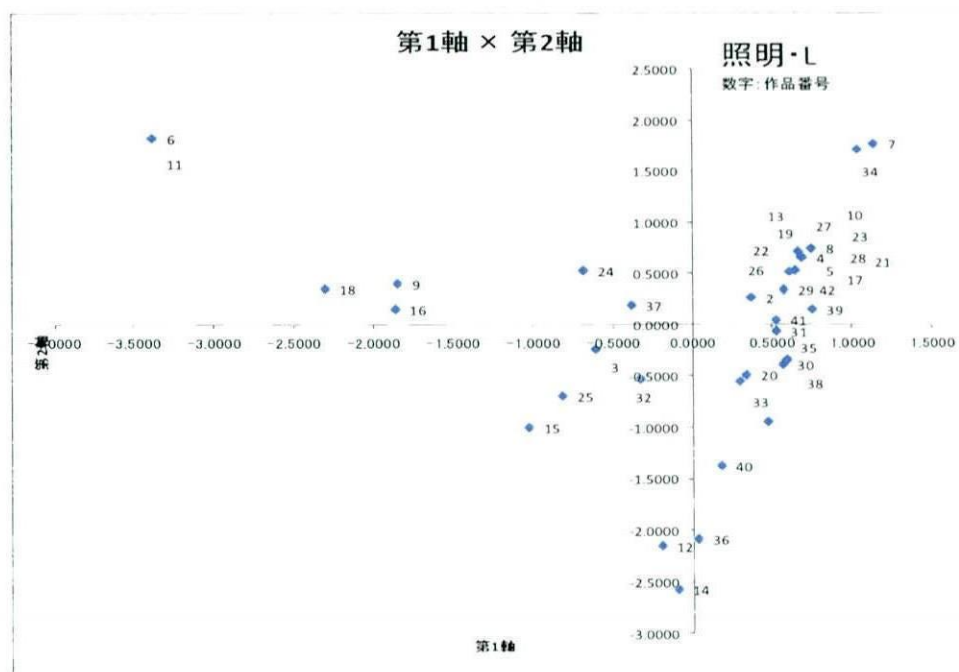
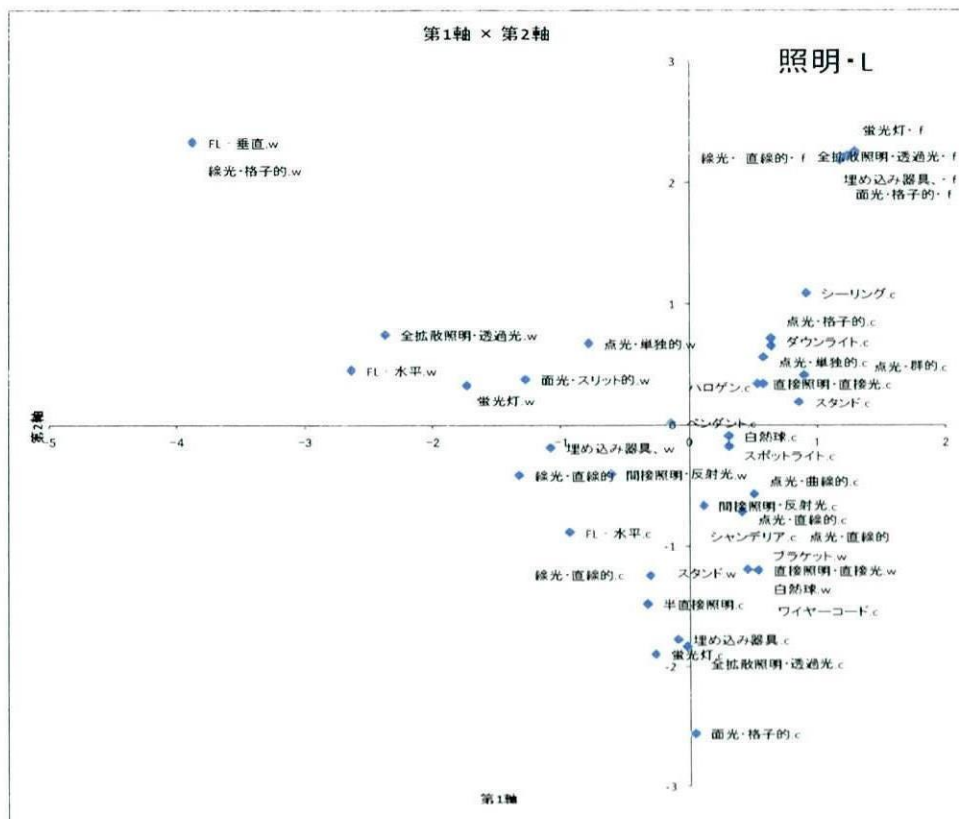


図-4.3.6 面内照明Lの数量化Ⅲ類分析結果、(上がカテゴリー出現、下がサンプルスコア)

て、床面からの透過光により、中央家具・テーブル、イスの天井照明による床面への影が消え、重力の消去、空間の浮遊性が形成されている。K-35 以後、空中に浮遊する直線的、曲線的、群的な浮遊する点光は新たに空間的表現のエレメントとして独立した状況を獲得したと考えられる。

表一3.3.3 に示す照明についての出現頻度を用いて、マテリアルと同様に数量化Ⅲ類による分析を行い2軸を得た、カテゴリー数量とサンプルスコアの散布図を図一4.3.6 に示す。Ward 法でクラスター分析した結果、6 グループに分類できた。それを図一4.3.4 に示す。

床、壁、天井のダイアグラムの出現度数のクラスター分析の結果と空間の特徴グループの関係、インテリア・シェルターのダイアグラムの関係を考察し、以下の知見を得た。

グループA1については、空間特徴B(棚受けユニット・システム)、空間的特徴C(壁面化された収納)、空間特徴D(2重壁、皮膚的な壁)、空間特徴F((キャンティレバーのテーブル、棚)・共に、ダイアグラムは1c1(天井面が点光)である。

グループA2については、2fc(床・天井面が光源)、3fwc(床・壁・天井面が光源)である。

クラスターB1は、空間特徴H(光る床・壁・天井)が含まれ、床・壁・天井のダイアグラムは2wc(壁が点光・線光・面光、天井が点光、線光)である。

クラスターB2は、空間特徴M(多重壁)・ダイアグラム1c1(天井面が点光)、1c2(天井面が線光)、1c3(天井面が面光)が多くある。

クラスターB3は、1c2(天井面が線光)、1c3(天井面が面光),2w3c1(壁が面光、天井が点光)である。

クラスターC1は空間特徴G(光る床、壁、天井)があり、ダイアグラム1w2(壁面が線光)、1w3(壁面が面光)である。

クラスター・グループA1、B1,B2,C1に空間特徴グループとの共通性が示された。



#### 4.4 総合的考察、

倉俣史郎の作品は、総合的に見て、以下のような特色と独創性を備えていると考えられる。1976年K-20「イッセイ ミヤケ フロムファースト ブティック」以前においては、観念的デザインの傾向が強く機能的かつ感覚的であり、知的思考、知的操作かつ感覚思考・感覚的操作により禁欲的造形を創造していたが、これ以後の作品では、観念的デザインに疑問を持ち始めたと考えられる。自らの感性に従い突然に曲線や曲面が出現しだし、多重性の空間的離隔が多用され、透明性や透過性、中空性な要素を用い、浮遊性ある自由性を獲得し、このことが空間に対する浮遊感の創造についても前期と後期でその手法が変化したと考えられる。この状況はインテリア・シェルターの離隔性の変化に読み取ることができる。1976年以後（後期と呼ぶ）において、離隔要因では、精神離隔が多くなり、空間的離隔性では、斜め離隔、曲面離隔、多重離隔が多く出現するようになる。

面のフォルムでは、平面フォルムが多く、後期になると曲面が多く現れこれらは共存し、面のパターンでは、グリット、スリットが多く現れ、中央部では主体的表現が多く、周囲部では消去的表現が多く現れている。面のマテリアルでは破片のガラス、透明アクリル内の浮遊するオブジェや色、エキスパンドメタル、メッシュ等による瞬間性の美、光の入射光による反射光、屈折光、透過光、視点の移動により生まれるきらめきの変化、表層性の空間それはセミの抜け殻のように、実と虚の関係、面のカラーでは、点、線、面の赤、黄、緑、青色が浮遊するようになる。面の照明では主に壁、天井部の蛍光灯光源の乳半アクリルを通過する透過光により、重量感の消去に伴う浮遊性の創出に寄与している。

以上の論点から倉俣史郎が創出したインテリアデザインにおける浮遊性の形成については、以下のように大きく分けて2つの手法によって行われたものとまとめられる。

##### 1) 構造的、物理的方法による浮遊性の形成

キャンティレバー、吊り構造の手段によってインテリア・シェルターを構造的に浮かせる仕組みを構築し、浮遊性を形成させ、浮遊感を創成している。この代表作品としてK-20「ISSEY MIYAKE フロムファースト」が挙げられる。

##### 2) 光と空間の方法による浮遊性の形成

a) 金属、ミラー・ガラス、反射性、周囲映り込みによる存在性の消去により浮遊性を形成させ浮遊感を創成している。代表作品としてK-04が挙げられる。

b) 光る構造体と構造体の消去により浮遊性を形成させ浮遊感を創成している。代表作品としてK-10「カネボウ化粧品ディスプレイ」が挙げられる。

c) 空間の影の消去により浮遊性を形成させ浮遊感を創成している。代表作品として K-33「CAFÉ OXY 乃木坂」が挙げられる。

d) 浮遊光により浮遊性を形成させ浮遊感を創成している。代表作品として K-35「きよ友」が挙げられる。

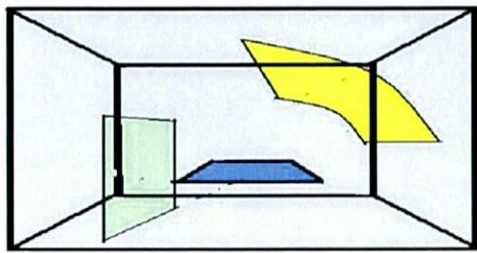
e) 光と透過面による重量性の軽減により浮遊性を形成させ浮遊感を創成している。代表作品として K-36「BAR COMBLE」が挙げられる。

これらの代表的事例を用いて、まとめ浮遊性のプロセスを表-4.4.1に示す。

表-4.4.1 浮遊性の形成プロセス

浮遊性の形成プロセス				
	構造的・物理的 浮遊性	光と空間的浮遊性		
	キャンチレバー 吊り構造、磁石	構造体の消去	影の消去	重量性の消去
作品写真				
作品番号	K-20	K-10	K-33	K-36
浮遊性の プロセス	構造的なテーブルの浮遊	透明素材の構造 光の光源	下部からの光と 透過性の床	上部からの光と 透過性の天井
	↓	↓	↓	↓
	天板だけの影の 存在	構造体の支柱、 棚の消去	影の消去 メタリック素材の周囲の映りこみによる支柱の消去	透過性面の奥の解放性 重量性の軽減化
	↓	↓	↓	↓
	テーブルの浮遊感	商品の浮遊感	テーブルの浮遊感	天井面の浮遊感

特に後期になると下の図－4.4.1のように、中央部が主体的表現、周囲部の従的表現が多くなり、中央部の主体的表現部分には、多様な離隔要因と空間的離隔性の要素を複合化させ、曲面フォルムを始め、多様なパターン、カラーおよびマテリアル等、上記にあげた要素が総合化され、これに構造的手段による浮遊性の操作や、照明的手段による浮遊性の操作で、空間的浮遊性を室内空間全体の広がりの中で、形成され、浮遊感が創出されていると考えられる。



図－4.4.1 中央部の空間的浮遊性の創出



## 第 5 章 結論

## 5.1 総括

以下に本研究で得られた知見をまとめ総括し結論とする。

### 5.1.1 原室内空間とインテリア・シェルターの離隔要因と多重性と空間特徴グループ

考察のまとめを以下に示す。

#### 1) インテリア・シェルターの離隔要因D´について

離隔要因D´は空間、用途、精神離隔要因が複合して現れることが多く、特に壁について顕著に現れる。倉俣の作品では、使用上の区画による用途離隔要因と、照明による設備離隔要因と、吊り・キャンティレバーによる構造離隔要因によって、より空間離隔、精神離隔が強調されているといえる。それにより、空間的浮遊性が創生されていると考えられる。

#### 2) インテリア・シェルターの多重性Dmについて

床のインテリア・シェルの離隔の多重性は一重のもの(F1)が多く、空間的要因、設備的要因、構造的要因が多い。これらにより、床において床部の内設照明により・床に生じる影の消去が起こり、無重力性が獲得され、また床からの支柱の片持ち構造によるテーブル、イスの浮遊性の確保を出現させた。

壁のインテリア・シェルターの離隔の多重性は、前期・後期を通じて2重のもの(W2)が多く、後期に3重のもの(W3)が多く現れる。離隔要因は空間的要因、用途的要因、精神的要因が多い。これにより、壁の浮遊性、壁の消去、棚・テーブルの浮遊性、棚・テーブルの消去、区画された空間どうしの空間的一体性の確保、精神(浮遊感)を出現させた。

天井のインテリア・シェルターの離隔の多重性は、後期に2重のもの(C2)が多く現れる。離隔要因は空間的要因、設備的要因、精神的要因が多い。これにより、天井の浮遊性、天井の消去、透過光の光天井-天井の浮遊性、浮遊感を出現させた。これは空間、設備および構造といった実体的な構成を用いて実現されたインテリア自身に精神性が賦与されたためと考えられる。

#### 3) 空間的特徴Scのグループについて

作品を離隔寸法、離隔要因、多重性、空間的特徴の視点から、KJ法により、13の空間的特徴のグループに分類し、各グループの時代的出現とその特徴を明らかにした。時代的な流れの中で1976年に出現したグループFのK-20[ブティック Issey Miyake]キャンティレバーによる構造的に浮遊するテーブルの作品は、倉俣の中間期の単独的作品であり、前期と後期の空間的特徴を2分する分岐点的作品として位置づけられる。

作品を時系列に空間的特徴を展望した時、1967～1976年(前期)には直線的で立方体の最小必要限の空間構成と形態の傾向があった。1977年～(後期・前半)には直線的で立方体な空間に、曲線の空

間が入り混じる傾向へと変化し、多重性、浮遊性が強くなっていった。上述の1976年の分岐点をここでも検討することができた。

#### 5.1.2 インテリア・シェルター床、壁、天井における空間的離隔性と面のフォルムとパターン

インテリア・シェルター床、壁、天井における空間的離隔性と面のフォルムとパターンに関して以下の知見を得た。

##### 1) インテリア・シェルターの空間的離隔性Dについて

空間的離隔性は並行、斜め、多重、曲面、中央、直角離隔性が複合して現れることが1977年以後の作品に多く、特に壁、天井について顕著に現れる。

精神的離隔要因などの離隔要因D'と空間的離隔性Dの同時共存によって、壁と天井に強く、浮遊感、消去感および事物に意味性という精神性を生成させている。

##### 2) インテリア・シェルターのフォルムFについて

1976年以後の後期において、曲線、曲面が現れ、それ以前での観念的なデザインでは平面フォルムが多く用いられていたが、感性に従って自由な表現を創出するようになる。後期では多様なフォルムの複合が多く主張的表現が室内の手前中央にて構成され、消去的表現は周囲にて構成され平面フォルムが多い。室内中央での感性に導かれた自由な造形、夢で見たような光景として面の形態において自由な表現性を獲得していったと考えられる。

##### 3) インテリア・シェルターのパターンPについて

マテリアル同様に後期以後、中央にて主張的表現が、周囲にて消去的表現となり、中央では多様なパターンのスリット、グリット、ドット、半透明（透過光）が多く、周囲では無地パターンが多くなり、中央部・主張表現にて多様パターン、周囲部・消去表現にて無地パターンという構成を確立し、自由な表現性を獲得していったと考えられる。

#### 5.1.3 インテリア・シェルターの床、壁、天井における面のカラーとマテリアルと照明

インテリア・シェルターのカラー、マテリアル、照明に関して以下の知見を得た。

##### 1) インテリア・シェルターのカラーCについて

床はダーク・トーンが多く、床・壁・天井は白、グレーが多く、中立的・白紙的空間を形成した。

前期より、椅子、テーブルにおいては、赤、黄、青色等が現れ、浮遊性を形成した。

3. 透明の色は、空間の消去性、重力の解放、浮遊性を獲得した。

4. 後期において、空間の曲面化と共に、有彩色が現れメタリック素材色・トーマイ素材色と光の効果によって、視覚的变化、気持ちの変化、解釈の多様性を獲得した。

## 2) インテリア・シェルターのマテリアルMについて

カラーと同様に壁・天井の同素材が多く、上部空間の一体化を形成し、反射性素材は、視覚の変化、表現の多様性を形成させた。

透明性の素材は、空間の消去性を形成した。

透過性素材は、重力の消去、空間の浮遊性、商品の浮遊性を形成した。

ドット性、チップ化・小片の集合体は、新・素材感、解釈の多様性、目地の消失及び素材・色の浮遊性を生成させた。

中空性素材は、皮膚的表層性、空間の浮遊性、空間の消去、商品の浮遊性の形成に寄与している。

## 3) インテリア・シェルターの照明Lについて

反射光は、一ハイト効果、モアレ効果を形成させた。

透過光は、重力の消去、空間の浮遊性、商品の浮遊性を形成した。

後期において点の集合体の反射光は、状況の変化、気持ちの変化、解釈の多様性、目地の消去性、素材・色の浮遊性を形成した。

空間に浮遊する点の光は空間構成の新たな光的要素であり、空間の浮遊性を強調した。

### 5.1.4 浮遊性の形成と浮遊感の創成

1) 1967年～1991年までの、42作品を基に「概形的な空間の創造」の観点から、KJ法にて分類を試み、13グループを得た。これを時系列として分析した結果、1976年K-20「イッセイ・ミヤケ・ブティック」を境に空間的特徴が大きく2分化された。前半は直線的空間生成が多くあり、1977年以後の後期作品では、曲線、曲面が出現し、多重性も増し、多様なフォルムと光の操作の中で、浮遊性を形成し空間の浮遊感を創成した。

2) 倉俣史朗の作品は、多様な離隔要因、空間的離隔、フォルム、パターン、カラー、マテリアルに照明が加わり、構造的手段による吊りとキャンティレバー構造より、物理的な空間的浮遊性を生成している。光と空間手段により、構造体の消去、影の消去、重量性の軽減が生じ空間の浮遊性が形成されていると考えられる。周囲部のインテリア・シェルターは消去化が強く、従的表現となり、より中央の空間の浮遊性が強調されていると考えられ、浮遊性のメカニズムの一端を明らかにした。倉俣のインテリアデザインの作品において、その各浮遊性のメカニズムが形成され、総合されることで浮遊感がうみだされたものと結論づけられる。



## 5.2 本研究の今後の課題と展望

倉俣史朗のデザインは観念的かつ感性的アプローチで、既成概念にとらわれず、自由に、夢のような感性に導かれたデザインとして評価されている。これに対して、インテリア・シェルターの離隔性による空間分析方法を用い、量的かつ質的に空間創造の要素を捉え、そのデータに基づいた分析と考察から、倉俣の空間創造における時系列の空間創造と浮遊感の創成傾向を明らかにすることができた。

すなわちインテリア・シェルターの離隔性の空間分析方法において、インテリア・シェルターの面が離れた理由である離隔要因、面の離れ方である空間的離隔性、面が何重になっているかの面の多重性、面のフォルム、面のパターン、面のマテリアル、面のカラー、面の照明という複合要素を総合的にとらえ作品の特徴との関係性を考察し、空間生成の手法を解明し、結果として、感覚的によく言われている空間の表層性、透過性、浮遊性など、それらの大半を抽出することができた。一方、考察を進める中で本研究では作品の背景として、倉俣の生き方、彼の周辺や社会から受けた影響、出来事等の人的社会的及び環境的背景については言及していない。分析結果を考察する時、解釈する時には、この人的背景と作品との関係性を明らかにすることは、解釈の方向性を決める上で、極めて重要であり、今後の研究課題としたい。

インテリア・シェルターの離隔性による空間分析方法は、物理的な離隔に関わる要素を用いる手法であるため空間に関して一般的に解釈、適用できるものであり、倉俣史朗に限らず、多様なインテリアデザイナーの空間構成、作成手法の分析に有用であると考えられる。インテリアデザインを理解し解釈する上での指針としての役割ができると考えられる。

## 文献

### 引用文献

- 1) 沖健次 2011:倉俣史朗が追い求めたイメージと素材、21\_21 DESIGN SIGHT EXHIBITION BOOK 114-125
- 2) 大副敬二郎 1984: デザイン・スタジオ・エスプリ, JAPAN INTERIOR DESIGN vol. 308, 57-60
- 3) 川崎和男 1997~2001: 夢の形見に 倉俣史朗デザイン論, A X I S デザイン雑誌 vol. 70-73, 75-90,
- 4) 倉俣史朗, 多木浩二, 1975: 事物の逆説: 多木浩二4人のデザイナーとの対話, 新建築社, 190-237
- 5) 倉西幹雄 2011: クラマタエピソード、21\_21 DESIGN SIGHT EXHIBITION BOOK 170,184,204
- 6) 田中一光 (監修) 1996: KURAMATA SHIRO, 倉俣史朗の世界, 原美術館倉俣史朗展開催実行委員会, 倉俣デザイン事務所
- 7) 橋本啓子 2007: 倉俣史朗の1970年代のインテリアデザインにおける感覚的なものについて, デザイン理論・第51号, 意匠学会
- 8) 松田通二 (発行) 1981: 倉俣史朗 1967~1987, PARCO 出版局
- 9) 村上末吉 (編) 1989: バー・コンブレ, バーレストラン・ゼール, WIND vol. 8, 32-38
- 10) 村上末吉 (編) 1991: スシバー・ラヒュタ, WIND vol. 16, 9-14

### 参考文献

- 1) 岡田栄造 1993: クラマタデザインの精神機能に関する論文
- 2) 沖健次、多木浩二 1993: 透明性その概念ー倉俣ガラス・アクリル、建築文化7月号 (no.561)
- 3) 倉俣史朗 1976: 倉俣史朗の仕事 1967-1974 作品集、PARUCO 出版会
- 4) 多木浩二 1976: 零への饒舌、倉俣史朗の仕事 1967-1974 6-11、PARUCO 出版会
- 5) 倉俣史朗 1991: STER PIECE・倉俣史朗のイメージスケッチ, TOTO 出版
- 6) 1981: 倉俣史朗の作品集、PARUCO 出版
- 7) PEN 2008: 倉俣史朗の仕事, PEN vol. 225, 34-91



## 謝辞

本研究を行うにあたり、ご指導を賜った指導教員である名古屋工業大学大学院教授 工学博士 堀越哲美先生に心から深く感謝の意を表します。

また同研究室の修了のOBの工学博士の宇賀敏夫氏、今井裕夫氏、技術補佐員の博士の松本太氏、同大学院生の近藤恵美氏、石田勝美氏、今西貴美氏 同研究室の方々にご助言、励ましをいただき心からお礼申し上げます。

本論文を作成にするにあたり、資料作成時のパソコン操作でいろいろご助言頂いた大学院生のATTYA JENIVATI, 石橋宏海氏、小田あゆみ氏、桐原綾香氏、近藤恵美氏、多胡和津明氏、本杉祐二氏、森本祐馬氏の方々に厚くお礼申し上げます。